

### 第35号住居跡 (第59図)

R-4グリッドに位置する。第27号住居跡・第10号土坑に切られ、第37号住居跡を切っており、第26号住居跡の上に乗っている。平面は、東西が調査区外で不明である。

カマドは検出できなかった。

遺物は、覆土より土師器環が出土した。

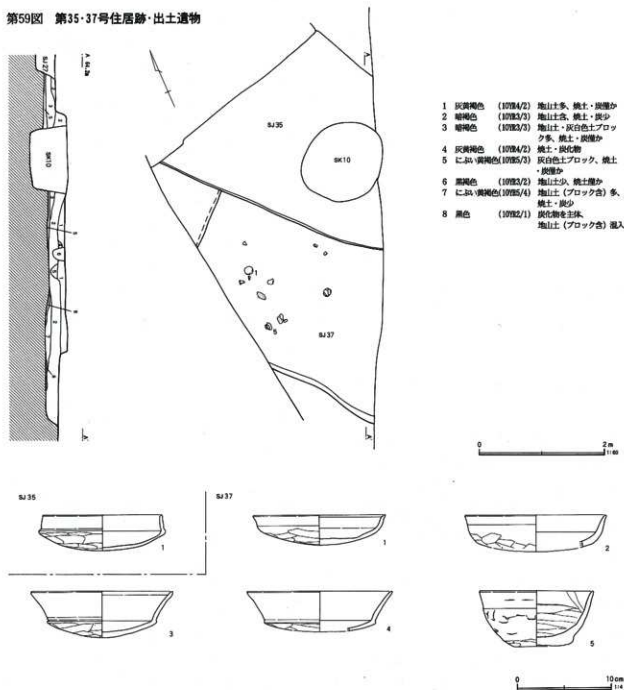
### 第37号住居跡 (第59図)

R-4グリッドに位置する。第35号住居跡に切られている。平面は東西が調査区外で、不明である。

カマドは検出できなかった。

遺物は、土師器環が出土した。

第59図 第35-37号住居跡・出土遺物



第35号住居跡出土遺物観察表 (第59図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(12.6)	3.8		B J	普通	褐色	30		

第37号住居跡出土遺物観察表 (第59図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	14.0	3.2		B J L	良	褐色	100	No6	床
2	坏	(15.0)			B	不良	橙	20		
3	坏	(15.0)	4.9		B D J L	不良	橙	40		
4	坏	(15.4)			B E F	不良	にぶい黄橙	25		
5	坏	12.1	5.9	6.3	B E F	普通	にぶい橙	100	No1	床+4cm 体部下端・底部ヘラ調整

第36号住居跡 (第60図)

N-8グリッドに位置する。北西部を第30号住居跡に切れ、第34号・第73号住居跡を切り、第50号・第51号住居跡の上に乗っている。平面は、軸長4.12m×4.03mの方形で、深さ20cm程を測る。主軸方位

は、N-19°-Wを指す。

カマドは北壁のやや東寄りに設けられている。燃焼部は117cm×52cmの楕円形で中央部が床面から5cm程ビット状に窪んでいる。

遺物は、土師器坏・甕、土錘が出土した。

第36号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(2.48)	1.19	(0.55)	(1.21)	B a	淡黄	25	D区
2	(2.10)	1.44	0.55	(2.56)	B a	にぶい黄橙	20	B区
3	(2.95)	1.41	0.45	(3.45)	B	橙	30	B区
4	(3.81)	1.43	0.58	(5.27)	B a	黒褐	50	D区
5	(3.87)	1.60	0.65	(7.45)	B a	にぶい黄橙	50	B区
6	(3.85)	1.64	0.65	(8.46)	B a	にぶい黄橙	50	B区
7	(5.24)	1.52	0.55	(11.31)	B a	褐色	60	D区
8	(6.57)	1.77	0.50	(17.81)	B a	淡黄	95	B区

第36号住居跡出土遺物観察表 (第60図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	椀	14.1	5.8		B D	普通	褐色	50	No3・5・カマド	
2	甕	(20.0)			A B D	良	にぶい橙	10	B区	

第38号住居跡 (第61図)

N-8グリッドに位置する。第30号住居跡に切れ、第36号住居跡の上に乗っている。平面は、軸長2.74m×2.53mの方形と推定でき、深さ9cm程を測る。主軸方位は、N-12°-Wを指す。

カマドは、北壁に設けられている。燃焼部は、97cm×60cmで、中央部が床面から15cm程ビット状に窪んでいる。

遺物は、土師器片が出土したが、図示できるものは出土しなかった。

第39号住居跡 (第62図)

Q-4グリッドに位置する。第27号住居跡を切っている。平面は、北西壁が3.43m確認できたのみで、深

さ50cm程を測る。主軸方位は、N-31°-Wを指す。

カマドは、北西壁に設けられている。カマドの南は調査区域外になっている。

遺物は、須恵器皿、土師器甕が出土した。

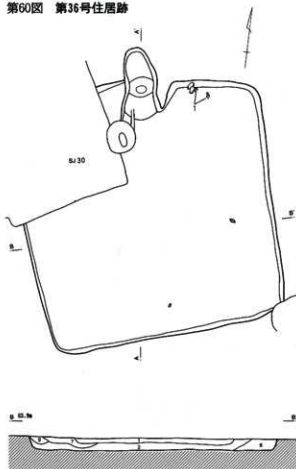
第40号住居跡 (第63・64図)

Q-4グリッドを中心に位置する。第10号住居跡の下にあり、カマド先端が調査区外になっている。平面は、軸長3.57m×3.40mの方形で、深さ20cm程を測る。主軸方位は、N-135°-Eを指す。

カマドは、南東壁のやや南西よりに設けられている。燃焼部は、72cm×60cmで僅かな窪み状を呈している。

遺物は、土師器坏・高杯・甕、土錘が出土した。

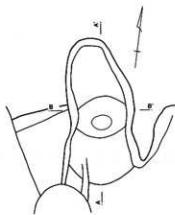
第60図 第36号住居跡



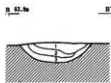
- 1 暗茶褐色 (107B/4) 焼土・炭化物中々多、黄褐色土少
- 2 茶褐色 (107B5/4) 焼土・炭化物多、黄褐色土中々多
- 3 茶褐色 (107B/6) 焼土・炭化物少、黄褐色土中々多
- 4 暗黄褐色 (107B7/8) 暗褐色土中々多
- 5 暗赤褐色焼土 (57B5/6) 暗褐色土・炭化物多
- 6 暗黄褐色 (107B7/8) 焼土・炭化物少
- 7 褐色 (107B6/8) 焼土・炭化物極く僅少、黄褐色土多
- 8 暗茶褐色 (107B/4) 焼土・炭化物中々多、黄褐色土多
- 9 暗茶褐色 (107B/4) 焼土・炭化物・黄褐色土少

0 2m

カマド



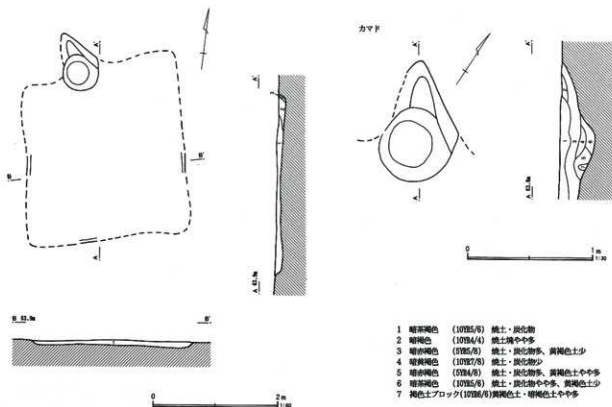
- 1 茶褐色 (107B6/8) 焼土・炭化物・灰褐色土中々多
- 2 暗褐色 (57B/8) 焼土層、炭化物・暗褐色土中々多
- 3 暗茶褐色 (107B/6) 焼土・炭化物中々多、暗褐色土
- 4 茶褐色 (107B5/8) 焼土・炭化物中々多、灰褐色土少
- 5 暗褐色 (107B5/4) 褐色土・灰褐色土少
- 6 茶褐色 (107B5/8) 焼土・炭化物中々多、灰褐色土少
- 7 茶褐色 (107B5/8) 焼土・炭化物少、黄褐色土中々多
- 8 茶褐色 (107B5/8) 焼土・炭化物少、灰褐色土中々多
- 9 暗黄褐色 (107B7/8) 暗褐色土少



0 1m

0 10cm

第61図 第38号住居跡・カマド



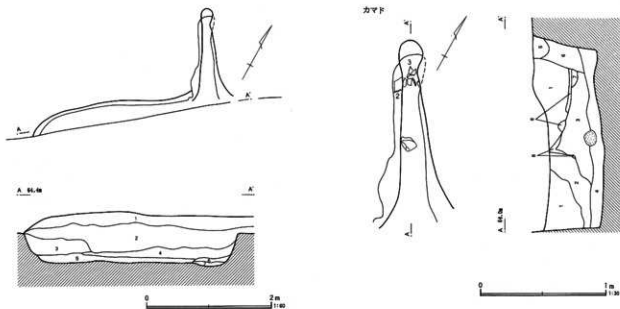
第39号住居跡出土遺物観察表 (第62図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	皿			5.8	B J L	良	灰	90	カマド	カマド 底部右回転糸切り
2	壺	(20.8)			E	普通	にぶい橙	15	No8	カマド
3	壺	(20.0)			A D G	普通	にぶい橙	10	No1・2	カマド

第40号住居跡出土土錐観察表

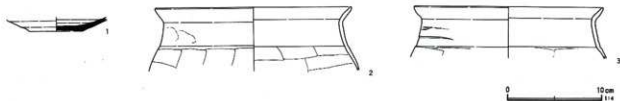
番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	4.73	1.50	0.62	8.49	B a V	にぶい黄橙	100	
2	(5.35)	2.40	0.54	(19.35)	B a	にぶい橙	90	

第62図 第39号住居跡



- 1 耕作土
- 2 黒褐色 (197B3/2) 地山土少、炭化物・焼土少
- 3 黒褐色 (197B3/2) 地山土若干、炭化物・焼土少
- 4 黒褐色 (197B3/2) 地山土少、炭化物・焼土少
- 5 黒褐色 (197B3/1) 地山土・炭化物・焼土少
- 6 黒褐色 (197B3/2) 地山土やや多く、地山ブロック多、  
焼土・炭化物少
- 7 黒褐色 (197B3/1) 地山土少、焼土・炭化物やや多

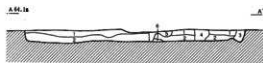
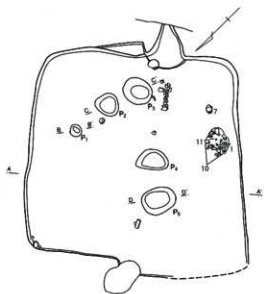
- 1 黒褐色 (197B3/1) 地山土少、焼土・炭化物やや多
- 2 黒褐色 (197B3/2) 地山土やや多く、地山ブロック多  
焼土・炭化物少
- 3 黒褐色 (197B3/2) 地山土・焼土・炭化物少
- 4 黒褐色 (197B3/1) 地山土少、焼土・炭化物やや多
- 5 暗褐色 (197B3/3) 炭・地山土少、焼土若干
- 6 暗褐色 (197B3/3) 炭・焼土少、地山土均等に多
- 7 黒褐色 (197B3/2) 地山土多
- 8 焼土



第40号住居跡出土遺物観察表 (第64図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(11.4)	4.7		B E G H	普通	にぶい赤褐色	45	No19	
2	坏	(13.0)			B H	普通	にぶい橙	25		
3	坏	(12.0)			B	普通	黒褐色	20	P3	
4	坏	(14.0)			E H J	普通	橙	15		
5	高坏				A B E J	普通	明赤褐色	90	No5	カマド
6	甕			8.8	A E J	普通	にぶい褐色	60		底部木葉痕
7	甕			7.7	A E F	不良	橙	90	No15	
8	甕			(5.0)	B	不良	橙	25		
9	甕			2.4	J	不良	にぶい橙	60		
10	瓶	(23.0)			B E J L	普通	にぶい黄橙	20	No16 ~ 18・21	11 と同一個体
11	瓶			9.4	B E J L	普通	にぶい黄橙	40	No18	10 と同一個体

第63図 第40号住居跡・カマド



- P 1  
 1 明黄褐色シルト (10785/6)  
 2 褐色シルト (10784/6)  
 3 黄褐色シルト (10785/6)



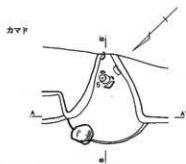
- P 2  
 1 黄褐色シルト (10785/6)  
 2 明黄褐色シルト (10785/6)  
 3 黄褐色 (10785/6) 幅跡より狭い



- P 3  
 1 褐色 (10784/6) 焼土・灰白色シルト  
 2 におい・黄褐色 (10785/4) 灰白色シルト、炭化粒子  
 3 褐色 (10784/4)  
 4 暗褐色 (10783/2) 炭化粒子

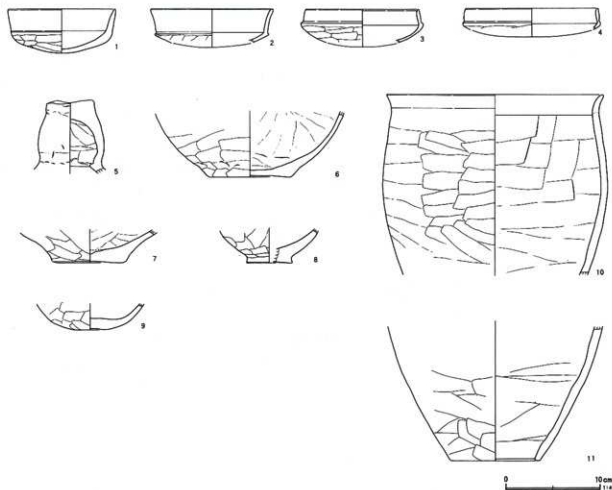
- P 4  
 1 黒褐色 (10783/2) 焼土粒子  
 2 暗褐色 (10783/2)  
 3 明黄褐色 (10785/6)  
 4 明黄褐色 (10785/6)

- 1 黄褐色シルト (10785/6) 灰白色シルト多  
 2 褐色 (10784/4) 灰白色粒子若干  
 3 褐色土 (10784/4)  
 4 黒褐色 (10783/2)  
 5 暗褐色 (10783/4) 灰白色シルト・焼土粒子多  
 6 におい・黄褐色 (10784/4)



- 1 黒褐色 (10783/2) 焼土・炭少、焼土ブロック多  
 2 暗褐色 (10783/1) 焼土・焼土少  
 3 におい・黄褐色 (10784/2) 焼土主体  
 4 灰黄褐色 (10784/2) 焼土多、炭・焼土層少

第64図 第40号住居跡出土遺物



第41号住居跡 (第65図)

N-6グリッドに位置する。第48号・第52号住居跡・第4号性格不明遺構に切られている。カマドのみの検出である。主軸方位は、N-52°-Eを指す。

カマドは、北東壁に設けられていると考えられる。燃焼部は、123cm×43cmである。

遺物は、土師器坏、土錘が出土した。

第42号住居跡 (第66・67図)

N-9グリッドを中心に位置する。第63号住居跡の上に乗っている。平面は、軸長3.53m×3.23mのや

や台形気味で、深さ8cm程を測る。主軸方位は、N-120°-Wを指す。

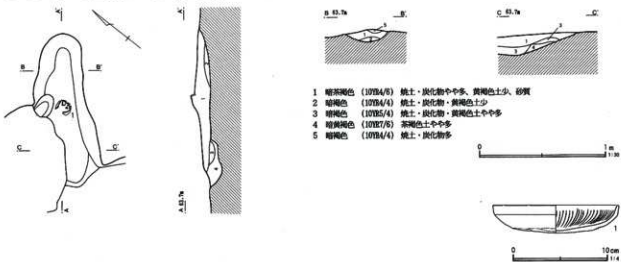
カマドは、南西壁に設けられている。燃焼部は、98cm×52cmで楕円形を呈し僅かな窪み状を呈している。支脚の石が遺存している。

遺物は、土師器坏・椀・台付甕・甕・甌、白玉が出土した。1の白玉は、径6.6~6.8mm、厚さ5.4mm、孔径1.7mm、重さ0.37gで床からの出土である。

第41号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(1.56)	1.29	(0.52)	(1.08)		にぶい黄橙		カマド

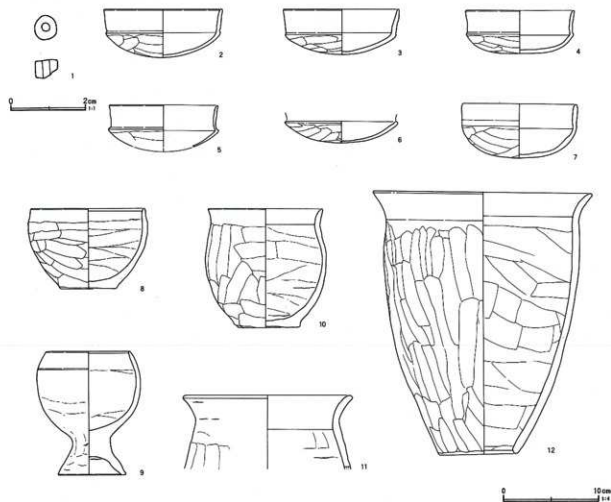
第65図 第41号住居跡カマド・出土遺物



第41号住居跡出土遺物観察表 (第65図)

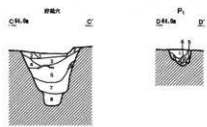
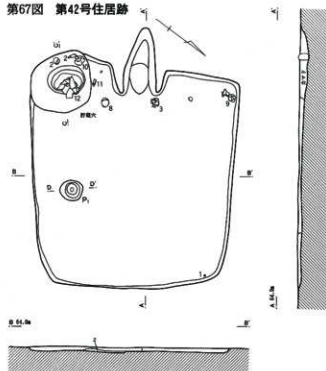
番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	13.2	3.0		BEFL	普通	橙	80	No.1 カマド	内面暗文

第66図 第42号住居跡出土遺物



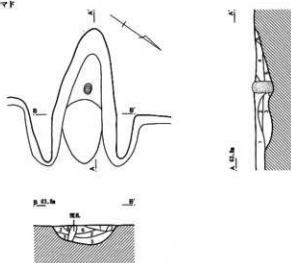


第67図 第42号住居跡



- 1 茶褐色 (10YR5/6) 黄褐色土・灰褐色土少  
2 黄褐色 (10YR7/6) 茶褐色土少
- P1  
1 茶褐色 (10YR5/6) 黄褐色土多  
2 茶褐色 (10YR6/6) 黄褐色土やや多  
3 褐色 (10YR6/4) 暗褐色土層少  
4 暗茶褐色 (10YR4/4) 暗褐色土層少  
5 暗黄褐色 (10YR6/6) 茶褐色土少  
6 褐色 (10YR6/4) 灰褐色土やや多
- 貯蔵穴  
1 茶褐色 (10YR5/4) 焼土・炭化物・黄褐色土少  
2 褐色 (10YR5/6) 焼土・炭化物少・黄褐色土やや多  
3 暗茶褐色 (10YR4/4) 焼土・炭化物やや多・黄褐色土・灰褐色土少  
4 茶褐色 (10YR6/4) 黄褐色土・灰褐色土少  
5 茶褐色 (10YR6/4) 黄褐色土・灰褐色土やや多  
6 褐色 (10YR6/6) 暗褐色土少  
7 暗茶褐色 (10YR5/4) 黄褐色土少  
8 暗茶褐色 (10YR4/4) 焼土・炭化物やや多・黄褐色土少

カマド

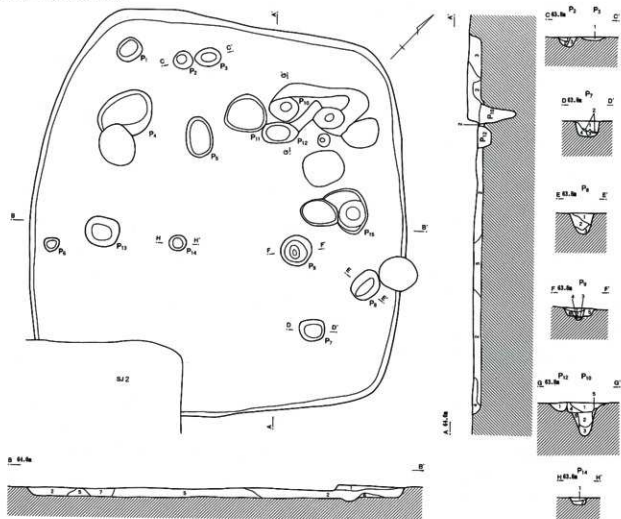


- 1 茶褐色 (10YR5/4) 焼土・炭化物やや多・黄褐色土少  
2 暗茶褐色 (10YR4/4) 焼土・炭化物やや多・黄褐色土やや多  
3 暗茶褐色 (2.5YR6/8) 焼土・黄褐色土・炭化物やや多  
4 暗褐色 (10YR3/4) 焼土・炭化物少・灰褐色土やや多  
5 暗灰褐色 (10YR6/4) 暗褐色土少  
6 赤褐色 (2.5YR6/8) 焼土・炭化物主体・灰褐色土少  
7 褐色 (5YR7/8) 焼土ブロック・黄褐色土少

第42号住居跡出土遺物観察表 (第66図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
2	坏	12.6	5.1		BEF	不良	橙	95	No2・3	貯蔵穴
3	坏	12.3	4.8		EK	不良	にぶい橙	80	No7	床
4	坏	(11.6)	4.6		BE	不良	橙	35	A区	
5	坏	(11.6)			BE	普通	にぶい橙	25	A区	
6	坏				G	不良	橙	60	貯穴・A区	貯蔵穴
7	坏	(12.0)	5.8		J	不良	橙	40	A区	
8	碗	(12.0)	8.5	6.1	AJL	普通	褐	80	No6・A区	床
9	高坏	8.9	13.1	7.2	BE	不良	にぶい橙	90	No9	床
10	壺	12.1	12.5	6.7	JL	普通	にぶい赤褐	60	No4	貯蔵穴
11	壺	(18.0)			ABJL	普通	橙	10	No5	床
12	甗	23.0	27.8	8.1	JL	普通	にぶい黄橙	100	No1	貯蔵穴 外面↓方向へラ削り、内面横ナデ、外面↓方向へラ削り、底部孔内面指横ナデ

第68図 第43号住居跡



- 1 黒褐色 (10B3/2) 地山土・焼土・炭少
- 2 灰黄褐色 (10B4/2) 地山土若干、灰色粘土少、焼土・炭僅か
- 3 暗褐色 (10B3/3) 地山土、炭僅か
- 4 黒褐色 (10B3/1) 地山土、焼土・炭僅か
- 5 におい黄褐色(10B5/2) 地山土主体、炭僅か
- 6 灰黄褐色 (10B4/2) 地山土多
- 7 黒褐色 (10B3/2) 地山土、焼土・炭少

- P 1 暗褐色 (10B3/2) 地山土少、炭僅か
- P 4 灰黄褐色 (10B4/2) 地山土多、焼土僅か
- P 5 褐色 (10B4/1) 地山土、焼土・炭少
- P 6 灰黄褐色 (10B4/2) 地山土多
- P 13 暗褐色 (10B3/3) 地山土少、焼土・炭僅か
- P 15 灰黄褐色 (10B4/2) 地山土多、焼土・炭僅か

- P 2
- 1 灰黄褐色 (10B4/2) 褐色粘土、地山土少、焼土・炭僅か
- 2 灰黄褐色 (10B4/2) 地山土多
- 3 暗褐色 (10B3/3) 褐色粘土部分のにおい多、炭僅か

- P 3
- 1 灰黄褐色 (10B4/2) 地山土少、焼土・炭僅か

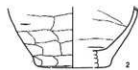
- P 7
- 1 黒褐色 (10B3/2) 地山土・炭少、焼土僅か
- 2 黒褐色 (10B3/1) 炭化物
- 3 暗褐色 (10B3/3) 地山土多
- 4 におい黄褐色(10B5/4) 地山土主体、炭僅か

- P 8
- 1 黒褐色 (10B3/2) 地山土多、焼土・炭僅か
- 2 黒褐色 (10B3/1) 地山土少、焼土・炭僅か
- 3 黒褐色 (10B3/2) 地山土少、炭僅か

- P 9
- 1 灰黄褐色 (10B4/2) 地山土多、焼土僅か
- 2 黒褐色 (10B3/1) 地山土・炭少
- 3 暗褐色 (10B3/1) 粘土層
- 4 暗褐色 (10B3/3)
- 5 黒褐色 (10B3/2) 地山土少
- 6 黒褐色 (10B3/2) 地山土・焼土・炭少

- P 10・12
- 1 灰黄褐色 (10B4/2) 焼土・炭少、地山土含
- 2 黒褐色 (10B3/2) 地山土(ブロック含)少、焼土・炭含
- 3 暗褐色 (10B3/3) 地山土多、炭僅か
- 4 灰黄褐色 (10B4/2) 地山土多
- 5 におい黄褐色(10B5/3)

- P 14
- 1 黒褐色 (10B3/2) 地山土少、焼土・炭僅か
- 2 暗褐色 (10B3/3) 褐色粘土多



0 10cm 1:4

### 第43号住居跡 (第68図)

P・Q-4グリッドに位置する。第2号住居跡に切られ、第44号住居跡を切り、第28号住居跡の上に乗っている。平面は、軸長6.07m×6.27mの方形で、深

さ16cm程を測る。主軸方位は、N-50°-Eを指す。

カマドは、確認できなかった。

遺物は、須恵器礎、土師器甕、土錘が出土した。

### 第43号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(3.68)	1.61	0.45	(8.72)	B	橙	50	C区
2	(5.08)	1.31	0.40	(7.87)	Ba	灰白	90	C区

### 第43号住居跡出土遺物観察表 (第68図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	甕				B	良	灰	15	B区	
2	甕			7.6	ADJ	普通	にぶい赤褐	70	D区	

### 第44号住居跡 (第69図)

Q-4グリッドを中心に位置する。第2号・第43号住居跡に切られ、第1号・第28号住居跡の下にあり、第26号住居跡の上に乗っている。平面は、不明で深さ17cm程を測る。主軸方位は、N-77°-Wを指す。

部25cmを測る。煙道部は113cm確認できた。

カマドは、西壁に設けられている。燃烧部は、53cm×38cmである。

遺物は、須恵器蓋、土師器坏・甕、ミニチュア土器、土錘、白玉、土玉、砥石、鉄製品が出土した。12の白玉は径5.2~5.5mm、厚さ4.3mm、孔径1.6mm、重さ0.23g。13の土玉は最大径8.6mm、高さ10.3mm、孔径2.8mm、重さ0.70g。白玉・土玉ともに覆土からの出土である。14の砥石は一面のみの使用で重さ135.88gで床からの出土である。15・16は鉄鍔で、14は先端と茎が欠損し11.15g、16は茎のみで15.88g。17・18は刀子で一部の遺存で17は9.59g、18は11.02gである。16・17は床から僅かに浮いた状態で、18は床面から出土した。

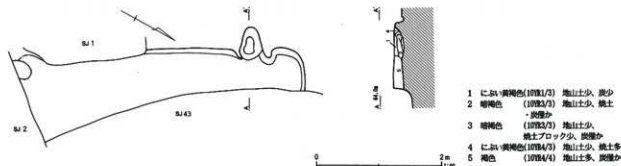
遺物は、土師器片が若干出土した。

### 第45号住居跡 (第70~73図)

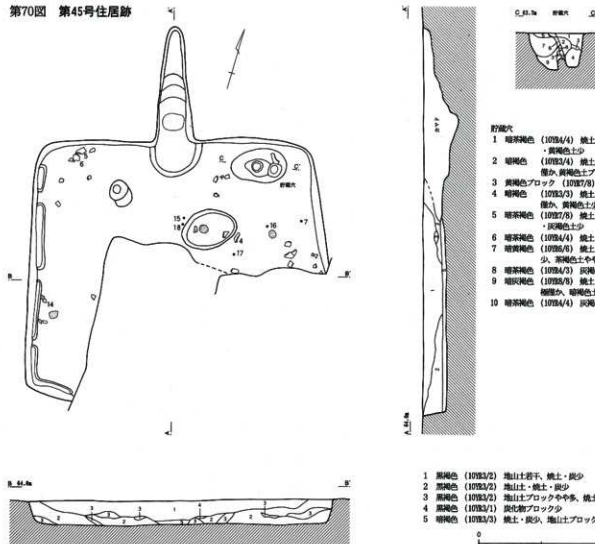
O-8・9グリッドに位置する。第78号・第79号住居跡に切られている。平面は、軸長4.16m×4.38mのやや台形気味で、深さ20cm程を測る。壁溝は、西壁と南壁に断続的に確認でき、幅7~13cm、深さ4cm程を測る。主軸方位は、N-15°-Wを指す。

カマドは、北壁中央に設けられている。燃烧部は、126cm×60cmで楕円形を呈し、床面から深さ5cm、一

### 第69図 第44号住居跡



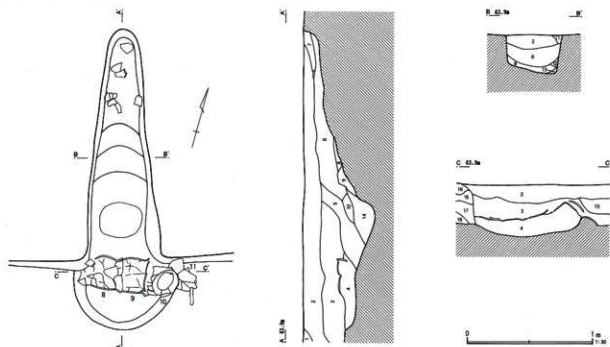
第70図 第45号住居跡



第45号住居跡出土土鐘観察表

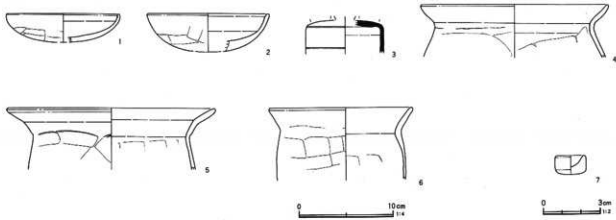
番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(2.86)	1.63	0.40	(6.54)	B	橙	40	A区
2	(3.29)	1.94	0.50	(10.06)	B a	にぶい黄橙	40	A区
3	(3.23)	1.74	0.55	(9.12)	B	黄灰	30	A区
4	(4.94)	1.54	0.60	(9.14)	B a	にぶい黄橙	90	A区
5	5.40	1.63	0.40	13.68	B b V	橙	100	A区
6	(6.11)	1.84	0.48	(16.70)	B a	にぶい橙	90	A区
7	(5.79)	1.82	0.40	(17.18)	B a	にぶい黄橙	80	A区
8	7.14	1.84	0.68	20.25	B a III	にぶい黄橙	100	A区
9	(8.12)	1.71	0.50	(17.90)	B a	にぶい黄橙	95	A区
10	8.42	1.83	0.55	22.16	B a II	浅黄橙	100	A区
11	(2.97)	1.68	0.45	(8.33)	B	にぶい橙	20	No. 1
12	(6.00)	1.52	0.45	(12.44)	B a	陶灰	90	No. 1
13	5.98	1.65	0.38	(15.25)	B a IV	にぶい橙	95	No. 1
14	(1.80)	1.98	0.75	(3.87)	B a	明赤褐	20	B区
15	(2.68)	1.43	0.38	(5.36)	B a	橙	20	B区
16	3.83	1.04	0.38	(2.99)	B a VI	にぶい黄橙	95	B区
17	(4.83)	1.67	(0.40)	(6.12)	B	にぶい黄橙	40	B区
18	(4.13)	1.83	0.65	(12.20)	B a	にぶい橙	80	B区
19	(4.20)	2.04	0.70	(12.83)	B a	橙	70	B区
20	5.98	1.44	0.43	10.10	B a IV	橙	100	B区

第71図 第45号住居跡カマド・出土遺物(1)

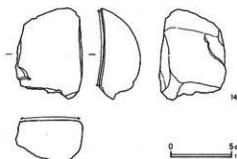
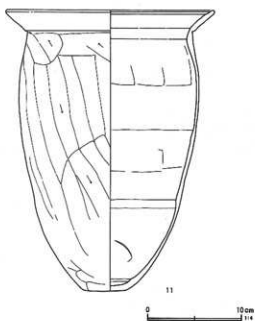
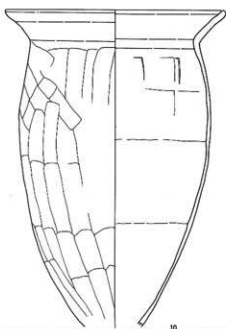
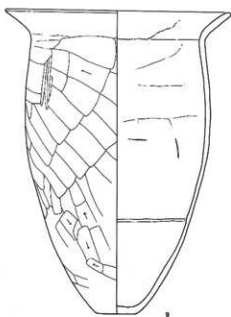
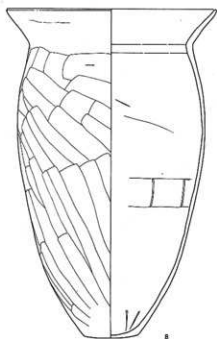


- 1 暗褐色 (107B3/2) 焼土・炭化物少、黄褐色土・灰褐色土層か
- 2 暗茶褐色 (107B4/3) 焼土・炭化物やや多、黄褐色土少
- 3 暗褐色 (107B3/2) 焼土・炭化物やや多、黄褐色土層少
- 4 暗茶褐色 (107B5/4) 焼土・炭化物多、黄褐色土やや多
- 5 暗褐色 (107B3/3) 焼土・炭化物多
- 6 暗褐色 (107B3/4) 焼土・炭化物やや多
- 7 暗赤褐色 (107B5/5) 焼土層、暗褐色土やや多
- 8 暗赤褐色 (107B5/6) 焼土・炭化物多、暗褐色土やや多
- 9 暗黄褐色 (107B6/6) 茶褐色土少

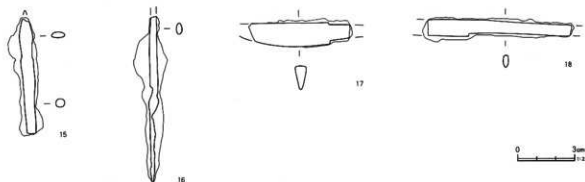
- 10 暗茶褐色 (107B4/4) 焼土・炭化物やや多
- 11 赤褐色焼土 (107B5/8) 暗茶褐色土少
- 12 茶褐色 (107B6/6) 焼土・炭化物層薄か、暗茶褐色土少
- 13 暗黄褐色 (107B7/8) 焼土・炭化物、暗褐色土少
- 14 暗褐色 (107B3/3) 焼土・炭化物やや多、黄褐色土少
- 15 暗茶褐色 (107B5/3) 焼土・炭化物少、灰褐色土やや多
- 16 暗褐色 (107B5/3) 焼土・炭化物、灰褐色土少
- 17 暗茶褐色 (107B4/3) 焼土・炭化物、灰褐色土少
- 18 茶褐色 (107B5/4) 焼土・炭化物層薄か、黄褐色土・灰褐色土やや多



第72図 第45号住居跡出土遺物(2)



第73図 第45号住居跡出土遺物(3)



第45号住居跡出土遺物観察表(第71・72図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(11.8)	3.0		D G	良	にぶい橙	30	D区	
2	坏	(13.0)	4.0		B D G J	普通	浅黄橙	20	B区	
3	蓋				B	良	灰	20	カマド・B区	天井部右回転ヘラ削り
4	甕	(20.0)			B E J	普通	にぶい褐	40	No16・B区	床 口縁部内面横ナデ 頸部下内面ヘラ横ナデ
5	甕	(22.3)			B D F G J	普通	橙	25	No57・58	床
6	甕	(15.0)			D G J	普通	橙	25	No58	床
7	ミナチヤ土器	2.8	2.0	3.1	B J K	普通	にぶい褐	70	No11	底部ヘラナデ
8	甕	(22.0)	35.0	(5.6)	E G	普通	橙	95	No65	カマド 内面木口状工具横ナデ
9	甕	23.5	32.1	4.0	B D	普通	橙	95	No66	カマド
10	甕	23.0			J	普通	橙	80	No67	カマド 内面横ナデ
11	甕	21.9	29.8	4.5	B J	普通	橙	70	No68	カマド 内面横ナデ 外面頸部↑方向ヘラ削り 以下↓方向ヘラ削り

第45号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
21	4.95	1.99	0.65	18.89	B a V	にぶい黄橙	100	B区
22	5.76	1.82	0.55	18.39	B a IV	にぶい橙	100	B区
23	5.65	2.06	0.60	(14.49)	B a IV	にぶい橙	95	B区
24	6.10	2.12	0.75	(23.01)	B a IV	橙	95	B区
25	(2.76)	1.66	0.45	(5.45)	B a	にぶい黄橙	30	A区
26	(3.97)	1.70		(6.32)	B	にぶい橙	40	カマド
27	(4.48)	1.40	0.55	(6.74)	B	明赤褐	70	カマド

第46号住居跡(第74図)

P-6グリッドに位置する。第12号・第19号住居跡に切られている。壁溝で検出できたもので、平面は、軸長2.40m以上×1.70m以上である。壁溝は、幅32~35cm、深さ3~5cm程を測る。主軸方位は、N-132°-Eを指す。

カマドは、南東壁に設けられている。焼成部は、63cm×50cmの楕円形で、僅かな窪み状を呈している。

遺物は、カマドより土師器坏が出土した。

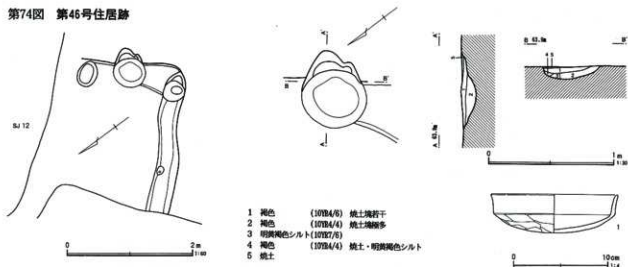
第47号住居跡(第75図)

O-6グリッドに位置する。第7号住居跡の下からカマドのみが検出された。主軸方位は、N-142°-Wを指す。

カマドは、南西壁に設けられていると考えられる。焼成部は、81cm×51cmで楕円形の土坑状を呈し、床面から深さ15cmを測る。煙道部は39cm確認できた。

遺物は、土師器坏、土錘が出土した。

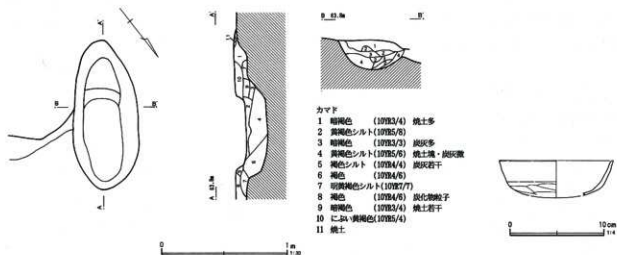
第74図 第46号住居跡



第46号住居跡出土土遺物観察表 (第74図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(13.4)	4.1		BDEJ	不良	橙	60	カマド	カマド

第75図 第47号住居跡カマド



第47号住居跡出土土錘観察表

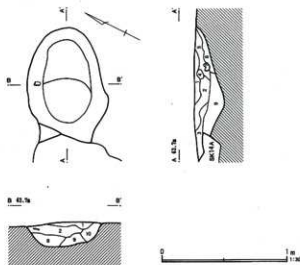
番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(2.45)	1.15	0.43	(2.17)	B	浅黄橙	30	

第47号住居跡出土土遺物観察表 (第75図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(12.0)			BDJ	普通	にぶい赤褐	15		



第76図 第48号住居跡カマド



- 1 赤褐色 (10B5/4) 焼土・炭化物やや多
- 2 赤褐色 (10B4/8) 焼土・炭化物多
- 3 暗赤褐色 (10B4/4) 焼土・炭化物やや多
- 4 暗赤褐色 (10B7/8) 焼土・炭化物少、暗褐色土やや多
- 5 暗赤褐色 (10B4/3) 焼土・炭化物多、黄褐色土少
- 6 褐色 (10B5/6) 焼土・炭化物微量か、黄褐色土やや多
- 7 褐色 (10B5/8) 灰褐色土少、全不砂質
- 8 暗赤褐色 (10B4/4) 焼土・黄褐色土少
- 9 暗赤褐色 (10B2/5) 赤褐色土やや多
- 10 暗赤褐色 (10B4/3) 焼土・炭化物微量か

第48号住居跡 (第76図)

N-6グリッドに位置する。第14A号土坑の上に乗っているが、カマドのみの検出である。主軸方位は、N-62°-Eを指す。

カマドは、北東壁に設けられていると考えられる。燃焼部は108cm×60cmで楕円形を呈し、深さ24cmを測る。

遺物は、土師器片が出土した。

第49号住居跡 (第77図)

P-6グリッドに位置する。第12号住居跡の下にある。平面は、軸長2.33m×3.38mの方形で、深さ5cm程を測る。主軸方位は、N-53°-Wを指す。

カマドは、北西壁でやや南西に寄って設けられている。燃焼部は、73cm×70cmで円形を呈し、床面から深さ26cmを測る。

遺物は、土師器片、ミニチュア土器、土錘が出土した。

第49号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	5.7	1.79	0.53	15.85	B a IV	褐灰	100	P 9

第50号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(5.96)	1.60	0.48	13.83	B b IV	黒褐	100	A区
2	6.00	1.70	0.45	(16.31)	B	浅黄橙	90	D区
3	(8.63)	1.77	0.55	(20.93)	B a I	灰黄褐	95	B区

た。

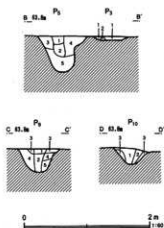
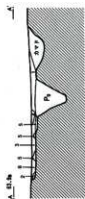
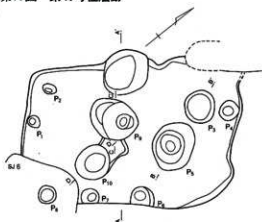
第50号住居跡 (第78図)

N-8グリッドに位置する。第30号住居跡に切れ、第36号・第51号住居跡の下にある。平面は、軸長2.41m×2.97mの方形で、深さ10cm程を測る。主軸方位は、N-28°-Wを指す。

カマドは、北壁中央に設けられている。燃焼部は、143cm×54cmの楕円形で、床面から深さ18cmを測る。支脚の石が遺存していた。

遺物は、土師器片・甕、土錘、砥石が出土した。砥石は5面使用されており、床面からの出土である。

第77図 第49号住居跡



- 1 におい黄褐色(1095/4)
- 2 暗褐色 (1092/2) 黄褐色土、練まり強い
- 3 黒褐色 (1092/2) 焼土多
- 4 褐色 (1094/6) 灰白色シルト・焼土若干
- 5 明黄褐色シルト(1095/6)
- 6 暗褐色 (1092/4) 炭化材粒子・焼土粒子多

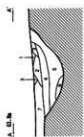
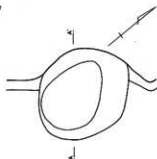
- P3
- 1 におい黄褐色(1095/4)
  - 2 明黄褐色シルト(1097/6)

- P5
- 1 褐色 (1092/4) におい黄褐色土多
  - 2 褐色 (1092/4) 焼土若干
  - 3 におい黄褐色(1095/4)
  - 4 褐色 (1092/4) 焼土若干・炭化物多
  - 5 におい黄褐色(1095/3)

- P9
- 1 暗褐色 (1092/2) 焼土少、焼土・炭少
  - 2 褐色 (1094/4) 焼土多、焼土・炭少
  - 3 暗褐色 (1092/2) 焼土多、焼土・炭少
  - 4 暗褐色 (1092/2) 焼土多、灰白色シルト少
  - 5 におい黄褐色(1092/3) 焼土多

- P10
- 1 暗褐色 (1092/2) 焼土少、炭少
  - 2 暗褐色 (1092/2) 焼土多
  - 3 におい黄褐色(1092/3) 焼土主体

カマド



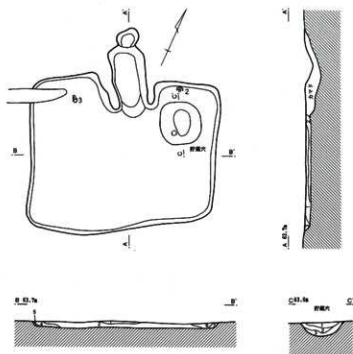
- 1 焼土
- 2 黄褐色 (1092/3) 炭化材粒子・焼土若干
- 3 黄褐色シルト
- 4 褐色 (1092/4) 炭化材粒子若干含
- 5 褐色 (7.1094/4) 炭化材粒子・焼土粒子若干含
- 6 黄褐色 (1095/6)
- 7 におい黄褐色(1095/4)



第49号住居跡出土遺物観察表 (第77図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(11.0)	2.7		ABDGJ	良	におい橙	20	カマド	
2	坏	(12.0)	3.1		ADJ	普通	橙	15	カマド	カマド
3	ミニチュア土器	(3.4)	2.8	2.2	B	良	におい褐	90	No6	

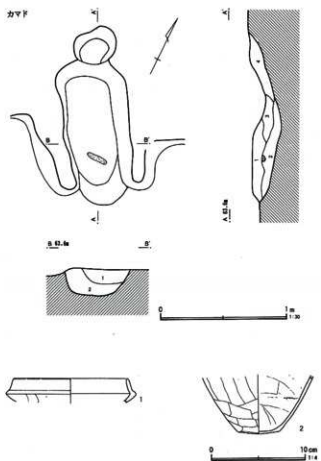
第78図 第50号住居跡



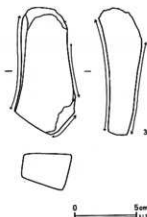
- 1 暗茶褐色 (10784/4) 焼土・炭化物少、黄褐色土やや多
- 2 暗黄褐色 (10786/6) 焼土・炭化物やや多、暗褐色土少
- 3 暗茶褐色 (10784/2) 焼土・炭化物少、黄褐色土少
- 4 茶褐色 (10785/6) 焼土・炭化物少、黄褐色土やや多
- 5 茶褐色 (10784/6) 黄褐色土やや多
- 6 暗茶褐色 (10784/4) 黄褐色土少
- 7 黄褐色 (10787/6) 褐色土少

貯蔵穴

- 1 灰褐色 (10786/2) 黄褐色土・暗茶褐色土多量、焼土・炭化物少
- 2 暗赤褐色 (2.5785/9) 焼土・炭化物多、暗茶褐色土多量、黄褐色土少
- 3 暗黄褐色 (10786/6) 焼土・炭化物少、暗茶褐色土やや多



- 1 暗黄褐色 (10785/6) 焼土・炭化物やや多、暗褐色土少
- 2 灰褐色 (10782/2) 焼土・炭化物少
- 3 暗褐色 (10782/2) 焼土多、焼土・炭化物少
- 4 灰褐色 (10782/2) 焼土ブロック少、焼土ブロック・炭やキ多



第50号住居跡出土遺物観察表 (第78図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(12.0)			BEIJ	不良	明赤褐	10	D区	
2	壺			4.3	BDEH	普通	にぶい黄褐	80	No3・B区	床

第51号住居跡 (第79図)

N-8グリッドに位置する。第34号・第36号住居跡に切られ、第50号住居跡の上に乗っている。平面は、軸長1.95m以上×3.87mで、深さ6cm程を測る。主軸方位は、N-63°-Eを指す。

カマドは、北東壁のやや南東寄りに設けられている。燃焼部は、55cm×56cmで方形を呈し、床面から深さ15cmを測る。煙道部は燃焼部と段差をもって高くなり55cm確認できた。

遺物は、土師器片が出土した。

第52号住居跡 (第80図)

N-6グリッドに位置する。第14号土坑に切られ、第4号性格不明遺構の上に乗っている。平面は、軸長3.29m×2.34mで、深さ8cm程を測る。主軸方位は、N-37°-Eを指す。

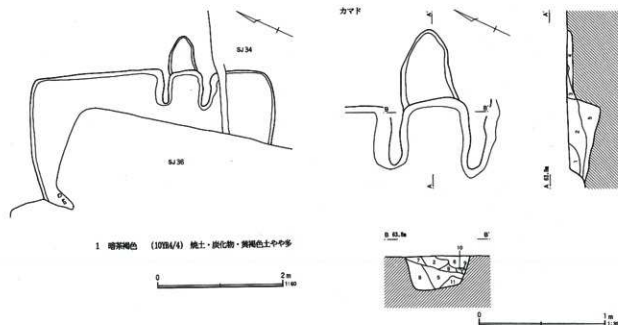
カマドは、東壁に設けられている。燃焼部は、43cm×27cmの楕円形で僅かな窪み状を呈している。

遺物は、須恵器坏、土師器壺、土鍾が出土した。

第52号住居跡出土土鍾観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(3.69)	1.27	0.48	(6.12)	B	にぶい黄褐	50	D区

第79図 第51号住居跡・カマド

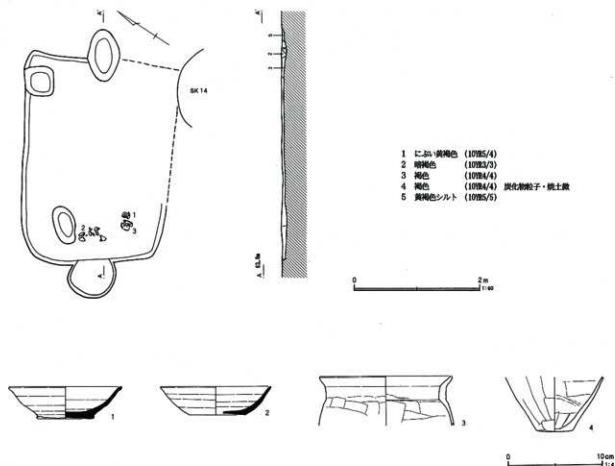


1 暗茶褐色 (10704/4) 焼土・炭化物・黄褐色土やや多

- 1 褐色 (10705/6) 焼土・炭化物・黄褐色土やや多
- 2 茶褐色 (10705/4) 焼土・炭化物少、灰褐色土やや多
- 3 暗赤褐色 (10706/6) 焼土層、茶褐色土・黄褐色土少
- 4 黄褐色 (10707/6) 焼土・炭化物少、茶褐色土やや多
- 5 暗茶褐色 (10704/4) 焼土・炭化物・灰褐色土少

- 6 暗灰褐色 (10706/4) 焼土・炭化物少、暗茶褐色土やや多
- 7 茶褐色 (10705/4) 焼土・炭化物少、黄褐色土やや多
- 8 暗茶褐色 (10705/2) 焼土・炭化物・灰褐色土・黄褐色土少
- 9 暗灰褐色 (10707/6) 焼土・炭化物少、茶褐色土やや多
- 10 黄褐色 (10707/6) 茶褐色土やや多
- 11 暗茶褐色 (10706/6) 茶褐色土少

第80図 第52号住居跡



第52号住居跡出土遺物観察表 (第80図)

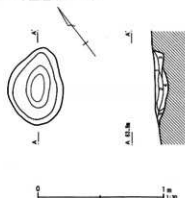
番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(12.0)	3.4	6.0	J	普通	灰	60	No1・D区	床+8cm 底部右回転承切り
2	坏	11.7	3.0	6.0	BHJL	良	灰	75	No4・SJ22-A	床+5cm 底部右回転承切り
3	甕	(14.0)			ABEFJ	普通	におい褐	15	No2	床+5cm
4	甕			(3.8)	BDEGJ	普通	におい褐	30	D区	

第53号住居跡 (第81図)

P-6グリッドに位置する。第19号住居跡の下にある。カマドのみの検出である。主軸方位は、N-43°-Eを指す。

カマドは、北東壁に設けられていたと考えられる。然焼部は、53cm×44cmの楕円形で、深さ10cm程の窪み状を呈している。

第81図 第53号住居跡カマド



- 1 暗褐色 (10B3/3) 焼土・炭灰
- 2 にお・黄褐色 (10B5/4) 明黄褐色土多
- 3 暗褐色 (10B3/4)
- 4 褐色 (10B4/4)
- 5 黄褐色 (10B5/4)

### 第54号住居跡 (第82・83図)

〇-8グリッドに位置する。第25号住居跡に切られ、第55号住居跡を切っている。平面は、軸長4.77m×3.93mの方形で、深さ43cm程を測る。主軸方位は、N-77°-Eを指す。

カマドは、東壁の南隅寄りに設けられている。燃焼

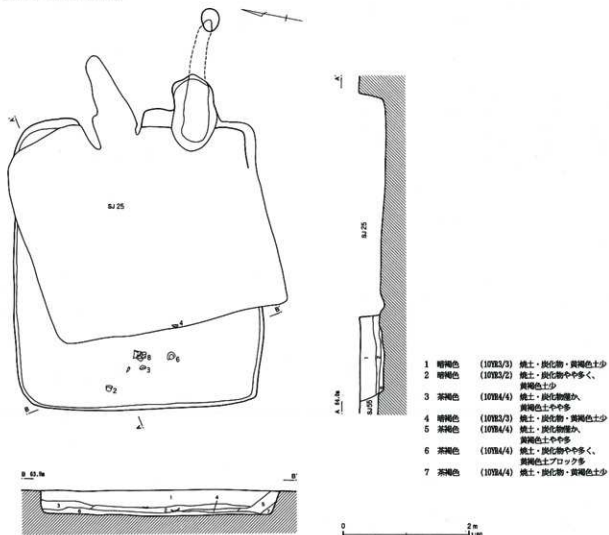
部の一部と煙道部は天井が遺存しており、煙道部は燃焼部から緩やかに立ち上がる。燃焼部は183cm×73cm、床面からの深さ29cmを測る。煙出しは、32cm×26cmで楕円形を呈している。

遺物は、須恵器杯・碗・蓋、土師器杯・甕、土鍾が出土した。

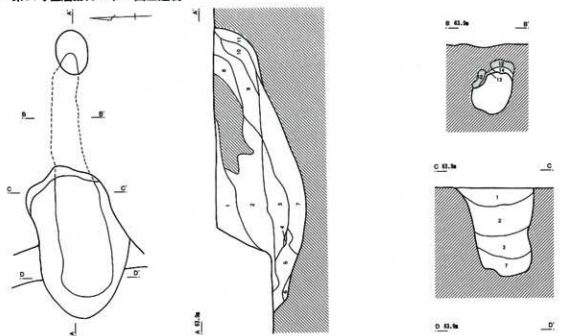
第54号住居跡出土土鍾観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(3.70)	1.53	0.60	(6.73)	B	淡黄	40	C区
2	(4.88)	1.39	0.45	(8.57)	A a	にょい橙	90	
3	(7.11)	1.97	0.50	22.60	B a	楊灰	95	
4	6.99	1.94	0.52	25.43	B a II	にょい黄橙	100	

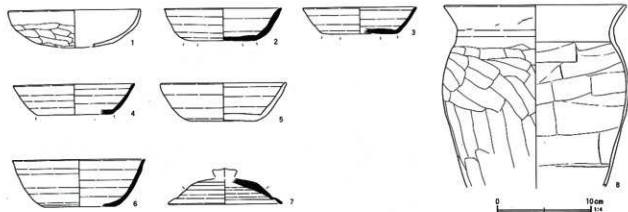
第82図 第54号住居跡



第83図 第54号住居跡カマド・出土遺物



- |                                  |                                  |
|----------------------------------|----------------------------------|
| 1 茶褐色 (107B5/A) 焼土・炭化物・黄褐色土少     | 8 茶褐色 (107B5/7) 焼土・炭化物・黄褐色土少     |
| 2 暗茶褐色 (107B5/A) 焼土・炭化物・黄褐色土やや多  | 9 暗茶褐色 (107B4/4) 焼土・炭化物少・黄褐色土やや多 |
| 3 暗茶褐色 (107B5/A) 黄褐色土ブロック・炭化物やや多 | 10 暗褐色 (107B3/7) 焼土・炭化物やや多・黄褐色土少 |
| 4 褐色 (107B7/E) 焼土・炭化物少           | 11 暗茶褐色 (107B4/4) 焼土・炭化物・黄褐色土やや多 |
| 5 暗褐色 (107B4/B) 焼土・炭化物・黄褐色土多     | 12 暗赤色土                          |
| 6 暗茶褐色 (107B7/A) 焼土・炭化物少         | 13 暗赤色土                          |
| 7 暗茶褐色 (107B4/B) 焼土・炭化物・黄褐色土やや多  | 14 暗茶褐色 (107B4/4) 焼土粒・黄褐色土粒多     |



第54号住居跡出土遺物観察表 (第83図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(14.0)			G	良	にぶい橙	20	C区	
2	坏	12.4	3.5	7.6	BL	良	灰	70	No1・C区	底部周辺右回転ヘラ削り
3	坏	(12.0)	2.8	(7.9)	BI L	良	灰	45	No4	底部周辺右回転ヘラ削り
4	坏	(12.8)	3.2	(8.1)	BI J	良	灰	40	No6・C区	床 底部回転ヘラ削り
5	坏	13.4	4.0	7.1	DEGH	不良	にぶい褐	80	No5・C区	床+7cm 酸化塩焼成
6	碗	(14.0)	5.0	(7.4)	BI L	良	灰	20	C区	体部外面下端・底部回転ヘラ削り
7	壺	(12.0)			B J	良	灰	40	C区	
8	甕	(19.4)			BDEJ	普通	にぶい橙	30	No3・C区	床

#### 第55号住居跡 (第84図)

○-8グリッドに位置する。第18号・第25号・第54号住居跡に切られている。平面は、軸長5.35m×5.85mの方形で、深さ30cm程を測る。主軸方位は、N-56°-Eを指す。

カマドは、北東壁に設けられている。第25号・第54号住居跡に切られ全容は明らかでない。

遺物は、土師器坏・鉢、土錘が出土した。

#### 第56号住居跡 (第85・86図)

○-5・6グリッドに位置する。第8号住居跡の下にあり、第57号住居跡を切っている。平面は、軸長5.03m×4.13mの方形で、深さ10cm程を測る。壁溝は南壁・北壁の一部と西壁が確認でき、幅28~58cm、深さ5~9cmである。主軸方位は、N-62°-Eを指す。

カマドは、東壁のやや南寄りに設けられている。燃焼部は100cm×61cmの楕円形で、床面から深さ13cmの窪み状を呈している。

遺物は、須恵器坏、土師器甕、土錘、鉄製品が出土

した。鉄製品は刀子で刃部の先端が欠損しており、重さは15.93gで覆土からの出土である。

#### 第57号住居跡 (第87図)

○-6グリッドに位置する。第22号住居跡の下にあり、大半を第56号住居跡に切られている。2辺の一部が確認され、壁溝は幅35~75cm、深さ5~10cmを測る。平面は、不明である。

カマドは、確認できなかった。

遺物は、須恵器片、土師器坏片が出土した。

#### 第58号住居跡 (第88図)

L-9グリッド中心に位置する。平面は、軸長2.60m×2.87mの方形で、深さ5cm程を測る。主軸方位は、N-16°-Wを指す。

カマドは、北壁の西寄りに設けられている。燃焼部は116cm×57cmで、床面から深さ10cm程の窪み状を呈している。

遺物は、カマドから土師器盤が出土した。

第55号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(2.60)	1.30	0.53	(3.71)		灰白		C区
2	(2.87)	1.55	0.55	(5.59)	A	橙	20	D区
3	(2.38)	1.65	0.55	(5.45)	B a	にぶい黄橙	20	C区
4	(4.16)	1.62	0.48	(9.72)	B a	にぶい橙	70	D区
5	(4.33)	1.83	0.50	(14.32)	B	褐灰	60	D区
6	(5.57)	1.82	0.55	(12.52)	B a	橙	70	
7	(5.30)	1.81	0.50	(14.86)	B a	淡黄	60	C区
8	(5.68)	1.72	0.50	(14.93)	B	にぶい黄橙	80	A区
9	5.89	1.77	0.58	14.91	B a IV	淡黄	100	D区

第54・55号住居跡出土土錘観察表

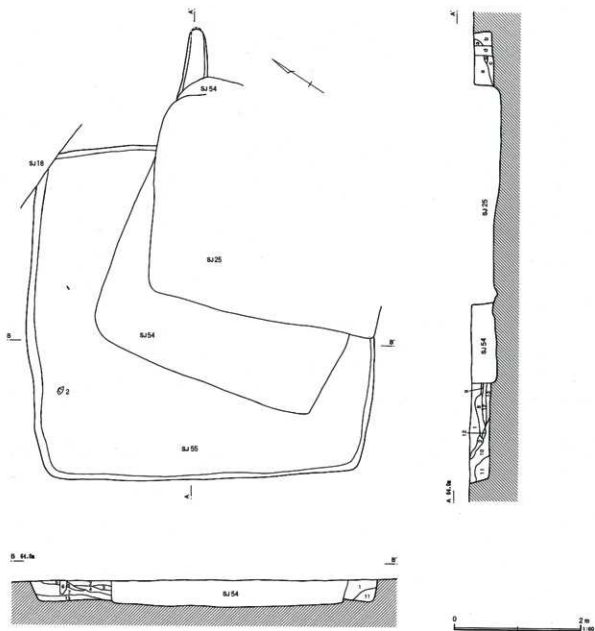
番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(2.25)	(1.60)	0.48	(5.45)	B a	にぶい橙	25	C区
2	(2.50)	1.71	0.60	(5.39)		黒褐	20	C区
3	(3.12)	2.72	0.75	(14.38)		橙		C区
4	(3.40)	1.71	0.55	(10.60)	A	橙		
5	(3.95)	1.98	0.58	(12.14)	B a	淡黄	40	
6	(4.34)	1.71	0.48	(11.99)	B a	褐灰	60	C区
7	4.30	1.67	0.62	10.95	B b VI	橙	100	A区
8	(5.35)	1.52	0.45	(11.26)	B b	橙	95	C区
9	(5.36)	1.96	0.55	(20.45)	A	橙		C区

第55号住居跡出土遺物観察表 (第84図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(12.0)			J	良	赤褐	10	D区	内外面赤彩
2	坏	(13.0)			BE	普通	にぶい橙	15	No1・D区	床+5cm



第84図 第55号住居跡・出土遺物



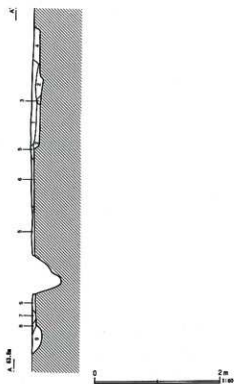
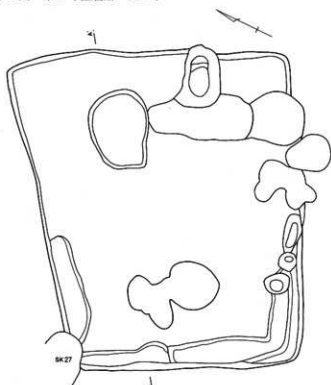
- |    |      |           |                    |
|----|------|-----------|--------------------|
| 1  | 赤褐色  | (10YR4/4) | 焼土・炭化物・黄褐色土少       |
| 2  | 茶褐色  | (10YR4/4) | 焼土・炭化物・黄褐色土少       |
| 3  | 暗茶褐色 | (10YR3/3) | 焼土・炭化物少・黄褐色土多      |
| 4  | 暗褐色  | (10YR2/3) | 焼土・炭化物やや多・黄褐色土少    |
| 5  | 茶褐色  | (10YR5/4) | 黄褐色土やや多            |
| 6  | 暗茶褐色 | (10YR3/4) | 焼土・炭化物少・黄褐色土多      |
| 7  | 暗茶褐色 | (10YR2/4) | 焼土・炭化物やや多・黄褐色土少    |
| 8  | 黒褐色  | (10YR2/1) | 焼土・炭化物多量・黄褐色土少     |
| 9  | 赤褐色  | (10YR5/4) | 焼土・炭化物極僅か・黄褐色土やや多  |
| 10 | 茶褐色  | (10YR4/4) | 焼土・炭化物・黄褐色土少       |
| 11 | 暗褐色  | (10YR2/4) | 焼土・炭化物・黄褐色土少       |
| 12 | 茶褐色  | (10YR5/4) | 焼土・炭化物少量・黄褐色土ブロック多 |
| 13 | 赤褐色  | (10YR4/4) | 焼土・炭化物僅か・黄褐色土ブロック多 |

カマド

- |   |     |           |                     |
|---|-----|-----------|---------------------|
| a | 暗褐色 | (10YR2/3) | 地山土・焼土(ブロック含)少・炭塵か  |
| b | 暗褐色 | (10YR3/4) | 地山土(ブロック含)含み・炭・焼土塵少 |
| c | 暗褐色 | (10YR3/4) | 地山土(ブロック含)多・炭・焼土塵か  |
| d | 黒褐色 | (10YR2/2) | 地山土・炭・焼土少           |

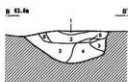
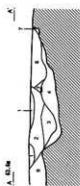
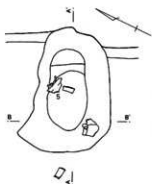


第85図 第56号住居跡・カマド



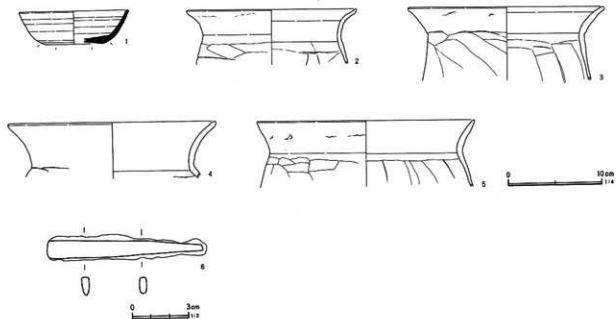
- 1 暗褐色 (10783/4) 焼土含
- 2 暗褐色シルト (10783/4) 浅黄褐色シルト含
- 3 浅黄褐色シルト(10783/4)
- 4 褐色 (10784/4)
- 5 明黄褐色シルト(10787/8)
- 6 明黄褐色土 (10787/8)
- 7 褐色 (7.5787/2)
- 8 黄褐色シルト (10787/8)
- 9 におい黄褐色シルト(10784/2)

カマド



- 1 褐色 (10784/8) 浅黄褐色シルト
- 2 暗褐色 (10783/4) 灰R・焼土多含
- 3 黒色シルト (10782/1)
- 4 におい黄褐色シルト(10785/4)
- 5 褐色 (10784/4)
- 6 におい黄褐色(10784/2) 焼土若干
- 7 明黄褐色シルト(10787/8)
- 8 暗褐色 (10783/4)
- 9 褐色 (10784/4) 焼土多

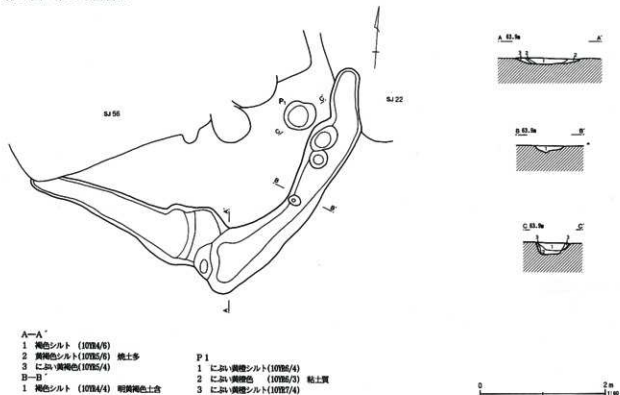
第86図 第56号住居跡出土遺物



第56号住居跡出土遺物観察表 (第86図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(11.6)	3.5	(6.0)	I	良	灰	15	D区	体部外面下縁・底部周辺左回転ヘラ削り
2	甕	(18.0)			DEGH	普通	橙	10	B区・D区	
3	甕	(20.8)			B J	不良	橙	10	A区	
4	甕	(22.0)			B D G	普通	橙	10	SK1	
5	甕	(23.0)			E G	普通	にぶい橙	10	No1	カマド

第87図 第57号住居跡



A-A'

1 黄褐色シルト (10704/8)

2 黄褐色シルト (10705/6) 焼土多

3 にぶい黄褐色 (10705/4)

B-B'

1 黄褐色シルト (10704/4) 明黄褐色土含

P 1

1 にぶい黄褐色シルト (10706/4)

2 にぶい黄褐色 (10706/3) 焼土質

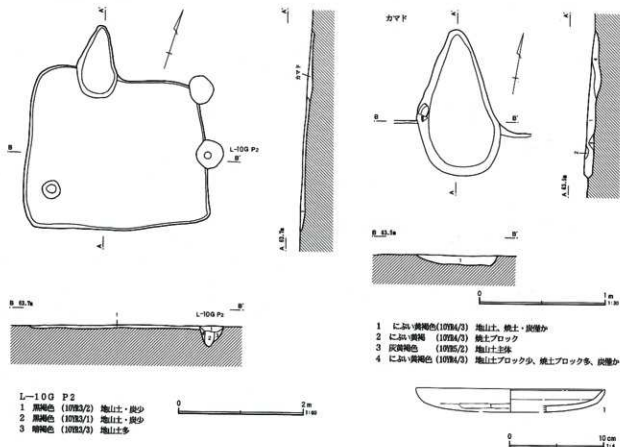
3 にぶい黄褐色シルト (10707/4)

0 2m

第56号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(2.54)	1.53	0.50	(3.90)		淡黄		
2	3.98	2.24	0.40	17.41	C a VI	にぶい黄橙	100	D区
3	(4.66)	1.40	0.50	(7.72)	B	にぶい橙	60	A区
4	6.47	2.21	0.65	22.32	B a IV	にぶい橙	100	A区

第88図 第58号住居跡



第58号住居跡出土遺物観察表 (第88図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	甕	(19.9)	2.9	(18.4)	DFG	普通	にぶい黄褐	25	No1	カマド

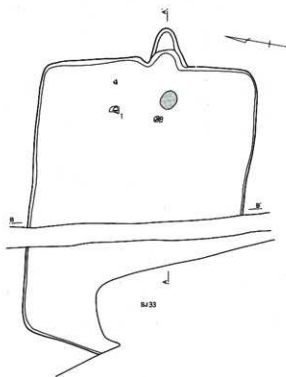
第59号住居跡 (第89図)

M-9グリッドに位置する。第60号住居跡の北に隣接して位置する。第33号住居跡に切られている。平面は、軸長4.84m×3.45mの長方形で、深さ4cm程を測る。主軸方位は、N-85°-Eを指す。

カマドは、東壁に設けられている。燃焼部は90cm×47cmで床面と同じ高さで、煙道部は燃焼部と段差を有し34cm確認できた。

遺物は、土師器甕、ミニチュア土器が出土した。

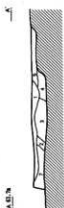
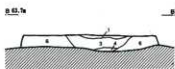
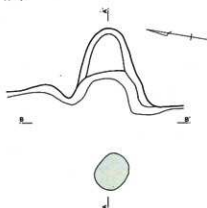
第89図 第59号住居跡



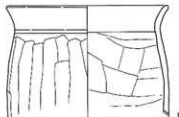
- 1 黒褐色 (10YR2/2) 地山土ブロック・焼土・灰少
- 2 におい・黄褐色(10YR5/3) 地山土主体
- 3 灰黄褐色 (10YR4/2) 地山土ブロック・焼土ブロック・灰少

0 2m  
1:40

カマド



- 1 黒褐色 (10YR3/2) 地山土多、焼土・灰多
- 2 暗赤褐色 (5YR3/4) 焼土主体、地山土・灰少
- 3 暗褐色 (10YR3/3) 地山土(ブロック状)のみ、焼土・灰少
- 4 におい・黄褐色(10YR4/3) 地山土主体
- 5 におい・黄褐色(10YR4/3) 地山土・焼土・灰少
- 6 におい・黄褐色(10YR4/3) 地山土多、焼土・灰多
- 7 黒褐色 (10YR3/2) 地山土ブロック・焼土・灰少



0 1m  
1:40

0 10cm  
1:4

第59号住居跡出土遺物観察表 (第89図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	甕	(17.2)			B D J L	普通	灰褐色	30	No2・カマド	床
2	ヒナヤリ土壺	(3.0)	2.4	3.6	B	不良	橙	60	A区	

第60号住居跡 (第90・91図)

M-9 グリッドに第60号住居跡の南に隣接して位置する。第33号住居跡に切られている。平面は、軸長5.65m×4.80mの方形で、深さ10cm程を測る。壁溝は南西隅のみ検出し、幅7~10cm、深さ3~5cmである。主軸方位は、N-74°Eを指す。

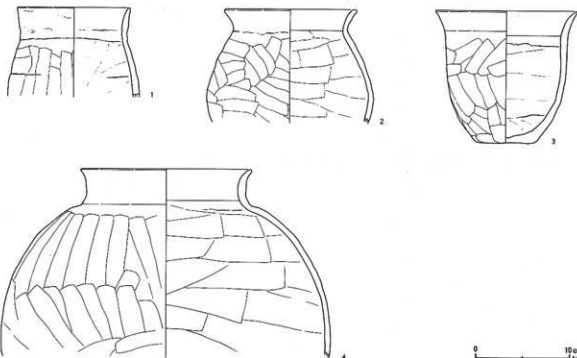
カマドは、東壁のやや北寄りに設けられている。然焼部は65cm×43cmの楕円形で床面から深さ10cmを測る。煙道部は然焼部との間に段差を有し、33cm程確認できた。

遺物は、土師器甕・壺・鉢、土鍾が出土した。

第60号住居跡出土土鍾観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(2.49)	(1.36)		(1.54)		橙		C区
2	(3.91)	1.78	0.56	(9.01)	B a	明赤褐色	70	C区
3	3.92	1.67	0.52	(8.76)	B a M	にぶい黄橙	90	B区
4	6.10	1.71	0.56	(13.97)	B a IV	褐灰	95	D区

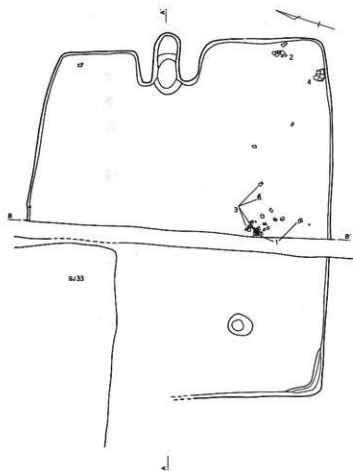
第90図 第60号住居跡出土遺物



第60号住居跡出土遺物観察表 (第90図)

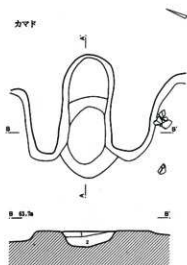
番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	甕	(12.0)			A B J L	普通	にぶい黄橙	10	No11・No19	床 外面↑方向、一部→方向へ削り
2	甕	(14.0)			J L	普通	にぶい赤褐色	30	No4・SJ63	床
3	甕	(15.0)	14.0	6.0	B D E G J	普通	橙	40	No7・8・9・11	床 外面中上位↑方向
4	壺	(18.2)			B E F H J L	普通	橙	20	No5・B区	床 外面↑方向へ削り

第91図 第60号住居跡・カマド



- 1 暗褐色 (1093/3) 地山土・焼土・炭少、灰白色シルト少
- 2 灰白色 (1092/1) 灰白色シルトを主体
- 3 灰黄褐色 (1095/2) 灰白色シルト多
- 4 灰白色 (1092/1) 灰白色シルトと暗褐色土の混合土

0 2 m



- 1 暗褐色 (1093/3) 地山土・炭少、焼土ブロックやや多
- 2 黒褐色 (1093/2) 地山土・炭・焼土ブロック少
- 3 明黄褐色 (5785/6) 焼土を主体、地山土少
- 4 暗褐色 (1093/3) 地山土多
- 5 黒褐色 (1093/2) 地山土少、炭僅か

0 2 m

### 第61号住居跡 (第92回)

J-9グリッドに位置し、他の住居跡より一段低い荒川に近接したところにある。平面は、軸長 2.91m×3.07mの方形で、深さ5cm程を測る。主軸方位は、N-110°-Wを指す。

カマドは、西壁のやや南寄りに設けられている。燃焼部103cm×46cmで、床面から深さ10cm程の浅い窪み状を呈する。支脚の石が遺存していた。

遺物は、土師器坏・甕が出土した。

### 第62号住居跡 (第93回)

M-9グリッドに位置する。第33号住居跡に西壁一部が切られ、第59号・第60号住居跡の下にある。平面は、軸長4.67m×4.20~5.35mの台形で、深さ11cm程を測る。主軸方位は、N-119°-Wを指す。

カマドは、確認できなかった。

遺物は、須恵器瓶、土師器坏・鉢・甕が出土した。

### 第64号住居跡 (第94・95回)

L-10・11グリッドを中心に位置する。第82号住居跡を切り、第75号住居跡の上に乗る。平面は、軸長3.43m×3.28mの方形で、深さ15cm程を測る。壁溝は南壁・西壁・北壁で確認でき、幅10~15cm、深さ2~5cmである。主軸方位は、N-70°-Eを指す。

カマドは、東壁の南よりに設けられている。燃焼部151cm×56cmを測り、僅かな窪み状を呈する。

遺物は、須恵器坏・高台付椀、土師器甕、土錘、鉄製品が出土した。4の鉄製品は刀子で刃部先端が欠損しているが、重さは8.80gで、床面から出土した。

第61号住居跡出土遺物観察表 (第92回)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	10.4	4.9		ABFJL	普通	褐	95	No4	口縁部内外面横ナデ、内面ヘラナデ
2	坏	12.9	4.8		ABFJL	普通	にぶい褐	95	No1	口縁部内外面横ナデ、体部内面中位まで横ナデ
3	坏	(13.0)			BJL	普通	褐	25	カマド	カマド 口縁外面横ナデ
4	甕	(19.0)			BJ	普通	にぶい橙	10	No3・カマド	カマド 体部外面↑方向ヘラ削り

第62号住居跡出土遺物観察表 (第93回)

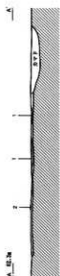
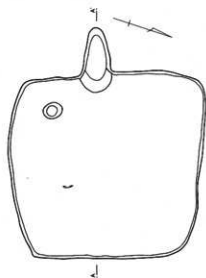
番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(12.0)	3.7		B	不良	橙	40	No2	SK2
2	瓶	(8.2)			AB	良	灰白	20		
3	鉢	(13.0)			JL	不良	浅黄	10		
4	甕	(22.0)			BJL	普通	灰黄褐	10	SK2	SK2 外面↑方向ヘラ削り
5	甕	(18.0)			BHJL	普通	にぶい橙	10	No1	SK2 外面↑方向ヘラ削り、内面ナデ

第64号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(3.43)	1.03	0.42	(3.45)	Ba	浅黄橙	60	D区
2	(3.47)	1.00	0.38	(3.00)	Ba	橙	80	C区
3	(3.51)	1.17	0.43	(3.41)	B	橙	40	D区
4	(2.57)	1.75	0.49	(5.92)	Ea	橙		D区
5	(2.84)	1.54	0.65	(4.59)	Ba	にぶい黄橙		C区
6	(3.44)	1.73	(0.49)	(3.75)	Ba	灰黄褐		C区
7	(3.55)	1.48	0.48	(5.76)	B	淡黄		カマド



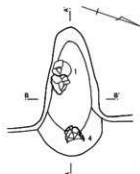
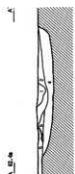
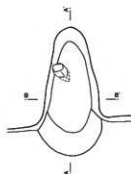
第92図 第61号住居跡



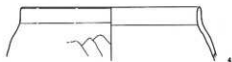
- 1 褐色 (10704/1) 地山砂少、炭化物多、焼土層か  
2 にじみ黄褐色(10705/2) 地山砂多、炭層か



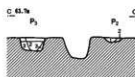
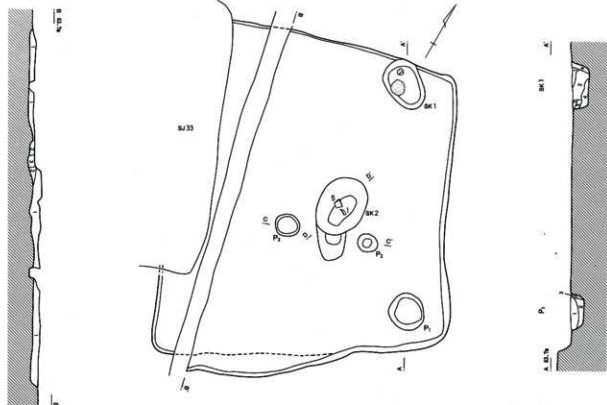
カマド



- 1 にじみ黄褐色(5704/4) 焼土ブロック多、地山砂少  
2 にじみ黄褐色(10705/3) 地山砂多、炭・焼土層か  
3 灰黄褐色 (10704/2) 地山砂少、炭層か  
4 にじみ黄褐色(10705/2) 地山砂主体、炭・焼土層か  
5 にじみ黄褐色(10705/3) 地山砂多、炭層か



第93図 第62号住居跡・出土遺物



- P 2  
1 褐色シルト (10YR4/4) 炭化動物骨子含  
2 黄褐色シルト(10YR5/6)

- P 3  
1 黄褐色シルト(10YR5/6)  
2 褐色シルト (10YR4/6)  
3 褐色シルト (10YR4/4)

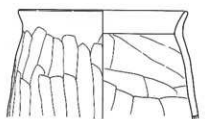
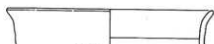


- SK 2  
1 黄褐色シルト(10YR5/6)  
2 褐色シルト (10YR4/4) 明黄褐色シルト若干含  
3 暗褐色シルト(10YR3/4)  
4 褐色シルト (10YR4/6) 明黄褐色シルト粒子極多く含  
5 褐色シルト (10YR4/4) 明黄褐色シルト粒子多く含  
6 褐色シルト (10YR4/4) 炭灰若干含  
7 褐色シルト (10YR4/4) 明黄褐色シルト極多く、炭灰若干含  
8 黄褐色シルト(10YR5/6) 炭灰若干

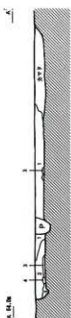
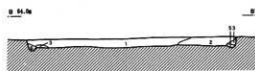
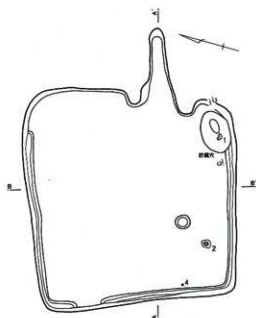
- 1 灰黄褐色 (10YR4/2) 地山土ブロック多、粘土・炭灰少  
2 黒褐色 (10YR3/2) 地山土ブロック多、炭少  
3 黒褐色 (10YR3/1) 地山土少

- P 1  
1 褐色シルト (10YR4/6) 炭化動物、明黄褐色土若干  
2 褐色シルト (10YR4/6) 明黄褐色土多含  
3 明黄褐色シルト(10YR5/6)

- SK 1  
1 黄褐色シルト(10YR5/6)  
2 褐色シルト (10YR4/4) 粘土・炭灰極多  
3 褐色 (10YR4/6)  
4 褐色 (10YR4/4) 砂質



第94図 第64号住居跡・カマド

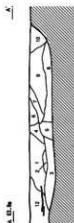
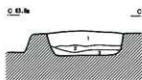
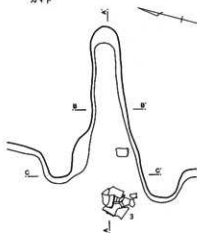


- 貯蔵穴  
 1 黒褐色 (107B3/2) 地山土・焼土・炭少  
 2 黒褐色 (107B3/2) 地山ブロック多、焼土・炭少

- 1 灰黄褐色 (107B4/2) 地山土多、焼土・炭少  
 2 暗褐色 (107B3/2) 地山土、焼土・炭少  
 3 濃い黄褐色(107B5/4) 地山土主体、暗褐色土混入、炭少  
 4 暗褐色 (107B3/2) 地山土少、炭僅か  
 5 黒褐色 (107B3/2) 地山土僅か  
 6 暗褐色 (107B3/2) 地山土多、炭僅か



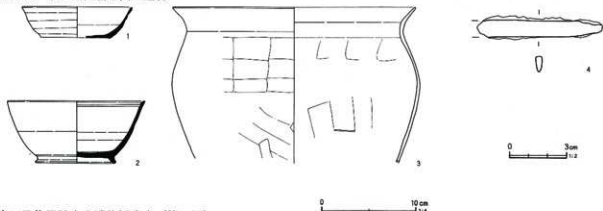
カマド



- 1 灰黄褐色 (107B4/2) 焼土多  
 2 暗赤褐色 (107B5/6) 焼土・焼土ブロック主体、灰黄褐色土・地山・炭少  
 3 黒褐色 (107B2/2) 灰・炭多、地山僅か、焼土少  
 4 暗褐色 (107B3/2) 地山土、焼土・炭少  
 5 黒褐色 (107B2/2) 灰・焼土多、地山土僅か  
 6 暗赤褐色 (107B5/6) 焼土・焼土ブロック多、暗褐色土少  
 7 黒褐色 (107B2/2) 炭多、地山土僅か  
 8 黒褐色 (107B2/2) 炭多、地山土少、焼土僅か  
 9 褐色 (107B4/4) 灰・焼土少、地山土  
 10 褐色 (107B4/4) 焼土僅か、地山土・地山ブロック多  
 11 濃い黄褐色(107B5/4) 地山土・地山ブロック  
 12 灰黄褐色 (107B4/2) 地山土多、焼土・炭少



第95図 第64号住居跡出土遺物



第64号住居跡出土遺物観察表 (第95図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	11.8	3.3	7.2	DH J	普通	灰	70	No1	貯蔵穴 底部右回転糸切り
2	高台付碗	(14.6)	6.6	8.2	L	普通	灰	50	No2	床 底部右回転糸切り後、高台貼付 一部酸化焙焼成
3	甕	(25.8)			G J	普通	灰黄褐	30	No4	外面上位←方向、下位↓方向へ削り

第65号住居跡 (第96・97図)

M-10・11グリッドに位置する。第83号住居跡を切り、第85号住居跡の上に乗る。平面は、軸長3.12m×4.63mの長方形で、深さ32cm程を測る。壁溝は、東壁・北壁と西壁の一部で確認でき、幅7~14cm、深

さ3~7cmである。主軸方位は、N-13°-Wを指す。

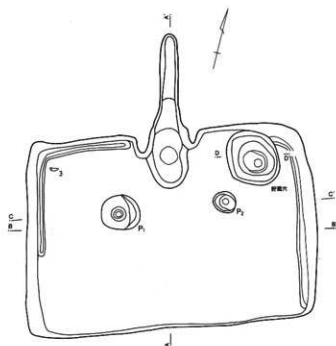
カマドは、北壁中央に設けられている。燃烧部145cm×70cmで、床面から深さ20cmを測る。煙道部は103cm確認できた。

柱穴は2本の主柱穴が検出された。径63cm×54cm、

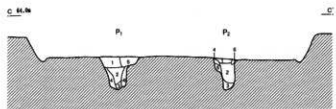
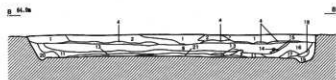
第65号住居跡出土土鍾観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(1.61)	1.36	0.55	(2.34)	B a	明赤褐		C区
2	(1.77)	1.33	0.60	(2.25)	B a	にぶい黄橙		D区
3	(2.25)	1.52	0.53	(2.59)	B	黒褐		C区
4	(2.33)	1.50	0.50	(3.89)	B a	褐灰	20	D区
5	(3.21)	1.35	(0.32)	(3.97)	A	橙		C区
6	(2.98)	1.77	0.40	(7.98)	B a	にぶい黄橙	20	A区
7	(3.34)	1.50	0.42	(6.92)	B a	にぶい黄橙	40	D区
8	(3.41)	1.71	0.56	(7.70)	B a	橙	30	A区
9	(3.63)	1.56	0.42	(7.25)	B a	橙	40	D区
10	(3.41)	1.67	0.48	(5.49)	B	褐灰		C区
11	(3.83)	1.71	0.38	(9.98)	B a	橙	40	A区
12	(3.98)	1.82	0.58	(11.89)	B a	橙	30	C区
13	(4.50)	1.21	0.55	(4.37)	B a	褐灰	70	A区
14	(4.71)	1.81	0.50	(11.41)	B	浅黄橙	80	D区
15	4.50	1.64	0.50	13.59	A b V	浅黄橙	100	C区
16	5.48	1.57	0.48	13.13	B a V	にぶい黄橙	100	D区
17	5.70	1.65	0.45	14.08	B a IV	にぶい黄橙	100	B区
18	(5.25)	1.66	0.50	(12.48)	B a	にぶい橙	70	A区
19	6.05	1.98	0.58	21.92	B a IV	浅黄橙	100	C区
20	5.46	2.24	0.50	21.09	B a V	浅黄橙	100	A区
21	6.32	1.96	0.55	19.81	B a IV	にぶい黄橙	100	貯蔵穴
22	6.53	1.54	0.46	13.08	B a III	橙	100	D区
23	6.91	1.54	0.48	13.46	B a III	橙	100	C区
24	7.23	1.80	0.39	19.23	B a III	橙	100	B区

第96図 第65号住居跡



- 貯蔵穴  
 1 褐色 (107B/4) シルト質、炭灰若干  
 2 にぶい黄褐色(107B/4) シルト質  
 3 炭灰層  
 4 焼土・黄灰混合土  
 5 にぶい黄褐色(107B/4) シルト質、焼土・炭化物微  
 6 焼土  
 7 褐色 (107B/4) シルト質、焼土・炭化物多  
 8 にぶい黄褐色(107B/4) 砂質



- 1 暗褐色 (107B/3) 地山土均等、焼土・炭化物少  
 2 暗褐色 (107B/1) 地山土・焼土・焼土ブロック少、炭化物多  
 3 黄褐色 (107B/2) 地山土、焼土・炭化物少  
 4 暗褐色 (107B/3) 地山土多、焼土・炭化物少  
 5 黄褐色 (107B/1) 地山土・炭少  
 6 黄褐色 (107B/1) 地山土ブロック多、焼土・炭化物少  
 7 暗褐色 (107B/3) 焼土・炭化物少、黄褐色土・灰褐色土多  
 8 暗茶褐色 (107B/4) 焼土・炭化物少、黄褐色土・灰褐色土多  
 9 茶褐色 (107B/4) 焼土・炭化物微、灰褐色土多  
 10 暗茶褐色 (107B/4) 焼土・炭化物・黄褐色土・灰褐色土少  
 11 暗褐色 (107B/3) 焼土・炭化物・黄褐色土・灰褐色土多  
 12 黄褐色 (107B/2) 焼土・炭化物・黄褐色土微  
 13 黄褐色 (107B/6) 焼土・炭化物微、暗褐色土少  
 14 暗黄褐色土(107B/6) ロームブロック、焼土少  
 15 暗赤褐色土(107B/4) 黄褐色土少  
 16 褐色 (107B/6) 焼土・炭化物・暗褐色土少、黄褐色土多  
 17 茶褐色 (107B/4) 焼土・炭化物・黄褐色土少  
 18 暗茶褐色 (107B/4) 焼土・炭化物微、黄褐色土少  
 19 黄褐色 (107B/6) 灰褐色土・茶褐色土多  
 20 暗黄褐色 (107B/6) 焼土・炭化物少、暗褐色土やや多  
 21 黄褐色 (107B/6) 焼土粒・炭化物微、暗褐色土あり、粘性なし

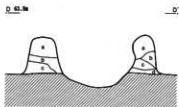
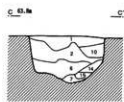
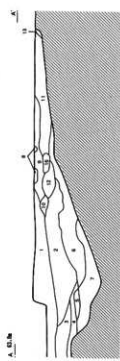
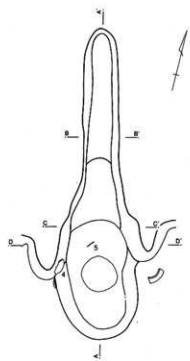
- P 1  
 1 暗褐色 (107B/3/4) 黄褐色土・炭化物微少  
 2 褐色 (107B/4) シルト質  
 3 褐色 (107B/4) 灰褐色粘土  
 4 にぶい黄褐色(107B/4) シルト質  
 5 褐色 (107B/4) 黄褐色土
- P 2  
 1 暗褐色 (107B/3/4) シルト質、焼土・黄褐色シルト少  
 2 暗褐色 (107B/3) シルト質  
 3 にぶい黄褐色(107B/4) シルト質  
 4 にぶい黄褐色(107B/4) シルト質  
 5 暗褐色 (107B/3) 黄褐色土  
 6 明黄褐色 (107B/6)

0 2 m

第65号住居跡出土遺物観察表 (第97図)

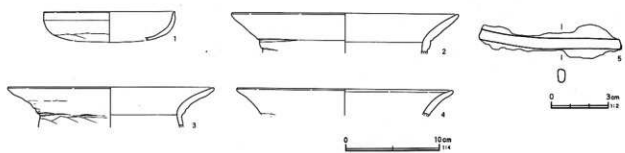
番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(14.0)			ABDJ	不良	にぶい褐	15	D区	
2	壺	(24.0)			DHJ	普通	にぶい赤褐	10	カマド	カマド
3	壺	(22.0)			BDG	普通	にぶい橙	10	No1	床
4	壺	(23.0)			BGJ	不良	にぶい褐	25	No3	カマド

第97図 第65号住居跡カマド・出土遺物



カマド補  
 a におい黄褐色(10B5/4)  
 b 暗褐色(10B3/2)  
 c におい黄褐色(10B5/4)  
 d におい黄褐色(10B5/4)

- 1 暗茶褐色 (10B4/4) 焼土・炭化物少、黄褐色土やや多
- 2 茶褐色 (10B4/6) 焼土・炭化物少、黄褐色土やや多
- 3 黒褐色 (10B3/2) 焼土・炭化物やや多、黄褐色土少
- 4 暗赤褐色焼土(5YR3/6) 暗褐色土やや多
- 5 暗黄褐色 (10B6/8) 焼土・炭化物極少、暗褐色土少
- 6 暗褐色焼土(5YR5/6) 炭化物・暗褐色多、黄褐色土少
- 7 暗褐色 (10B3/7) 焼土・炭化物多、黄褐色土少
- 8 赤褐色焼土ブロック(5YR4/8) 黄褐色土少
- 9 茶褐色 (10B5/4) 焼土・炭化物極少、黄褐色土やや多
- 10 黄褐色 (10B6/6) 赤褐色土やや多、黄褐色土少
- 11 暗褐色 (10B5/4) 焼土・炭化物多、黄褐色土少
- 12 暗褐色 (10B3/4) 焼土・炭化物やや多、黄褐色土少
- 13 茶褐色 (10B4/6) 黄褐色土少
- 14 茶褐色 (10B5/6) 焼土・炭化物少、黄褐色土やや多
- 15 暗褐色焼土(5YR5/4) 茶褐色土少
- 16 暗褐色焼土ブロック(5YR5/6) 褐色土少



径37cm×33cmの円形で、深さ50cm程を測る。  
 貯蔵穴は北東隅にあり、82cm×84cmの方形気味で、深さ32cmである。  
 遺物は、土師器坏・甕、土錘、鉄製品が出土した。

5の鉄製品は、断面楕円形の棒状のもので両端が欠損しているが、重さは15.82gで、カマドから出土した。

### 第66号住居跡 (第98図)

〇-6・7グリッドに位置する。第6号性格不明遺構に切れ、第15号住居跡の下にある。平面は、軸長3.62m×5.50mの長方形で、深さ13cm程を測る。壁溝は、南東壁と南西壁の一部で確認され、幅8~24cm、深さ4~10cmである。主軸方位は、N-39°-Wを指す。

カマドは、北西壁の北東寄りに設けられている。燃焼部は109cm×53cm、床面から深さ15cmを測る。

柱穴は主柱穴3本が確認された。径30~40cmの円形で、深さ15~20cmと浅い。しかし、ピット2は径25cm、深さ5cmである。他に土坑1基を検出した。

遺物は、土師器坏、土錘が出土した。

### 第66号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(2.76)	1.38	0.60	(4.34)	B a	浅黄褐色	20	A区
2	3.98	1.92	0.43	14.40	B a VI	淡黄	100	A区
3	(7.26)	1.84	0.48	(18.54)	B a III	淡黄	95	A区

### 第66号住居跡出土土物観察表 (第98図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(12.4)			E	不良	橙	10	B区	
2	坏	(13.0)			D	普通	灰黄褐色	10	A区	

### 第67号住居跡 (第99図)

〇-7グリッドを中心に位置する。第15号・第68号住居跡・第1号性格不明遺構に切られている。第4号性格不明遺構との重複関係は確認できなかった。壁溝からの検出で、全体の規模・形状については、明らかにし得ない。壁溝は北壁・東壁の一部についての確認であるが、幅11~15cm、深さ4~6cmを測る。

遺物は、土師器坏・甕が出土した。

### 第68号住居跡 (第99図)

〇-6グリッドに位置する。第15号住居跡に切れ、第67号住居跡を切っている。第4号性格不明遺構との重複関係は確認できなかった。重複が激しく全体の規模・形状や施設は明らかとし得ない。

遺物は、土師器坏・甕、須恵器碗、土錘が出土した。

### 第67号住居跡出土土物観察表 (第99図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	12.0	4.2		A B D E	普通	にぶい橙	95	No1	床 口縁部内外面に油煙
2	坏	12.0	4.2		B D E	普通	にぶい褐色	90	No2・A区	床
3	坏	12.0	4.0		D E J	普通	橙	95	No4	床
4	坏	12.1	3.5		E J	不良	橙	85	No3	床
5	坏	(14.8)			B G	普通	にぶい橙	15	A区	
6	甕	(15.6)			D J	普通	にぶい橙	15	A区	
7	甕			10.4	D J L	普通	にぶい褐色	80	No8・A区	床

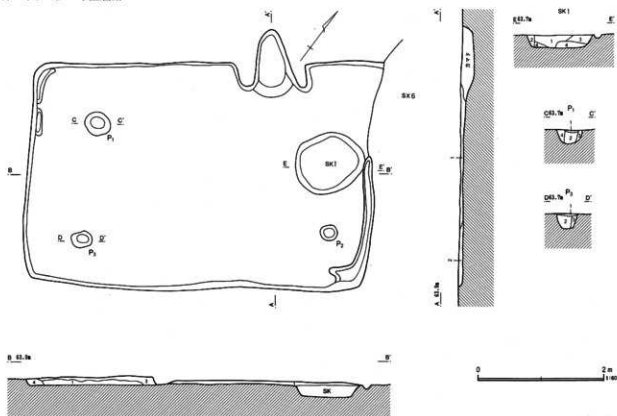
### 第68号住居跡出土土物観察表 (第99図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(11.0)	3.4		D	普通	灰黄褐色	25	A区	
2	坏	(12.4)			B D E	良	にぶい褐色	20	A区	
3	碗	(14.0)			J	良	灰	10	B区	
4	甕	(20.0)			E H J L	普通	明赤褐色	10	No2	床 外面↓←方向へ丸割り

### 第68号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	3.69	1.93	0.40	11.6	C a VI	淡黄	100	B区

第98図 第66号住居跡

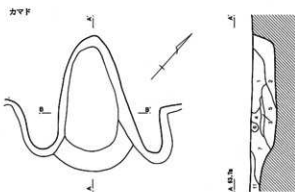


- 1 暗褐色 (107B3/4) 明黄褐色シルト少
- 2 黄褐色 (107B5/6) 炭化物粒少
- 3 暗褐色 (107B3/4) 白色炭粒多
- 4 褐色 (107B4/4)

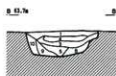
- P 1
- 1 明黄褐色 (107B6/6)
  - 2 褐色 (107B4/6)
  - 3 黄褐色 (107B6/6)
  - 4 黄褐色 (107B6/6) シルト質

- P 2
- 1 明黄褐色 (107B6/6)
- P 3
- 1 におい黄褐色(107B6/4) 炭化物少
  - 2 黄褐色 (107B5/6)
  - 3 明黄褐色 (107B5/6)

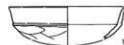
- SK
- 1 褐色 (107B4/4) 炭化赤粒
  - 2 黄褐色 (107B5/6)
  - 3 黄褐色 (107B5/6) シルト質
  - 4 明黄褐色 (107B6/6) シルト質



- 1 褐色 (107B4/6) 明黄褐色シルト
- 2 暗褐色 (107B3/4)
- 3 焼土層
- 4 暗褐色 (107B3/4) 焼土少
- 5 褐色 (107B4/4) 焼土・炭灰少
- 6 明黄褐色 (107B7/6) シルト質
- 7 暗褐色 (107B4/6) 白色炭粒多
- 8 褐色 (107B4/4) シルト質、焼土少
- 9 におい黄褐色(107B5/4) シルト質、炭灰多
- 10 におい黄褐色(107B5/4) シルト質
- 11 暗褐色 (107B3/4) 明黄褐色シルト少



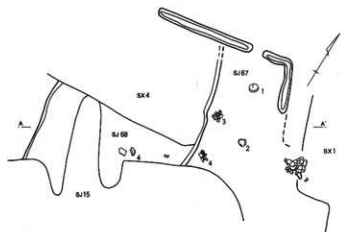
0 1m 1:10



0 10cm 1:4



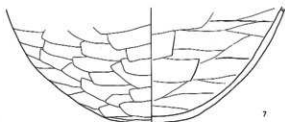
第99図 第67・68号住居跡・出土遺物



- 1 褐色 (107B/4) 焼土粒・炭化物粒
- 2 褐色 (107B/4) 明黄褐色シルト多
- 3 明黄褐色 (107B/3) 焼土粒・炭化物粒
- 4 浅黄褐色 (2.577/4) シルト質
- 5 褐色 (107B/4) 白色炭粒・焼土粒少、締まり極悪い
- 6 明黄褐色 (107B/6) 白色炭粒少、シルト質
- 7 焼土
- 8 明黄褐色 (107B/6) 炭化物粒、シルト質



SJ67



SJ68



第69号住居跡 (第100~103図)

M・N-11グリッドを中心に位置する。第85号住居跡を切り、第88号住居跡の上に乗っている。平面は、軸長6.58m×7.03mのやや歪んだ方形で、深さ45cm程を測る。主軸方位は、N-18°-Wを指す。

カマドは、北壁の東に偏して設けられている。燃焼部は117cm×76cmの楕円形で、床面から僅かな窪み状を呈する。煙道部は天井が残っておりトンネル状に遺存している。燃焼部との間に段差を有し110cm確認できた。

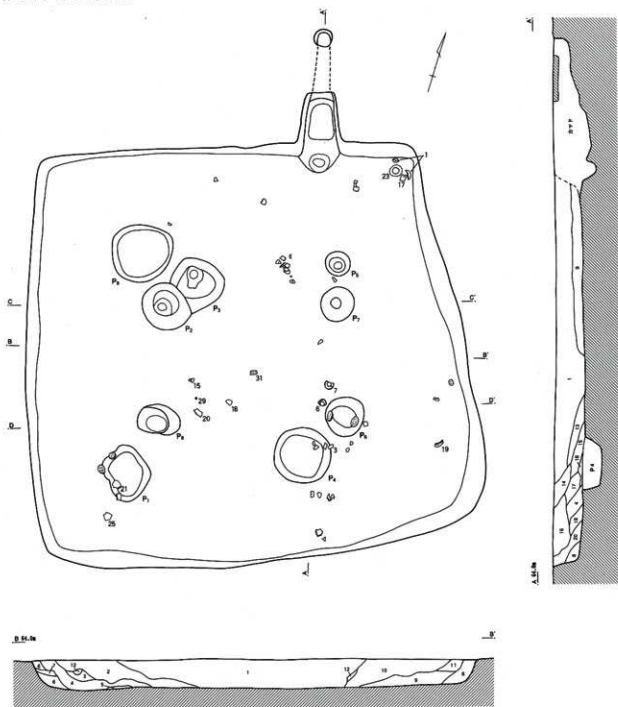
柱穴は主柱穴が4本検出された。径70~80cm、径50~60cmの円形で、深さ65cm程を測る。

遺物は、土師器環・台付甕・甕、須恵器環・蓋、土玉、砥石と多数の土錘が出土した。29の土玉は、径7.4~8.0mm、厚さ5.2mm、孔径2.3mm、重さ0.32gで床面近くから出土した。30は未製品で孔が穿たれていない。径9.8~12.0mm、高さ9.6mm、重さ1.03gで覆土からの出土である。31の砥石は2面のみ使用されたもので縦7.32~7.73cm、横5.72cm、厚さ1.38~1.40cmである。土錘は観察表の他に破片が87点出土した。

第69号住居跡出土土錘観察表 (1)

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(2.18)	1.61	0.50	(5.26)	B b	黄灰	20	C区
2	(2.64)	1.80	0.45	(7.08)	B b	黄灰	20	D区
3	(3.74)	1.46	0.50	(6.70)	B b	褐灰	40	B区
4	(4.06)	1.61	0.55	(9.80)	B b	褐灰	60	A区
5	(3.93)	1.73	0.56	(6.52)	B b	褐灰	20	C区
6	(4.87)	1.85	0.53	(8.06)	B b	褐灰	50	A区
7	(5.47)	1.37	0.45	(9.58)	B	におい黄橙	60	A区
8	(5.18)	1.87	0.50	(16.12)	B b	黄灰	60	A区
9	6.43	1.90	0.58	20.51	B b IV	灰黄	100	B区
10	(2.40)	1.46	0.51	(5.51)		におい褐		D区
11	(2.92)	1.28	0.40	(4.49)	B a	褐灰	30	A区
12	(3.06)	1.29	0.40	(4.61)	B a	灰黄褐	40	A区
13	(3.11)	1.47	0.48	(5.40)	B	におい黄橙	20	B区
14	(3.97)	1.49	0.50	(7.24)	B	におい橙	80	B区
15	3.87	2.02	0.45	15.31	C a VI	褐灰	100	A区
16	(3.68)	1.93	0.40	(13.04)	B a	明赤褐	70	A区
17	(3.93)	1.84	0.50	(11.51)	B a	橙	60	P 6
18	(4.28)	1.69	0.45	(11.39)	B	黄灰	40	A区
19	4.35	1.71	0.62	11.60	B a VI	褐灰	100	A区
20	(4.25)	0.98	0.36	(4.09)	B a	橙	80	A区
21	(4.50)	1.09	0.40	(4.66)	B a	浅黄橙	90	A区
22	(4.37)	1.90	0.49	(7.18)	B	におい橙	30	B区
23	(4.43)	1.38	0.56	(6.73)	B a	褐灰	90	A区
24	4.59	1.61	0.46	10.98	B a V	黄灰	100	C区
25	(4.26)	1.77	0.62	(11.72)	B a	浅黄橙	60	A区
26	(4.48)	1.75	0.50	(11.85)	B a	におい橙	70	A区
27	4.54	1.55	0.60	10.26	B a V	におい黄橙	100	C区
28	(4.71)	1.75	0.50	(11.23)	B	灰褐	80	A区
29	4.66	1.46	0.60	8.56	B a V	におい橙	100	A区
30	(4.69)	1.69	0.50	(10.18)	B a	灰褐	70	D区
31	(4.60)	1.94	0.85	(15.36)	B	浅黄橙	60	B区
32	(4.56)	1.84	0.55	(14.65)	B a	橙	70	C区
33	(4.86)	1.78	0.60	(14.05)	B a	浅黄橙	60	A区
34	(4.84)	1.51	0.52	(8.96)	B b	褐灰	70	A区
35	(4.70)	1.62	0.50	(12.24)	B b	灰黄	60	C区
36	(4.91)	1.71	0.65	(12.30)	B	浅黄	80	A区
37	(4.73)	1.73	0.50	(12.76)	B	におい黄橙	70	A区
38	(4.85)	1.58	0.45	(11.30)	B a	浅黄橙	80	A区
39	(4.91)	1.50	0.40	(9.50)	B a	におい橙	70	D区
40	(4.97)	1.45	0.50	(10.92)	B a	浅黄橙	90	D区
41	(5.05)	1.40	0.50	(7.63)	B b	におい黄橙	90	A区
42	(5.13)	1.48	0.50	(9.78)	B a	におい黄橙	80	カマド
43	(5.15)	1.46	0.50	(9.89)	B a	におい黄橙	80	A区
44	(5.12)	2.01	0.48	(20.97)	B a	におい黄橙	90	D区
45	5.04	1.93	0.58	15.89	B a V	褐灰	100	D区
46	(5.33)	2.10	0.51	(16.77)	B a	褐灰	70	D区
47	(5.03)	1.77	0.40	(12.35)	B a	浅黄	70	B区

第100図 第69号住居跡



- 1 黒褐色 (10782/1) 焼土・炭化物・黄褐色土少
- 2 黒褐色 (10782/2) 焼土・炭化物・黄褐色土少
- 3 暗褐色 (10782/3) 焼土・炭化物
- 4 暗褐色 (10782/3) 焼土・炭化物やや多、黄褐色土少
- 5 黄褐色 (10782/4) 暗褐色土やや多
- 6 暗褐色 (10782/4) 焼土・炭化物・黄褐色土少
- 7 暗褐色 (10782/4) 焼土・炭化物・黄褐色土少
- 8 暗黄褐色 (10782/5) 暗褐色土やや多
- 9 暗褐色 (10782/2) 焼土・炭化物やや多、黄褐色土少
- 10 黒褐色 (10782/2) 焼土・炭化物・黄褐色土少

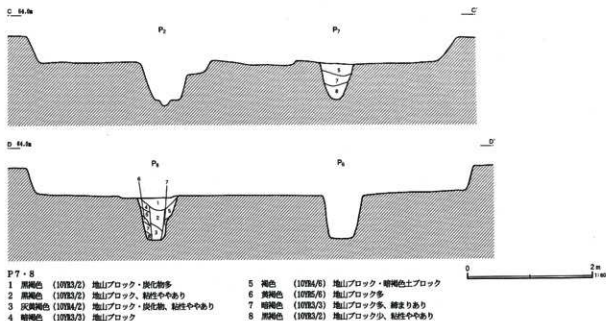
- 11 暗褐色 (10782/2) 焼土・炭化物少、黄褐色土多
- 12 暗黄褐色 (10782/6) 黄褐色土ブロック、暗褐色土多
- 13 黒褐色 (10782/2) 焼土・炭化物・黄褐色土少
- 14 暗褐色 (10782/3) 焼土・炭化物
- 15 黒褐色 (10782/2) 焼土・炭化物・黄褐色土・灰褐色土少
- 16 暗褐色 (10782/3) 焼土・炭化物少、黄褐色土やや多
- 17 黒褐色 (10782/2) 焼土・炭化物多、黄褐色土やや多
- 18 暗褐色 (10782/1) 焼土・炭化物やや多、黄褐色土・灰褐色土少
- 19 黒褐色 (10782/2) 焼土・炭化物やや多、黄褐色土少
- 20 黒褐色 (10782/1) 焼土・炭化物・黄褐色土少

0 2m

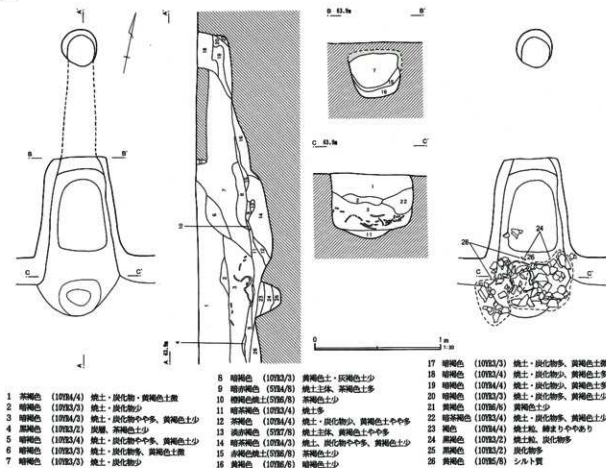
第69号住居跡出土土錘観察表(2)

番号	長さ	径	孔径	重量(g)	分類	色調	残存(%)	備考
48	(5.14)	2.14	0.70	(20.09)	B a	にぶい黄橙	90	D区
49	(5.07)	2.26	0.65	(21.87)	B a	浅黄橙	50	D区
50	5.29	1.72	0.40	13.74	B a V	黄灰	100	A区
51	5.27	1.54	0.40	12.16	B a V	灰黄褐	100	A区
52	(5.03)	1.61	0.56	(9.28)	B a	褐灰	60	A区
53	5.13	1.50	0.55	(10.30)	B a V	浅黄橙	95	A区
54	(5.17)	1.77	0.58	(13.34)	B a	にぶい黄橙	60	C区
55	(5.32)	1.66	0.50	(13.56)	B a	にぶい黄橙	80	D区
56	(5.27)	1.43	0.36	(11.36)	B a	にぶい黄橙	90	D区
57	(5.34)	1.49	0.39	(10.46)	B a	にぶい橙	70	A区
58	5.33	1.63	0.58	13.32	B a V	浅黄橙	100	D区
59	(5.51)	1.37	0.35	(10.55)	B a	にぶい橙	70	D区
60	(5.91)	1.48	0.49	(11.21)	B a	にぶい黄橙	90	A区
61	(5.53)	1.74	0.48	(13.05)	B a	橙	90	A区
62	(5.51)	1.83	0.53	(15.88)	B a	橙	90	D区
63	(5.48)	1.97	0.46	(17.84)	B a	褐灰	90	C区
64	5.36	1.70	0.50	14.30	B a V	褐灰	100	A区
65	(5.51)	1.85	0.52	(14.46)	B a	浅黄橙	90	B区
66	(5.42)	1.89	0.54	(16.01)	B a	淡黄	80	D区
67	(5.78)	2.00	0.52	(18.32)	B a	にぶい黄橙	90	A区
68	(5.55)	1.98	0.55	(17.87)	B a	にぶい黄橙	95	C区
69	(5.65)	1.86	0.58	(14.34)	B a	にぶい黄橙	95	C区
70	(5.59)	1.80	0.46	(15.38)	B a	浅黄橙	70	D区
71	5.48	1.85	0.68	16.49	B a V	浅黄橙	100	B区
72	(5.85)	1.39	0.50	(10.47)	B a	褐灰	95	C区
73	(5.88)	1.70	0.51	(15.31)	B a	橙	70	D区
74	(5.90)	1.73	0.54	(15.45)	B a	橙	90	B区
75	(5.91)	1.72	0.48	(14.42)	B a	にぶい橙	60	C区
76	(5.86)	2.29	0.50	(24.86)	B b	にぶい橙	80	C区
77	(6.09)	1.81	0.48	(13.45)	B a	淡黄	95	C区
78	6.31	1.78	0.43	19.77	B a IV	浅黄橙	100	B区
79	(6.02)	2.16	0.62	(24.50)	B a	にぶい黄橙	60	D区
80	(6.22)	1.72	0.45	(16.39)	B a	にぶい黄橙	70	D区
81	6.53	1.64	0.55	15.51	B a III	にぶい橙	100	C区
82	(6.49)	1.64	0.52	(15.28)	B a	灰黄	95	B区
83	(6.63)	1.70	0.52	(14.52)	B a	灰黄褐	95	D区
84	6.42	1.38	0.50	10.36	B b IV	褐灰	100	D区
85	6.34	1.82	0.48	(17.95)	B a IV	橙	95	D区
86	(6.32)	1.76	0.42	(16.22)	B a	にぶい橙	80	A区
87	6.23	1.93	0.48	22.22	B a IV	橙	100	B区
88	(6.50)	2.02	0.50	(18.67)	B a	淡黄	95	A区
89	(6.51)	1.97	0.52	(20.20)	B b	淡黄	90	B区
90	(6.77)	1.80	0.74	(20.22)	B a	にぶい褐	80	B区
91	6.80	1.61	0.53	(14.65)	B a III	褐灰	95	A区
92	(6.80)	1.77	0.55	(16.97)	B a	灰黄褐	90	C区
93	(6.24)	2.31	0.69	(33.50)	B a	褐灰	80	D区
94	6.68	1.72	0.52	15.84	B a III	黒褐	100	D区
95	6.99	1.68	0.35	(17.61)	B a III	にぶい橙	95	D区
96	(6.97)	1.91	0.55	(21.58)	B	淡黄	90	D区
97	(7.20)	1.86	0.45	(22.11)	B	浅黄橙	90	D区
98	(7.14)	1.68	0.38	(18.15)	B a	にぶい橙	90	A区
99	7.08	2.13	0.50	27.60	B a III	浅黄橙	100	D区
100	7.47	2.25	0.50	26.98	B a III	褐灰	100	C区
101	7.51	1.47	0.38	13.39	B a II	にぶい橙	95	B区
102	7.51	1.71	0.43	17.66	B a II	にぶい橙	100	C区
103	(7.68)	1.47	0.38	(14.27)	B a	灰褐	95	D区
104	8.22	1.84	0.35	23.38	B a II	浅黄橙	100	D区
105	18.06	1.88	0.38	(22.78)	B a II	にぶい黄橙	95	D区

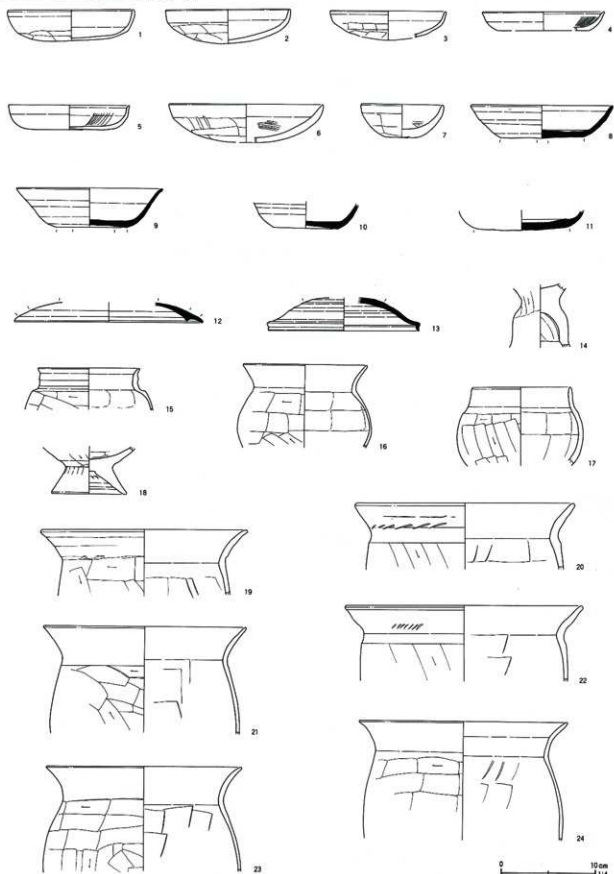
第101図 第69号住居跡・カマド



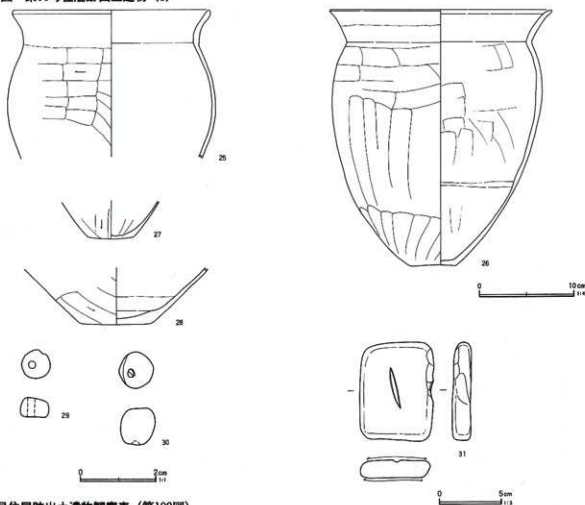
カマド



第102図 第69号住居跡出土遺物 (1)



第103図 第69号住居跡出土遺物 (2)



第69号住居跡出土遺物観察表 (第102図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	13.2	3.4		DF	普通	橙	100	No1・2	
2	坏	(13.1)	3.6		ADF	不良	にぶい黄橙	80	D区	
3	坏	(12.2)			G	良	にぶい黄橙	20	No34	P 4 床 + 5 cm
4	坏	(13.0)	2.0	(9.6)	G	普通	橙	15	A区	暗文土器
5	坏	(13.8)	2.6	9.7	BEG	普通	橙	35	B区	
6	坏	(16.3)	4.1		B	良	橙	20	D区	床 + 10 cm 内面一部へラ磨き
7	ニナツ7類	(8.5)	3.5	3.6	BD	普通	橙	75	D区	底部一方向へラナデ
8	坏	(14.8)	3.5	8.8	IL	良	灰	85	No16	底部右回転へラ削り
9	坏	15.4	4.2	7.5	B J L	良	灰	90	No15	床 + 5 cm 底部左回転周辺へラ削り 糸切り摩しは右回転
10	坏			6.9	CL	不良	灰黄	100	A区	底部右回転糸切り
11	瓶			(10.0)	GL	良	灰白	45	D区	底部手持ちへラ削り
12	蓋	(19.8)			B	良	灰	10	A区	天井部回転へラ削り
13	蓋	(16.0)			L	良	灰	45	A区・B区	天井部右回転へラ削り
14	高坏				BL	普通	橙	90	No23	床 + 10 cm
15	甕	(10.6)			B J	普通	にぶい黄橙	30	C区	内面横ナデ
16	甕	(13.0)			DG	普通	明褐	20	No4	床 + 10 cm 内面横ナデ
17	甕	(10.4)			J	普通	橙	20	No22	内面工具横ナデ
18	台付甕			(7.8)	BDG	普通	橙	50	D区	
19	甕	(21.6)			BEGH	普通	橙	40	No20	内面木口状工具ナデ
20	甕	(23.0)			GH	良	橙	30	No26	床 + 3 cm 内面木口状工具ナデ
21	甕	(21.4)			DE	普通	橙	25	No28	P 1 内面木口状工具ナデ
22	甕	(25.0)			DEG	良	橙	20	C区・D区	内面木口状工具横ナデ

第69号住居跡出土土物観察表 (第102・103図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
23	甕	20.8			D G	普通	橙	80	No3	床
24	甕	22.0			D G	普通	橙	95	No43・49・50 ・51・53	カマド 内面木口状工具ナデ
25	甕	(20.8)			D E G	普通	にぶい橙	20	No30・P 8	P 8 内面横ナデ
26	甕	(23.4)	27.0	4.8	D	普通	にぶい橙	40	No9・10・44 ・45・47・53	カマド 内面ナデ
27	甕			4.9	D E	普通	にぶい黄橙	80	No53	カマド
28	甕			7.3	D G L	良	にぶい黄橙	60	D区	

## 第70号住居跡 (第104図)

M-10グリッドに位置する。第7号性格不明遺構・第71号住居跡に切られ、第81号・第83号住居跡を切っている。平面は、軸長4.16m×3.70m以上で方形とみられ、深さ16cm程を測る。主軸方位は、N-72.5°-Eを指す。

カマドは、東壁に設けられている。燃焼部は長さ230cmを測り、僅かな窪み状を呈する。

遺物は、土師器片、土錘が出土した。

## 第71号住居跡 (第105・106図)

L-10グリッドに位置する。第7号性格不明遺構の下にある。平面は、軸長3.58m×2.52mの長方形で、深さ30cm程を測る。壁溝は、南壁と西壁の一部で検出でき、幅10-17cm、深さ5cm程である。主軸方位は、N-69°-Eを指す。

カマドは、東壁のやや南寄りに設けられている。燃焼部は99cm×44cmの楕円形で、僅かな窪み状を呈す

る。

遺物は、須恵器杯・蓋、土師器甕、鉄製品、土錘が出土した。11・12は刀子の刃部で、それぞれ6.34g、19.74gを量り、11は床から僅かに浮いた状態で、12は覆土中位から出土した。13-16は、断面が円形・台形・四角の棒状鉄器で、それぞれ7.63g、8.91g、20.81g、10.06gを量る。17は鎌の刃部で104.2gを量り、14・15・17は床から、16は床から若干浮いた状態で出土した。

## 第70号住居跡出土土錘観察表

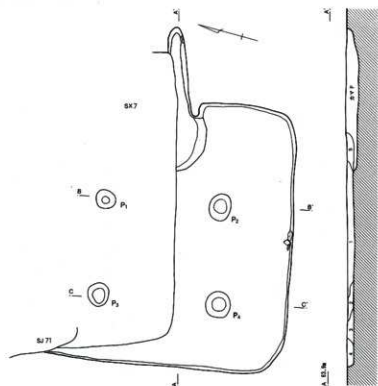
番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(1.70)	(1.27)	0.50	(1.70)		にぶい橙		
2	(2.39)	(0.99)	0.40	(1.77)	B a	淡黄橙	30	カマド
3	(2.99)	1.32	(0.54)	(2.46)		橙		B区
4	(3.24)	1.63	0.46	(7.05)	B a	淡黄		
5	7.97	1.74	0.48	(19.94)		淡黄橙	95	

## 第71号住居跡出土土錘観察表

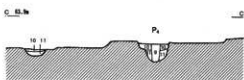
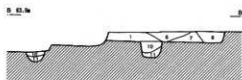
番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(2.57)	1.30	0.50	(3.56)	B a	橙	30	D区
2	(2.56)	1.41	0.46	(2.70)	B a	にぶい黄橙	30	A区
3	(2.58)	1.17	0.50	(3.52)	B b	陶灰	30	C区
4	(3.02)	1.03	0.37	(3.06)	B a	にぶい黄橙	60	C区
5	(2.44)	(2.00)	0.48	(5.67)	B a	淡黄		D区
6	(3.30)	1.45	0.48	(4.61)	B a	陶灰	40	C区
7	(4.72)	1.56	0.51	(8.71)	B a	淡黄	60	D区
8	4.96	1.85	0.70	(13.57)	B a	橙	80	D区
9	5.41	1.20	0.40	8.30	A a V	にぶい橙	100	C区



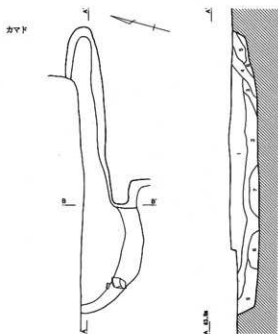
第104図 第70号住居跡・カマド



- 1 暗茶褐色 (107B3/4) 焼土・炭化物少
- 2 茶褐色 (107B5/4) 焼土・炭化物・黄褐色土少
- 3 茶褐色 (107B4/4) 黄褐色土少
- 4 暗茶褐色 (107B3/4) 黄褐色土少
- 5 暗茶褐色 (107B3/4) 焼土・炭化物多、灰褐色土少
- 6 茶褐色 (107B4/4) 焼土・炭化物・黄褐色土少
- 7 茶褐色 (107B4/4) 焼土・炭化物多、黄褐色土少
- 8 暗茶褐色 (107B3/4) 焼土・炭化物・黄褐色土少
- 9 黒褐色 (107B3/2) 炭化物多、粘性ややあり
- 10 暗褐色 (107B3/4) 地山崩・地山ブロック多、やや砂質
- 11 褐色 (107B4/4) 地山ブロック多、やや砂質



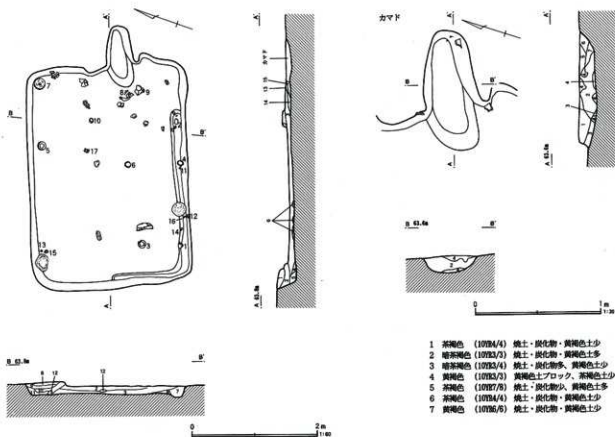
0 2m



- 1 黄褐色 (107B5/6) シルト質、炭化物粒若干、白色微粒子多
- 2 褐色 (107B4/4) シルト質、焼土多、炭化物若干
- 3 黄褐色 (107B5/6) シルト質、白色微粒子多
- 4 濃い黄褐色(107B4/3) 明黄褐色シルト多
- 5 黄褐色 (107B5/6) 炭化物粒多
- 6 明黄褐色 (107B5/6) 炭化物粒濃
- 7 褐色 (107B4/3) シルト質

0 1m

第105図 第71号住居跡・カマド



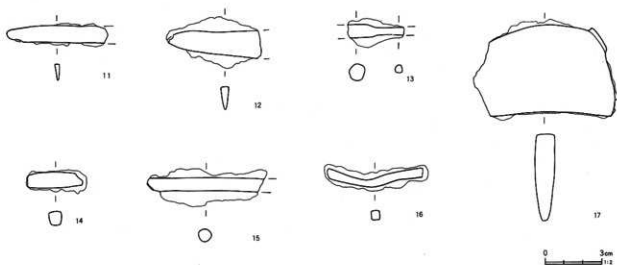
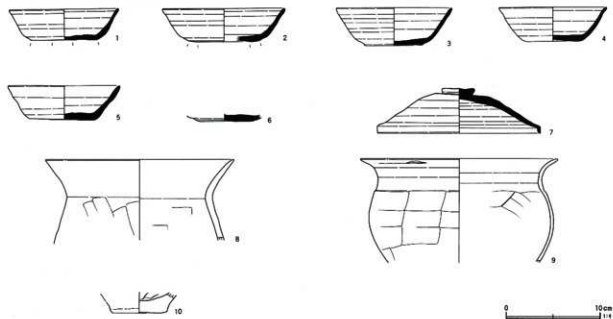
- 1 暗茶褐色 (1073/4) 焼土・炭化物・黄褐色土少、砂質
- 2 茶褐色 (1074/4) 焼土・炭化物・黄褐色土少
- 3 暗茶褐色 (1073/4) 焼土・炭化物・黄褐色土・灰褐色土少
- 4 茶色 (1075/6) 焼土・炭化物・暗褐色土少
- 5 茶褐色 (1074/6) 黄褐色土多
- 6 黄褐色 (1077/8) 焼土・炭化物多、茶褐色土少
- 7 茶褐色 (1074/6) 焼土・炭化物多、黄褐色土少
- 8 暗茶褐色 (1073/4) 黄褐色土少

- 9 茶褐色 (1074/4) 黄褐色土少
- 10 暗茶褐色 (1074/3) 焼土・炭化物・黄褐色土少
- 11 茶褐色 (1075/4) 焼土・炭化物少、黄褐色土多
- 12 黄褐色ブロック(1075/8) 黄褐色土少
- 13 暗茶褐色 (1073/4) 焼土・炭化物多、黄褐色土少
- 14 茶褐色 (1074/4) 焼土・炭化物・黄褐色土少
- 15 暗褐色 (1073/2) 焼土・炭化物多、黄褐色土少

第71号住居跡出土遺物観察表 (第106図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	11.6	3.3	7.0	F J	不良	黄灰	30	No22	床 底部右回転ヘラ削り
2	坏	(13.0)	3.5	(7.6)	F L	普通	黄灰	30	No18 - B区	床 底部周辺左回転ヘラ削り
3	坏	12.3	4.0	6.2	B I	良	灰	95	No23	床 底部右回転糸切り
4	坏	(11.4)	3.6	(6.4)	A B J	普通	灰	40	No21	床 底部右回転糸切り
5	坏	11.9	3.7	7.2	A F J	不良	黄灰	95	No9	床 + 4 cm 底部調整不明
6	坏			6.2	B F H	普通	黄灰	100	No10	床 底部糸切り後周辺手持ちヘラ削り
7	壺	17.2	4.8		F H J L	不良	浅黄	95	No8	床 つまみ直径 3.5 cm
8	壺	(20.0)			B J L	普通	橙	10	No12	床
9	壺	(21.0)			D	不良	にぶい橙	40	No13	床 + 5 cm 器覆われ
10	壺			6.0	E J	普通	橙	100	No6	床 + 3 cm

第106図 第71号住居跡出土遺物



第72号住居跡 (第107・108図)

L-7グリッドに位置し、他の住居跡の密集部からは北に離れ重複などは無い。平面は、軸長4.50m×3.00mのやや歪んだ長方形で、深さ7cm程を測る。主軸方位は、N-68.5°-Eを指す。

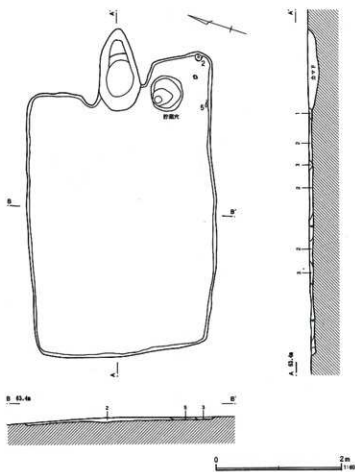
カマドは、東壁に設けられている。燃焼部は130cm×65cmの楕円形で、床面から深さ16cmの窪み状を呈す

る。

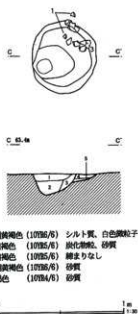
貯蔵穴は、南東部に備わる。上面は径50cm×57cmの円形で、底面は一部が深くなり、深さ17cmを測る。

遺物は、須恵器坏・高台付碗・皿・甕のほか、鉄製品が出土した。鉄製品は小刀で、茎と刃部一部で、30.84gを量る。貯蔵穴の南、南壁際の床から出土した。

第107図 第72号住居跡・カマド



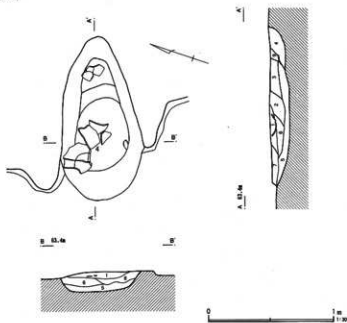
前庭穴



- 1 明黄褐色 (10YR6/5) シルト質、白色微粒子
- 2 黄褐色 (10YR5/5) 炭化物散在、砂質
- 3 黄褐色 (10YR5/5) 雜まりなし
- 4 明黄褐色 (10YR6/5) 砂質
- 5 褐色 (10YR4/5) 砂質

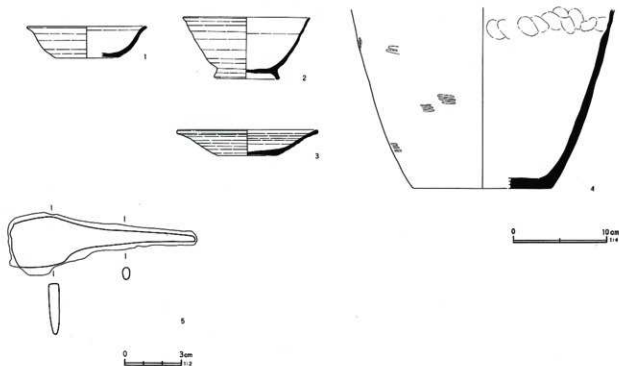
- 1 褐色 (10YR4/4) 焼土少
- 2 明黄褐色 (10YR7/5) シルト質
- 3 褐色 (10YR4/4) 炭化物散在
- 4 に赤い黄褐色(10YR5/4) 雜まり強し
- 5 褐色 (10YR4/4)

カマド



- 1 明黄褐色 (10YR7/5) シルト質、灰白色微粒子
- 2 暗褐色 (10YR3/4) シルト質、焼土・明黄褐色シルト
- 3 褐色 (10YR4/4) 焼土多
- 4 暗褐色 (10YR3/4) 焼土若干
- 5 黄褐色 (10YR5/5) シルト質、焼土若干
- 6 炭灰層
- 7 暗褐色 (10YR3/4) 焼土若干、雜まり極強い
- 8 炭灰層 焼土塊、明黄褐色土
- 9 明黄褐色 (10YR6/5)

第108図 第72号住居跡出土遺物



第72号住居跡出土遺物観察表 (第108図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(12.8)	3.3	(6.6)	F I J	良	灰	25	No12・No16	貯蔵穴 底部回転糸切り
2	高台付碗	(13.5)	6.6	6.9	B J	良	灰	60	No7	床 高台貼付痕明瞭
3	皿	(15.0)	2.3	(6.4)	B J L	良	にぶい程	20	No9	貯蔵穴 底部回転糸切り
4	甕			(14.6)	B L	良	灰	40	No1-No3	外面酸化塩焼成 カマド 外面平行叩き後ナテ消し

第73号住居跡 (第109図)

N-7・8グリッドに位置する。北部が第16号・第30号住居跡に、東部が第36号住居跡に切られる。平面は、軸長6.82m×4.31mの歪んだ長方形と捉えられ、深さ14cm程を測る。主軸方位はN-100.5°-Wを指

す。

カマドは、西壁に設けられているが北側が第16号住居跡により切られている。燃焼部83cm×30cmで楕円形を呈する。

遺物は、土師器坏、土鍾が出土した。

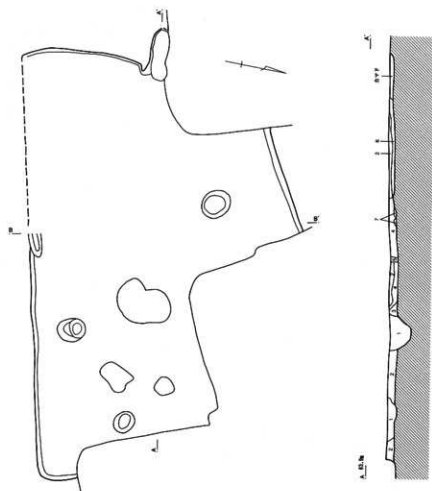
第73号住居跡出土土鍾観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(2.45)	1.47	(0.51)	(2.87)	B	淡黄		B区
2	(3.96)	1.51	0.58	(6.04)	B b	褐灰	40	D区
3	(5.48)	1.62	0.53	(11.69)	B b	淡黄	95	C区
4	(6.40)	1.97	0.58	(21.92)	B b	淡黄	70	D区

第73号住居跡出土遺物観察表 (第109図)

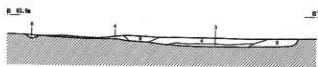
番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(11.2)			B G	普通	褐灰	20	B区	

第109図 第73号住居跡

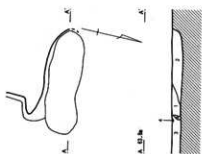


- 1 褐色シルト (107B4/4) 明黄褐色シルト多
- 2 におい黄褐色シルト(107B5/6) 炭化物・褐色土粒
- 3 明黄褐色 (107B6/8) 砂質
- 4 明黄褐色シルト(107B6/8)
- 5 におい黄褐色シルト(107B5/4) 白色炭粒子
- 6 におい黄褐色シルト(107B6/4)
- 7 明黄褐色シルト(107B6/8)
- 8 明黄褐色シルト(107B5/4) 炭化物粒子
- 9 暗褐色シルト (107B3/4) 白色粒子・炭化物

0 2m  
1m

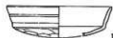


カマド



- 1 褐色 (107B4/5) 焼土多
- 2 褐色 (107B4/6) 炭化物・白色炭粒少
- 3 におい黄褐色シルト(107B6/4)
- 4 焼土

0 1m  
1m



0 10cm  
10cm

#### 第74号住居跡 (第110図)

O-8グリッドに位置する。西側が第18号住居跡に切られ、第55号住居跡のカマドにも切られている。平面は、軸長4.00m×5.02mの長方形で、深さ30cm程を測る。主軸方位は、N-40°-Eを指す。

カマドは、北東壁の北西よりに設けられている。燃焼部は南西部が切られており、58cm×38cmの長方形を

呈し、深さ23cmを測る。また、支脚の石が遺存していた。煙道部は燃焼部と段差を有し20cm程確認できた。

遺物は、土師器甕、白玉、土錘が出土した。白玉は、径6.0mm、厚さ3.0mm、孔径1.9mm、重さ0.17gで、覆土中からの出土である。

#### 第74号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(1.58)	1.32	0.36	(2.93)	B b	黄灰		

#### 第74号住居跡出土遺物観察表 (第110図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	甕	(14.6)			J L	普通	にぶい楊	25	No4 ~ No6	床 外面ヘラ削り 内面ヘラ及び指ナデ

#### 第75号住居跡 (第111・112図)

L-11グリッドに位置する。第64号住居跡の下にあり、第76号・第89号住居跡を切り、第92号・第94号住居跡の上に乗る。平面は、軸長5.96m×5.59mの方形で、深さ19cm程を測る。壁溝は幅13~25cm、深さ1~7cmである。主軸方位は、N-29°-Wを指す。

カマドは、北壁に設けられている。燃焼部は177cm×60cmの楕円形で、床面からの深さ18cmを測る。

柱穴は4本の主柱穴が検出された。径65~82cmの円形で、深さ50~80cmを測り、ピット2・3・4は柱痕が確認された。

貯蔵穴は北隅に備わる。軸長123cm×70cmの隅丸長方形で、深さ40cmを測る。

遺物は、土師器杯・甕、須恵器蓋、白玉、土玉、土錘が出土した。13の白玉は半分ほど欠損しており、径6.0mm、厚さ4.0mm、重さ0.11g。14は土玉で、径11.2~11.9mm、高さ10.0mm、孔径2.8~3.0mm、重さ1.41gである。13・14ともに床からの出土である。

#### 第76号住居跡 (第111・112図)

L-11グリッドに位置する。ほとんどが第75号住居跡に切られている。平面は不明で、深さ14cm程を測る。

カマド等の施設は確認できなかった。

遺物は、土師器杯が出土した。

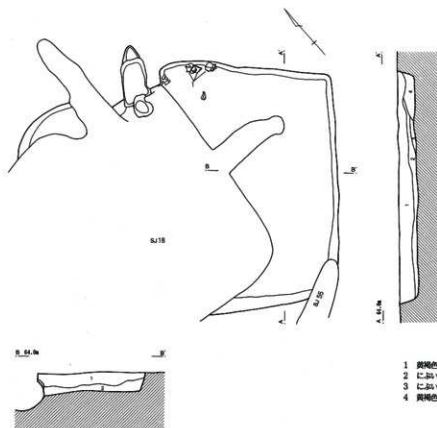
#### 第77号住居跡 (第113図)

O-9グリッドに位置しカマドのみの確認である。カマドの主軸方位は、N-70°-Eを指す。

カマドは、東壁に設けられていたと考えられる。燃焼部は147cm×53cmの楕円形で、床面から深さ13cmを測る。燃焼部中央の両壁に扁平な河原石が補強材として使用されていた。煙道部は、燃焼部と段差を有し、46cm程確認できた。

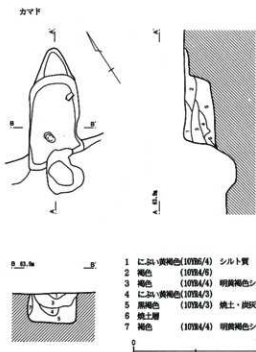
遺物は、須恵器杯、土師器甕、土錘がカマドから出土した。

第110図 第74号住居跡



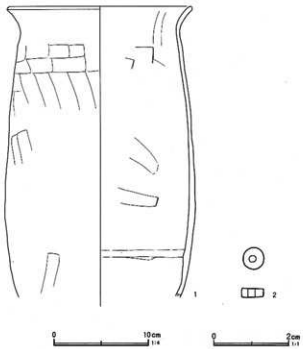
- 1 黄褐色 (107B/6) シルト質、白色燧石多、焼土粒少
- 2 にじみ黄褐色 (107B/4) シルト質
- 3 にじみ黄褐色 (107B/3) シルト質
- 4 黄褐色 (107B/6) 白色燧石・炭化物

0 2m  
1m



- 1 にじみ黄褐色(107B/4) シルト質
- 2 褐色 (107B/6)
- 3 褐色 (107B/4) 明黄褐色シルト多
- 4 にじみ黄褐色(107B/3)
- 5 黄褐色 (107B/3) 焼土・炭多
- 6 焼土層
- 7 褐色 (107B/4) 明黄褐色シルト多、焼土

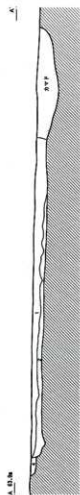
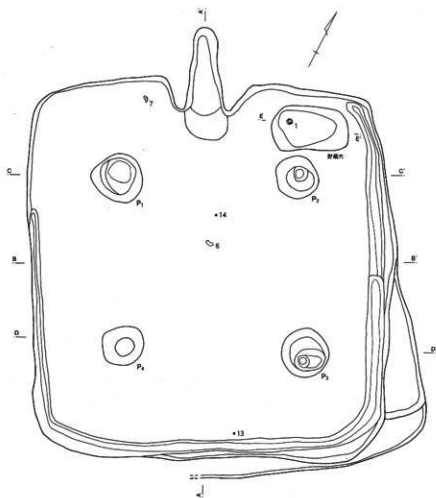
0 1m  
1m



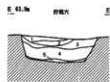
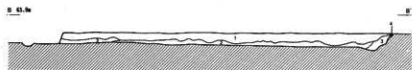
0 2cm  
1cm



第111図 第75・76号住居跡



- 1 黒褐色 (107B3/2) 黒褐色シルト多、焼土粒子・炭化物
- 2 黒褐色 (107B3/1) 地山ブロック、炭化物多
- 3 黒褐色 (107B3/3) 地山ブロック、砂質
- 4 黒褐色 (107B4/2) 黒褐色シルト多
- 5 黒褐色 (107B3/2) 地山ブロック多、砂質



貯蔵穴

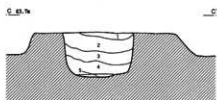
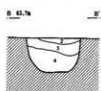
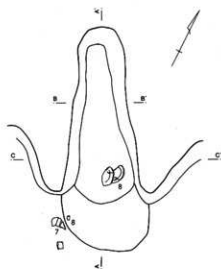
- 1 黒褐色 (107B3/2) 地山ブロック多、焼土粒・炭化物多、餅まき・粘性ややあり
- 2 黒褐色 (107B3/1) 地山ブロック・焼土粒
- 3 黒褐色 (107B3/3) 地山ブロック多
- 4 黒褐色 (107B4/2) 灰色粘土ブロック多、粘性あり
- 5 黒褐色 (107B3/2) 地山ブロック多、砂質

P1~4

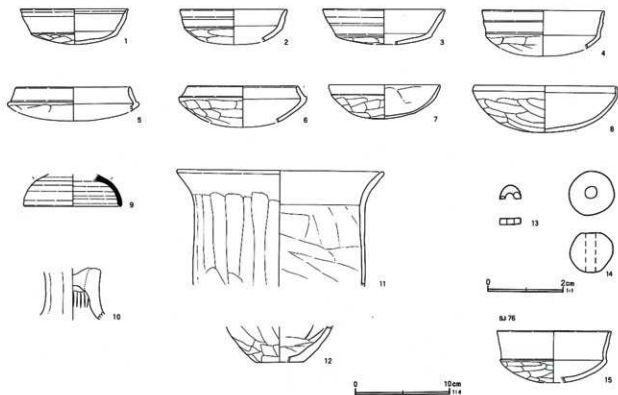
- 1 黒褐色 (107B3/1) 地山ブロック・焼土粒、餅まきあり
- 2 黒褐色 (107B3/1) 地山ブロック、粘性ややあり
- 3 黒褐色 (107B3/6) 地山ブロック多、砂質
- 4 黒褐色 (107B3/2) 地山ブロック、砂質
- 5 黒褐色 (107B3/6) 地山ブロック多、砂質
- 6 黒褐色 (107B3/3) 地山ブロック、砂質



第112図 第75号住居跡カマド・第75-76号住居跡出土遺物



- 1 暗褐色 (10B2/3) 黄褐色シルト多、焼土粒子・炭化物
- 2 暗赤褐色 (2.5B3/6) 焼土粒・焼土ブロック多
- 3 赤褐色 (2.5B4/8) 焼土多、炭・灰・砂質
- 4 暗赤褐色 (2.5B3/4) 焼土粒、砂質
- 5 黒色 (10B2/1) 炭・灰多



第75号住居跡出土土鍾観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(1.60)	(1.51)	(0.38)	(1.80)		灰白		C区
2	(2.13)	(1.84)	0.54	(3.91)		黄灰		C区
3	(2.66)	(1.27)	(0.42)	(2.72)	Ba	にぶい黄橙		C区
4	(2.92)	1.16	(0.47)	(2.19)		にぶい黄橙		A区
5	(2.85)	1.30	(0.52)	(3.16)	Ba	浅黄橙	20	C区
6	(3.80)	(1.56)	(0.34)	(5.07)		橙		A区
7	(4.15)	(1.41)	(0.44)	(3.48)		にぶい黄橙		C区
8	(4.39)	1.82	0.57	(8.77)	Ba	淡黄		A区
9	(3.22)	1.29	0.50	(2.99)	Ba	褐灰	30	B区
10	(2.53)	1.52	0.58	(4.70)	Aa	にぶい黄橙		A区
11	(2.98)	1.30	0.45	(3.68)	Ba	浅黄橙	40	A区
12	(3.01)	(1.37)	0.50	(4.06)	Ba	にぶい橙	30	A区
13	(2.82)	1.51	0.57	(5.50)	Ba	にぶい褐	30	B区
14	(3.08)	1.46	0.51	(4.89)	Ba	褐灰	30	A区
15	(3.19)	1.57	0.50	(5.60)	Ba	浅黄橙	30	カマド
16	(2.95)	1.59	0.48	(6.22)	Ba	灰白	30	C区
17	(3.30)	1.50	0.55	(6.34)	Ba	灰黄褐	60	A区
18	(3.98)	1.60	0.50	(7.46)	Ba	褐灰	60	C区
19	(4.35)	1.20	0.75	(4.92)	Aa	淡黄		C区
20	(4.58)	1.64	0.60	(10.12)	Ba	にぶい黄橙	60	A区
21	(4.68)	1.64	0.55	(10.31)	Ba	にぶい黄橙	60	A区
22	5.52	1.36	0.43	9.52	Ba IV	灰黄褐	100	C区
23	(5.17)	1.79	0.70	(12.10)	B'a	淡黄	80	D区
24	(5.77)	1.60	0.45	(12.26)	Ba	淡黄	70	A区
25	5.18	2.08	0.55	18.52	Ca V	にぶい黄橙	100	貯蔵穴
26	(5.32)	2.26	0.77	(17.11)	Ba	にぶい橙	60	D区
27	(5.40)	2.14	0.58	(14.93)	Ba	橙	70	B区
28	(6.23)	2.10	0.52	(18.42)	Ba	にぶい黄橙	80	A区
29	(7.61)	2.04	0.72	(32.40)	Aa	浅黄橙	90	P4

第75・76号住居跡出土土遺物観察表 (第112図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	11.4	3.8		BD	普通	褐灰	95	No6	貯蔵穴
2	坏	(11.4)			EF	不良	にぶい橙	40		
3	坏	(13.0)	3.7		BEF	不良	にぶい橙	15	A区	
4	坏	(13.0)			D	不良	灰黄褐	15	D区	
5	坏	(12.0)			D	普通	橙	15	D区	
6	坏	(11.6)			DE	普通	にぶい褐	30	No8	
7	坏	11.7	3.7		EJ	不良	橙	95	No2・5・B区	庫
8	坏	15.0	5.0		DH	不良	橙	95	No1・3・5	カマド
9	壺	(10.2)			B	良	灰	30	B区	
10	高坏				BJ	不良	にぶい橙	40	D区	外面↓方向へ削り
11	壺	(22.0)			BG	普通	にぶい褐	15	貯蔵穴	貯蔵穴
12	壺			(5.0)	DG	普通	灰黄褐	55	貯蔵穴	貯蔵穴
15	坏	(12.0)	5.5		BFG	普通	橙	15	SJ76	SJ76

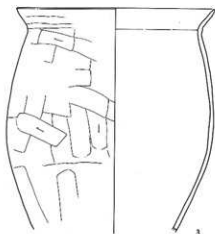
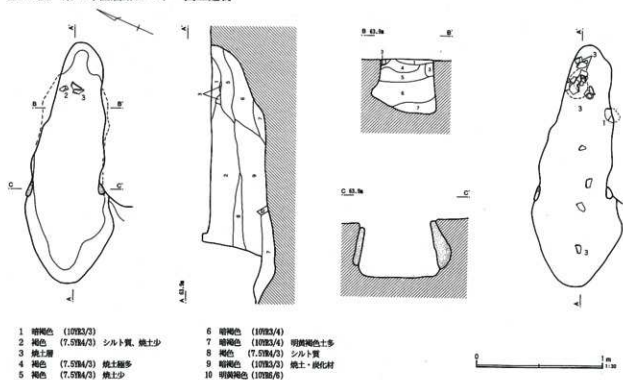
第77号住居跡出土土鍾観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(2.17)	1.25	0.50	(2.30)	Ba	黄灰	20	カマド
2	(3.16)	2.09	0.76	(10.92)	Ea	橙		C区
3	3.51	1.86	0.53	11.42	Bb VI	にぶい黄橙	100	C区
4	(4.03)	2.02	0.47	(16.43)	Ba	にぶい黄橙	60	カマド
5	6.07	1.71	0.49	17.81	Ba IV	にぶい橙	100	カマド
6	6.11	2.14	0.46	21.97	Ca IV	にぶい橙	100	カマド
7	6.65	1.86	0.48	17.73	Ba III	褐灰	100	C区
8	(6.80)	2.10	0.50	(26.02)	Ba	にぶい黄橙	90	カマド

第77号住居跡出土土遺物観察表 (第113図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	12.2	3.2	6.0	BFJ	良	黄灰	70	No17	カマド 底部右回転糸切り
2	坏	13.2	4.0	5.8	FJ	普通	灰	85	No26・SJ78 B区・P3	カマド 右回転糸切り 底部内面回転へう整形
3	壺	(21.0)			J	普通	にぶい橙	40	No1・3・5・8・12 14・21・23・24	内面横ナデ

第113図 第77号住居跡カマド・出土遺物



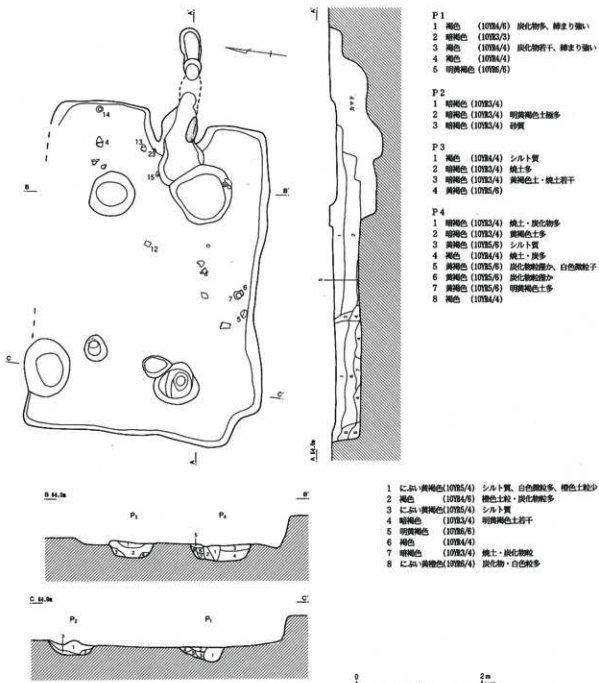
0 10 cm  
1:1

第78号住居跡 (第114・115・116回)

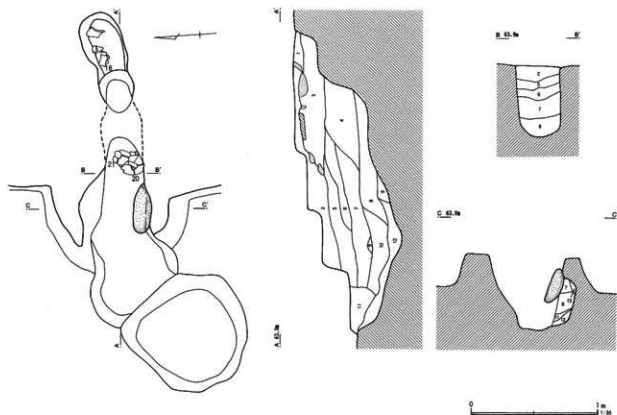
O-9グリッドに位置する。第45号・第79号住居跡を切っている。平面は、軸長5.15m×3.56mの長方形で、深さ40cm程を測る。主軸方位は、N-80°-Eを指す。

カマドは、東壁のやや南寄りに設けられている。燃焼部は195cm×57cmで中央がやや窪んで、床面から深さ35cmを測る。煙道部は燃焼部と段差を有し、48cm確認できた。燃焼部の一部には天井が遺存していた。右袖部に補強の石が見られたが原位置を留めていない

第114回 第78号住居跡



第115図 第78号住居跡カマド



- |   |                  |                   |    |                |           |
|---|------------------|-------------------|----|----------------|-----------|
| 1 | にぶ・黄褐色 (107B5/6) | シルト質、明黄褐色シルト含     | 8  | 暗褐色 (107B2/3)  | 焼土層多      |
| 2 | 褐色 (107B4/4)     | シルト質、炭化物混         | 9  | 明黄褐色 (107B5/6) |           |
| 3 | 暗褐色 (107B3/4)    | 焼土若干、明黄褐色土少、跡まり強し | 10 | 褐色 (107B4/4)   | 焼土若干      |
| 4 | 黄褐色 (107B6/6)    |                   | 11 | 黒褐色 (107B2/2)  | 炭化物多、焼土若干 |
| 5 | 褐色 (107B4/6)     | 焼土若干              | 12 | 褐色 (107B4/4)   | 明黄褐色土     |
| 6 | 褐色 (107B4/6)     | 焼土多               |    |                | 被焼範囲      |
| 7 | 暗褐色 (107B3/3)    | 焼土・炭化物混           |    |                |           |

ものとみられる。

柱穴は明らかに主柱穴と見られるものは、検出されなかった。

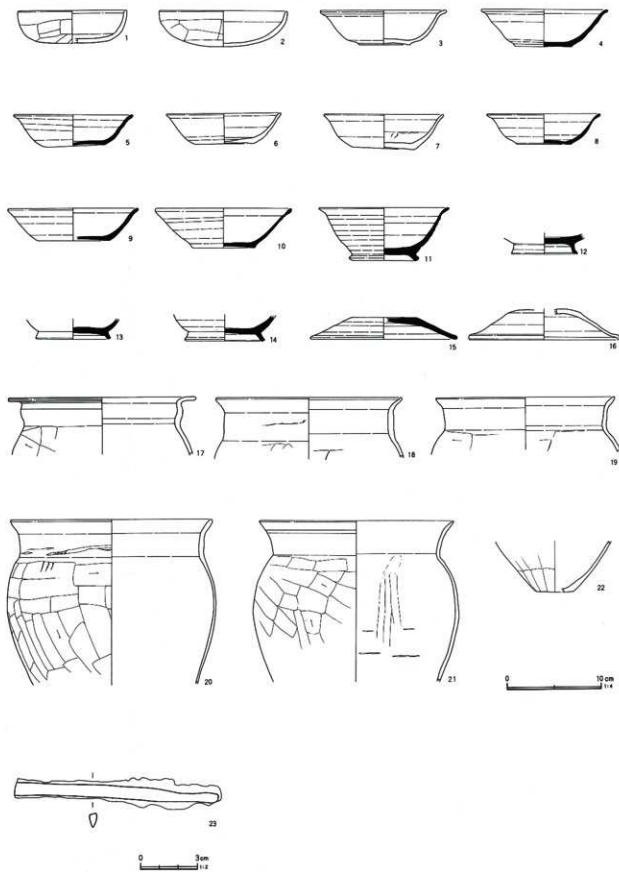
遺物は、土師器杯・甕、須恵器杯・高台付碗・蓋、

鉄製品、土鍾が出土した。鉄製品は刀子の刃部先端が欠損しているが、重さは17.19gで、床から若干浮いた状態で出土した。

第78号住居跡出土土鍾観察表(1)

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	1.76	1.41	0.52	(2.28)	B	黒褐	20	C区
2	(2.23)	1.52	0.39	(3.97)	B a	浅黄橙	20	B区
3	(2.59)	1.62	0.35	(4.20)	B	明赤褐	30	C区
4	(3.33)	1.43	0.47	(4.09)	B	橙	20	SJ45 D区
5	(2.85)	1.58	0.38	(5.25)	B b	灰褐	30	SJ45 D区
6	(3.19)	1.85	0.52	(8.02)	B a	浅黄橙	30	C区
7	(3.88)	1.82	0.57	(7.93)	B a	にぶい黄橙	40	C区
8	(3.37)	1.60	0.47	(8.04)	B a	にぶい黄橙	40	C区
9	(4.35)	1.48	0.55	(8.57)	B a	にぶい橙	50	SJ45 D区
10	(4.28)	1.98	0.52	(10.52)	B a	にぶい黄橙	50	SJ45 D区
11	(4.81)	1.46	0.45	(9.47)	B a	褐灰	70	B区
12	3.75	1.65	0.55	8.80	B a VI	明赤褐	100	C区

第116图 第78号住居跡出土遺物



第78号住居跡出土土鍾観察表 (2)

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
13	4.00	2.00	0.38	15.92	C a V	にぶい黄橙	100	カマド
14	5.19	1.90	0.47	17.30	B a V	橙	100	カマド
15	(5.69)	2.08	0.58	(15.67)	B a	明赤褐	90	S J 45 D区
16	(5.31)	2.28	0.50	(22.49)	B a	にぶい黄橙	80	A区
17	(5.98)	1.89	0.60	(16.42)	B a	橙	95	S J 45 D区
18	(6.89)	2.01	0.40	(22.19)	B a	灰白	95	S J 45 D区
19	5.77	2.05	0.45	(23.64)	B b IV	洗黄橙	95	S J 45 D区
20	7.13	1.92	0.55	16.53	B b	灰白	90	S J 45 D区
21	(5.55)	1.97	0.48	(19.02)	B a	灰褐	95	B区
22	5.50	1.98	0.60	18.31	B b IV	黒褐	100	C区
23	5.52	1.89	0.60	18.20	B a IV	黄灰	100	B区
24	5.24	2.28	0.53	21.77	B a V	橙	100	C区
25	5.38	2.04	0.52	18.12	B a V	橙	100	カマド
26	5.66	2.21	0.60	22.34	B a IV	洗黄橙	100	C区
27	5.72	2.16	0.60	20.71	B a IV	にぶい橙	100	C区
28	6.41	2.09	0.53	19.98	B a IV	にぶい橙	100	D区
29	(6.60)	1.75	0.54	(15.88)	B a	橙	95	C区
30	6.61	2.44	0.49	28.16	B a III	褐灰	100	C区
31	6.83	2.24	0.51	28.35	B a III	淡黄	100	C区
32	7.38	1.39	0.48	12.31	B a III	褐灰	100	S J 45 D区

第78号住居跡出土遺物観察表 (第116図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(11.6)	3.5	(7.6)	A E	不良	にぶい黄橙	40		
2	坏	(13.6)	3.8		D E J	普通	橙	55	P 3・4・B区	カマド
3	坏	13.4	3.7	5.4	B I J	良	にぶい橙	45	P 3・P 4	底部右回転糸切り 口縁部のみ還元焼成
4	坏	(13.5)	4.0	6.0	J	良	灰オリーブ	55	No6・No27	床 底部右回転糸切り
5	坏	12.7	3.3	6.5	C E F H J L	普通	淡黄	100	No 4	床 底部右回転糸切り 一部切り残し
6	坏	12.2	3.2	6.2	B H L	良	灰オリーブ	95	No19	床+2cm 底部内外面酸化焼成 底部右回転糸切り
7	坏	12.8	3.6	6.5	H L	良	褐	90	No18	床+8cm 体部内外面酸化焼成 底部右回転糸切り
8	坏	(12.1)	3.2	5.8	I J	良	にぶい赤褐	20	P 4	底部右回転糸切り
9	坏	(14.0)	3.5	(7.6)	J	普通	灰白	30	P 4	底部右回転糸切り
10	坏	14.5	4.2	6.7	J	良	灰	70	P 4・B区	底部右回転糸切り
11	高台付碗	(13.8)	5.6	(7.3)	E F H J	良	灰	25	C・D区・ S J 78・79	口クロ痕顯著
12	高台付碗			7.0	D F	良	灰	60	No14	床 底部右回転糸切り 高台周辺へラ後 ナテ
13	高台付碗			8.0	B I	良	灰	50	No9	床+5cm 底部右回転糸切り 高台周辺 ナテ
14	高台付碗			8.5	B L	良	灰白	100	No5	床 底部右回転糸切り 高台周辺ナテ
15	蓋	(15.6)	2.3		J	良	黄灰	40	No9・10・カマド ・B区	天井部右回転糸切り
16	蓋	(17.2)			A E F J	普通	にぶい橙	35	A区	天井部左回転へラ削り 酸化焼成
17	甕	(20.0)			B G	普通	にぶい赤褐	45	B区・S J 78・79	
18	甕	(19.8)			A B D E G	普通	橙	25	No21・カマド	口縁部横ナテ
19	甕	(19.0)			B D E G	普通	にぶい橙	30	B区	カマド
20	甕	21.2			B D	普通	橙	90	No1	カマド
21	甕	(20.5)			B D G	普通	橙	30	No2	カマド
22	甕			4.0	G J	普通	にぶい橙	60	カマド・P 3・4	

第79号住居跡 (第117・118図)

O-9グリッドに位置する。第78号住居跡に切れ、第45号住居跡を切っている。平面は、軸長3.62m×3.40mの方形で、深さ40cm程を測る。主軸方位は、N-2°-Eを指す。

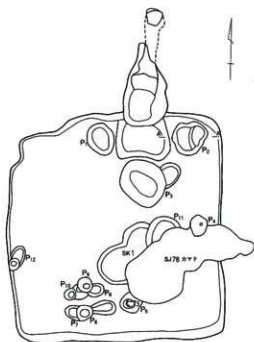
カマドは、北壁のやや東寄りに設けられている。燃

焼部は117cm×70cmの楕円形を呈し、床面からの深さ33cmを測る。煙道部はトンネル状で68cm確認できた。煙出しは、22cm×26cmの台形状を呈している。また、カマド前に土坑状の窪みが見られた。

遺物は、須恵器高台付碗・蓋、土師器甕、土鍾が出土した。



第117図 第79号住居跡・カマド



SJ79

1 褐色 (10794/4)

P2

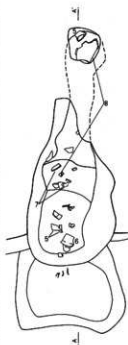
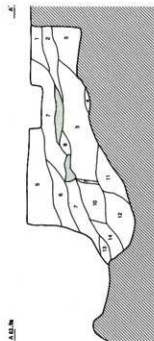
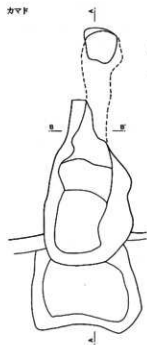
1 褐色 (10794/6)

2 明黄褐色 (10796/8)

3 褐色 (10794/4) 焼土・炭化物多



カマド



1 黄褐色シルト(10795/6)

2 褐色シルト (10794/6) 焼土若干

3 褐色 (7.5794/4) 焼土多、練まり強い

4 褐色 (10794/4)

5 にお、黄褐色シルト(10795/4)白色炭粒子、焼土粒子散

6 黄褐色シルト(10795/6)

7 にお、黄褐色シルト(10795/4)

8 褐色 (7.5794/3) 練まり強い

9 褐色 (7.5794/3) 焼土多

10 褐色 (10794/6) 焼土、明黄褐色土層

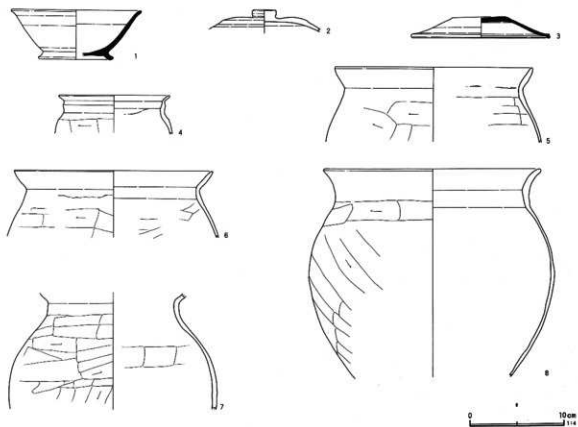
11 暗褐色 (10793/2) 明黄褐色土多

12 暗褐色 (10793/2) 焼土・炭化物・明黄褐色土

13 褐色 (10794/6) 明黄褐色土層多

14 暗褐色 (10793/3) 焼土多

第118図 第79号住居跡出土土物



第79号住居跡出土土物観察表 (第118図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	高台付碗	(13.8)	5.3	(8.0)	E I J L	不良	にぶい黄橙	35	B区	
2	蓋				E J L	普通	にぶい橙	40	P 2	P 2 つまみ径 2.5 cm, 天井部右回転削り 酸化焙焼成
3	蓋	14.7	2.3		B I L	良	灰	55	No34	ピット内 天井部左回転削り
4	蓋	(11.8)			B E G	良	にぶい黄橙	20	A区	
5	蓋	(21.0)			B G I J	普通	橙	35	No3・21・22	カマド
6	蓋	(21.0)			G I J	良	にぶい赤褐	40	No25・A区・SJ45No22	カマド 内面横ナデ 外面ヘラ削り
7	蓋				I J	普通	橙	40	No6・9	カマド
8	蓋	22.8			E J	普通	橙	40	No1・8・31・32	カマド

第79号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重量(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	3.15	1.10	0.37	3.29	B a V	にぶい黄橙	100	A区
2	(3.02)	1.47	0.41	(5.17)	B b	橙	40	B区
3	(3.06)	1.37	0.48	(4.38)	B a	橙	40	B区
4	(4.28)	1.90	0.48	(12.07)	B a	浅黄橙	60	A区
5	4.44	1.73	0.56	(8.32)	A a V	にぶい黄橙	90	A区
6	4.26	2.04	0.49	14.51	B a V	浅黄橙	100	D区
7	4.79	2.01	0.65	(13.38)	A a V	にぶい黄橙	90	A区
8	5.05	1.89	0.48	14.97	B a V	浅黄橙	100	A区
9	4.92	1.92	0.50	16.86	B b V	橙	100	P 9
10	(4.92)	2.41	0.55	(18.91)	B a	にぶい橙	50	カマド No.2
11	5.79	2.34	0.78	(25.16)	B' a N	橙	90	カマド
12	6.15	2.16	0.56	26.19	B b N	にぶい黄橙	100	P 9

## 第78・79号住居跡出土遺物 (第119図)

形で2.61g。21は断面楕円形で重さ10.85g。22は土

須恵器・土師製の他に、鉄製品・土製品が出土した。

製紡錘車で、長径6.78cm、短径4.75cm、高さ2.84cm、

19は釘で断面は四角形で重さ10.56g。20は断面楕円

孔径0.94cmである。いずれも覆土からの出土である。

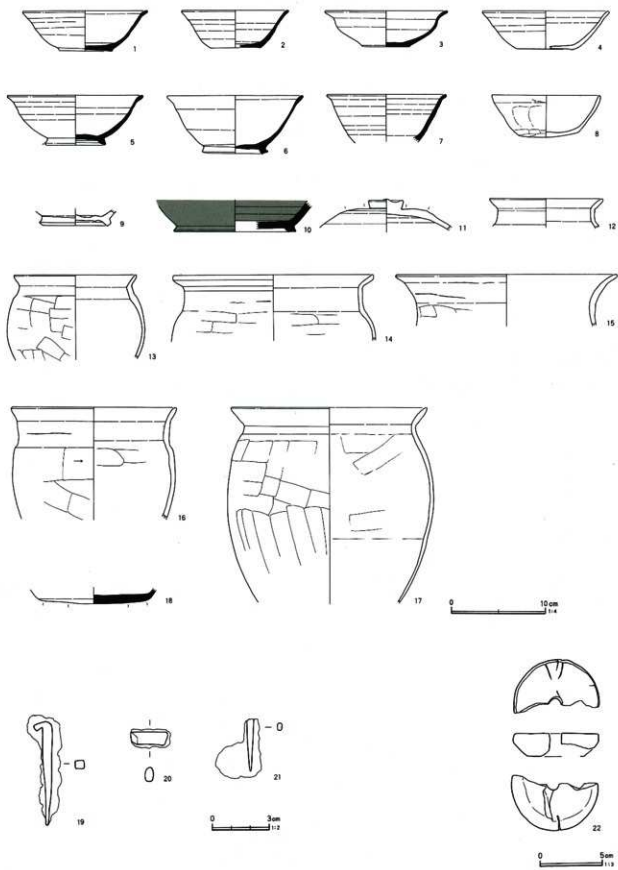
## 第78・79号住居跡出土遺物観察表 (第119図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	13.4	4.3	5.8	B L	良	灰	70	SJ45C区	底部右回転糸切り、体部内面へラ調整痕
2	坏	(11.4)	4.0	(5.3)	F	良	灰	20	SJ45No46-C区	底部右回転糸切り
3	坏	(13.1)	3.8	5.1	B E I J L	良	灰	55	SJ45D区	底部右回転糸切り
4	坏	13.4	4.1	6.0	B E G I J	不良	にぶい褐	95	SJ45No35	底部回転糸切り 口唇部除き還元焼成
5	高台付碗	(14.4)	5.3	6.5	B I J	良	灰	20	SJ45B-C区	
6	高台付碗	(14.4)	6.1	7.0	A B J L	普通	灰	35	SJ45No44	
7	碗	(12.8)			A D I	普通	灰白	50	SJ78D区・SJ79D区	ロクロ痕顯著
8	坏	11.5	4.5	6.3	B D E G	普通	橙	100	SJ45No24-C区	
9	高台付甕			(13.0)	B	良	灰	30	SJ45No38	
10	高台付甕			7.0	H	良	黒褐	100	SJ45No45	黒色土器
11	甕	(12.0)			B G J L	良	にぶい褐	40	SJ45No48	酸化焼成 天井部右回転へラ削り
12	甕	(13.0)			B G I	良	橙	20	SJ45C区	
13	甕	(21.2)			J	普通	にぶい橙	20	SJ45No41	
14	甕	(23.5)			B D G	普通	橙	15	SJ45C区	
15	甕	(17.6)			B D G J	普通	にぶい橙	30	SJ45No31	
16	甕	(20.5)			B G	普通	にぶい橙	30	SJ45No32	内面頸部横ナデ
17	甕				J	普通	にぶい橙	70	SJ45No27・30	内面ナデ
18	甕			11.0	J	良	褐灰	90	SJ45D区	底部周縁回転削り 中央静止へラナデ

## 第78・79号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(0.99)	1.10	(0.44)	(0.50)		明赤褐		SJ45C区
2	(3.02)	0.86	0.35	(1.65)	B a	にぶい黄橙		C区
3	(2.07)	1.14	0.50	(2.07)	B a	橙		C区
4	(2.30)	1.48	0.48	(3.64)	B a	にぶい黄橙	10	C区
5	(2.69)	1.74	0.55	(6.85)	B a	灰黄褐	60	C区
6	(3.51)	1.48	(0.47)	(3.67)	B	にぶい黄橙	30	C区
7	(2.80)	1.70	0.55	(4.87)	B b	橙	30	C区
8	(3.55)	1.47	0.45	(7.00)	B a	橙	70	C区
9	(3.47)	1.59	0.50	(7.22)	B a	にぶい橙	40	C区
10	(3.90)	1.43	0.47	(7.85)	B a	橙	70	C区
11	(4.90)	1.56	0.50	(10.83)	B a	にぶい黄橙	90	C区
12	4.22	1.81	0.65	12.47	B a V	にぶい橙	100	C区
13	4.73	1.70	0.57	10.19	B a V	橙	100	C区
14	5.50	1.52	0.49	(9.11)	B b IV	黒褐	50	C区
15	(5.18)	1.64	0.55	(9.85)	B a	淡黄	60	C区
16	(6.43)	1.59	0.50	(13.36)	B a	にぶい黄橙	80	C区
17	(6.42)	1.94	0.54	(11.71)	B b IV	淡黄	50	SJ45C区
18	(5.55)	1.66	0.55	(11.26)	B a	にぶい黄橙	60	C区
19	7.43	1.98	0.50	19.50	B a III	にぶい橙	100	C区
20	(4.17)	2.28	0.63	(11.46)	C a	橙		C区
21	3.56	1.86	0.55	11.34	B a VI	にぶい黄橙	100	C区
22	(3.32)	2.11	0.60	(10.94)	E a	橙		C区
23	(3.10)	1.92	0.52	(11.20)	E	橙	40	C区
24	(3.66)	1.95	0.82	(8.68)	E a	にぶい黄橙	40	C区
25	5.28	2.07	0.75	18.17	E a V	橙	100	C区
26	(4.83)	2.22	0.68	(21.90)	B a	橙	80	C区
27	(6.30)	1.90	0.43	(19.46)	B	淡黄	70	C区
28	(4.41)	2.25	0.55	(18.46)	B	にぶい橙	70	C区
29	(4.84)	2.15	0.75	(17.54)	E a	橙	70	C区
30	(5.12)	2.39	0.70	(21.42)	B a	橙	70	C区
31	5.52	2.18	0.60	22.53	B a IV	淡黄橙	100	C区
32	5.75	2.70	0.63	26.15	B a IV	にぶい赤褐	95	C区
33	6.10	2.28	0.40	(26.91)	B b IV	にぶい黄橙	90	C区
34	5.93	2.39	0.49	24.08	B a IV	淡黄橙	100	C区
35	(5.85)	2.16	0.55	(20.99)	B b	にぶい橙	60	C区
36	7.31	2.36	0.68	34.67	B b III	にぶい橙	100	C区
37	6.12	2.40	0.57	29.70	B a IV	灰黄褐	100	C区
38	(3.75)	2.45	0.65	(18.35)	B b	にぶい橙	30	C区

第119图 第78·79号住居跡出土遺物



第80号住居跡 (第120・121・123・124図)

O-9・10グリッドに位置する。第9号性格不明遺構・第40号土坑に切られている。平面は、軸長3.55m×4.10mで、深さ31cm程を測る。主軸方位は、N-4.5°-Wを指す。

カマドは、北壁のやや東寄りに設けられている。燃焼部は110cm×46cmの楕円形で、僅かな窪み状を呈す

る。

貯蔵穴は北東隅に備わる。径87cm×100cmの円形で、深さ74cmを測る。

遺物は、土師器・高杯・鉢・壺・甔、須恵器・土製支脚、鉄製品、土錐が出土した。28の支脚は径4.8-5.6cm、依存高10.2cmで、床より僅かに浮いた状態で出土した。鉄製品29は刀子の刃部のみで、

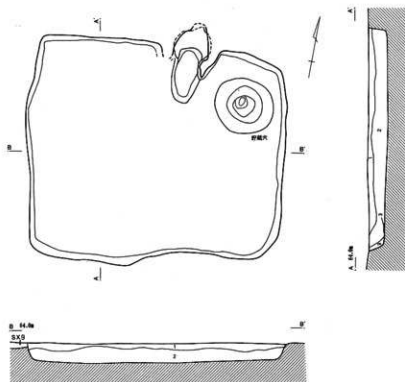
第80号住居跡出土土錐観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(1.71)	1.38	0.48	(2.90)	B a	橙		A・B区
2	(2.96)	1.35	0.47	(3.84)	B a	橙		
3	(2.99)	1.66	(0.59)	(4.90)	E	橙		C・D区
4	(3.15)	1.72	0.45	(7.15)	B a	灰白	40	C・D区
5	(4.07)	1.75	0.41	(9.53)	B a	橙	60	C・D区
6	3.38	1.68	0.50	8.80	B a VI	淡黄	100	C・D区
7	(4.36)	1.94	0.65	(10.83)	B a	淡黄	40	貯蔵穴
8	(3.92)	1.36	0.45	(6.07)	B a	褐灰	40	
9	(4.80)	1.71	0.60	(12.54)	B a	橙	80	
10	6.57	1.57	0.50	14.14	B a III	橙	100	C・D区
11	6.72	1.76	0.56	17.89	B a III	浅黄橙	100	A・B区
12	8.43	3.09	0.58	61.10	B a II	浅黄橙	100	A・B区

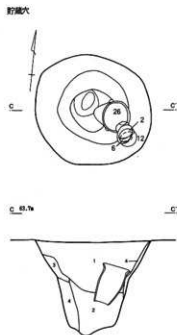
第80号住居跡出土遺物観察表 (第123・124・125図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(11.6)	7.5		DE J	普通	浅黄橙	30	No23	貯蔵穴
2	坏	12.7	6.1		BDE G J	普通	にぶい黄橙	100	No128	
3	坏	(11.9)	4.3		F J	普通	橙	60	No31・32	床+1cm
4	坏	(11.9)			D F J	不良	橙	30	No62・108	床+2cm
5	坏	12.3	4.6		ADE J	不良	灰白	90	No35~No38	床+3cm
6	坏	13.2	4.4		BDE F J	普通	にぶい赤褐	85	No129	貯蔵穴 口縁一部内外面に油煙
7	坏	12.1	4.2		E J	普通	にぶい橙	80	No16・17・26	床+3cm 歪み有り
8	坏	(12.0)	3.9		BDE J	普通	にぶい赤褐	30	No122 カマド	
9	高坏	(17.0)			BE J L	不良	にぶい橙	30	No59・60	床 脚部外面↓方向へ削り、他不明
10	高坏				BF J L	良	褐灰	80	No49	床
11	壺	14.0	17.4	6.5	BE J L	普通	にぶい黄橙	100	No127	カマド 底部一方へ削り
12	鉢	18.1	10.3	8.9	B G J L	普通	灰褐	100	No130	貯蔵穴 底部一方へ削り 粘土柱横上げ痕顯著
13	壺	13.7			DE J	普通	にぶい橙	40	No21・22・24	床+3cm
14	壺	(12.3)	14.2	7.9	J L	普通	にぶい橙	80	No20・29・39	床+3~5cm 外面上位↑方向、 下位↓方向へ削り 赤彩
15	壺	(16.3)			D J	普通	にぶい黄橙	60	No115	床+5cm 外面↓方向へ削り
16	壺	(15.4)			F G J	不良	灰黄褐	55	No81	
17	壺	19.2			E J	普通	淡黄	100	No115	床+5cm
18	壺	19.0			J L	普通	灰白	60	No34・50・51	床+3cm 外面上位↑方向、 以下↓方向へ削り
19	壺	(20.5)			ADFG J	普通	灰黄褐	30	No99・101	外面頸部下→方向、上位↓方向、 以下→方向へ削り
20	壺				B J L	良	灰	20	No41	
21	壺	(19.1)			AE J KL	普通	橙	40	No61・91~94	外面↑方向へ削り
22	壺	(18.0)	36.3	7.2	A B J L	普通	にぶい黄橙	60	No85・119	床
23	壺	(19.6)	41.1	6.2	B G J L	普通	にぶい黄橙	95	No126	カマド
24	壺	22.0			A B J L	普通	橙	60	No86・87・102	貯蔵穴
25	壺			10.8	A E J	普通	にぶい橙	60	No3・4・6・9	床 底部木葉痕 へ削り
26	甔	23.4	32.6	9.1	B E G L	不良	にぶい黄橙	100	No131	貯蔵穴
27	提瓶	(8.5)	21.6		J L	良	灰	70	No1-C区-D区	床+3cm 頸部・体部外面にカキ目 平担底右回転へ削り 両面に閉塞

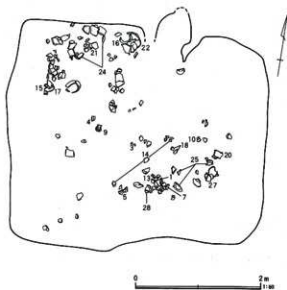
第120図 第80号住居跡



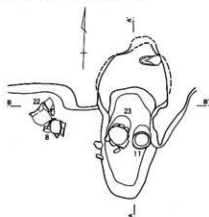
- 1 濃い黄褐色(107B/4) シルト質、白色炭灰
- 2 褐色 (107B/6) 褐色土粒・炭化物粒
- 3 黄褐色 (107B/6)



- 貯蔵穴
- 1 褐色 (107B/4) 炭化物粒少、粘土層が、締まり強し
  - 2 褐色 (107B/6) 炭化物粒層少
  - 3 黄褐色 (107B/6)
  - 4 黄褐色 (107B/6) 砂質

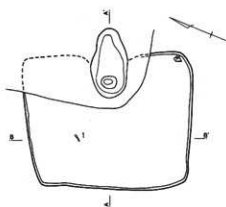


第121図 第80号住居跡カマド

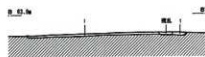
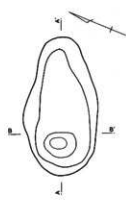


- 1 褐色 (107B4/4) 炭化微粒・焼土層少
- 2 暗褐色 (107B2/4) 焼土多
- 3 暗褐色 (107B2/4) 可塑性シルト
- 4 黒褐色 (107B2/2) 焼土・炭灰少
- 5 黒い黄褐色(107B6/4) シルト質、白色微粒
- 6 褐色 (107B4/4) 灰白色シルト含、粘質
- 7 褐色 (7.5B4/3)

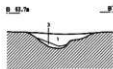
第122図 第81号住居跡



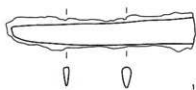
カマド



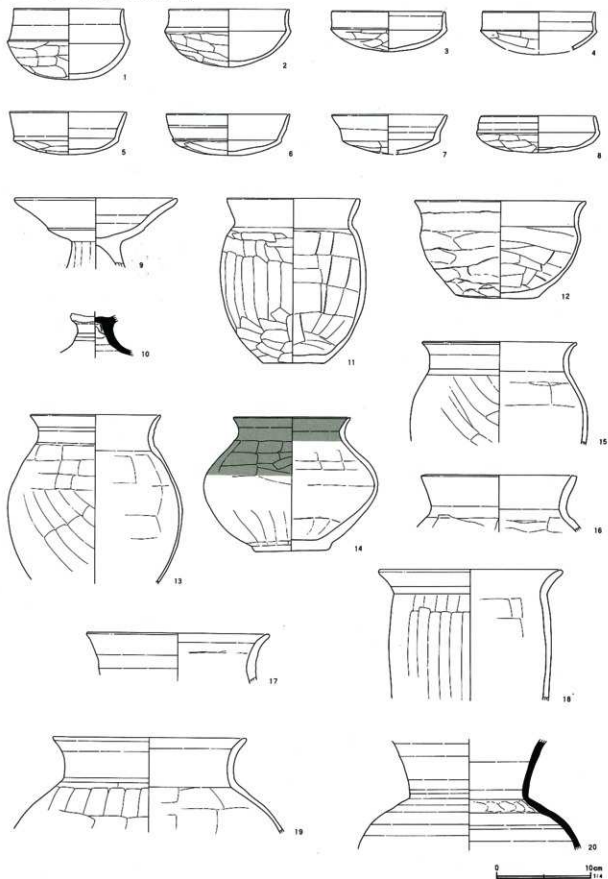
- 1 暗褐色 (107B2/3) 地山ブロック・焼土粒



- 1 黒褐色 (107B2/1) 焼土粒・炭化微粒
- 2 褐色 (107B4/4) 焼土粒・焼土ブロック
- 3 黒褐色 (107B2/3) 焼土粒多

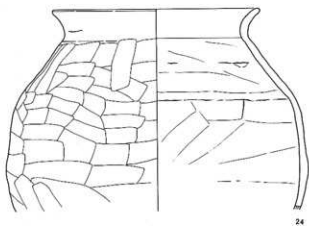
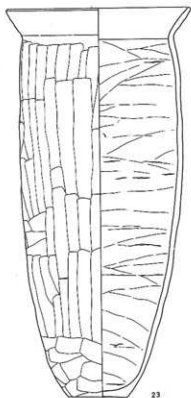
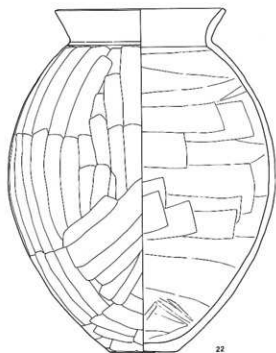
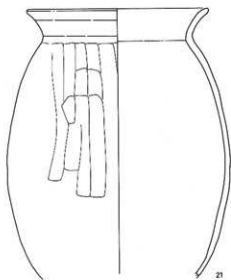


第123图 第80号住居跡出土遺物 (1)

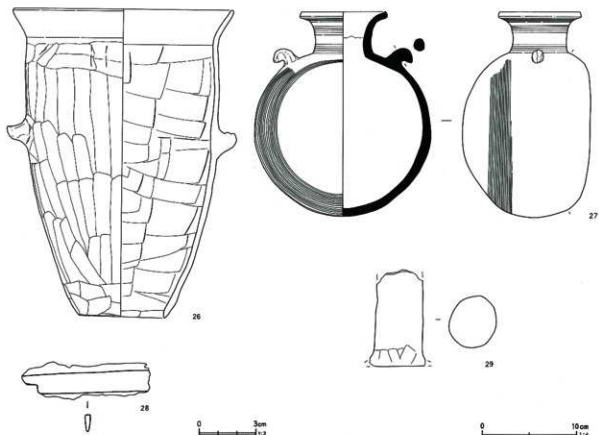




第124図 第80号住居跡出土遺物 (2)



第125図 第80号住居跡出土遺物(3)



重さ24.20gで、覆土中の出土である。

**第81号住居跡(第122図)**

M-10グリッドに位置する。第70号住居跡に切られ、第83号住居跡を切っている。平面は、軸長2.13m×2.62mの方形で、深さ4cm程を測る。主軸方位は、N-62°-Eを指す。

カマドは、東壁に設けられている。燃焼部は110cm×59cmの楕円形を呈し、深さは11cmを測る。

遺物は、刀子刃部が床面から出土し、他に土錘も出

土した。刀子片の重さは、23.48gを量る。

**第82号住居跡(第126図)**

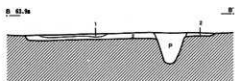
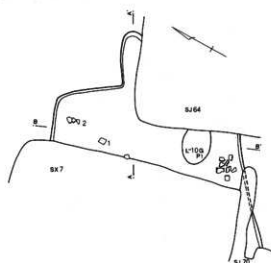
L・M-10グリッドに位置する。北東部を第64号住居跡に、西部と南部を第70号住居跡・第7号性格不明遺構に切られる。平面は、軸長2.60m以上×3.02m、深さ10cm程を測る。主軸方位は、N-55°-Eを指す。

カマドは、東壁に設けられているが南半は、第64号住居跡に切られている。燃焼部は長さ80cmで、床面と同じ高さである。

**第81号住居跡出土土錘観察表**

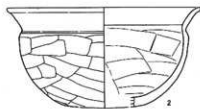
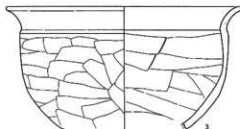
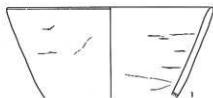
番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(2.85)	1.46	0.48	(4.56)	B	にぶい黄橙	20	
2	6.85	1.82	0.46	17.59	Ba III	淡黄	100	

第126図 第82号住居跡・出土遺物



- 1 暗褐色 (10YR3/3) 焼土粒・炭化物
- 2 褐色 (10YR4/6) 焼土粒・地山ブロック
- 3 黒褐色 (10YR4/6) 焼土ブロック・炭化物多
- 4 褐色 (10YR4/6) 炭化物多、砂質

0 2m 11m



0 10cm 1:4

第82号住居跡出土遺物観察表 (第126図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	鉢	(22.0)			BE	普通	にぶい程	15	No3	床+3cm
2	鉢	20.6	10.6	(8.4)	EL	普通	橙	60	No4・L-10G	床+5cm
3	鉢	(25.0)			BDJ	不良	にぶい程	55	No1・SJ82	床

第82号住居跡出土土器観察表

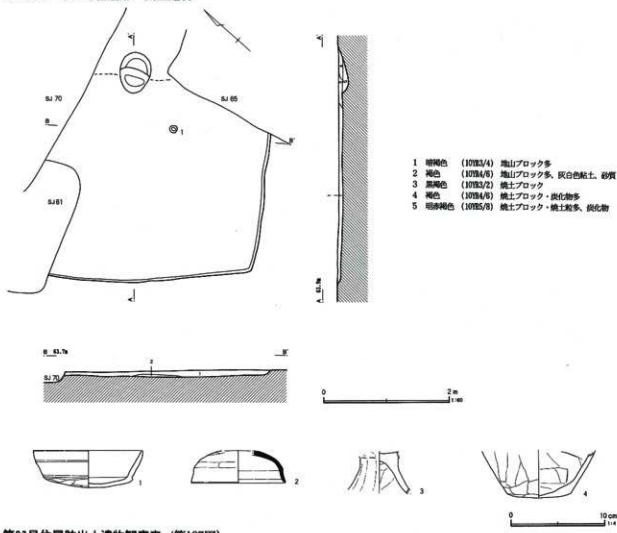
番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(2.52)	1.60	(0.65)	(2.52)	B	灰黄褐		
2	(3.69)	1.76	0.54	(9.63)	B	淡黄	40	カマド

遺物は、土師器鉢、土鍾が出土した。

第83号住居跡 (第127図)

M-10グリッドに位置する。東隅を第65号住居跡に、北西部を第70号・第81号住居跡に切られる。平面

第125図 第83号住居跡・出土遺物



は、軸長3.23m×3.50m以上、深さ10cm程を測る。主軸方位は、N-51°-Eを指す。

カマドは、北東壁に設けられている。燃烧部は66cm×49cmの楕円形で、僅かな窪み状を呈する。

- 1 明褐色 (10YR5/4) 地山ブロック多
- 2 褐色 (10YR4/6) 地山ブロック多、灰白色粘土、砂質
- 3 黒褐色 (10YR3/2) 焼土ブロック
- 4 褐色 (10YR4/6) 焼土ブロック・炭化物多
- 5 明赤褐色 (10YR5/8) 焼土ブロック・焼土粒多、炭化物

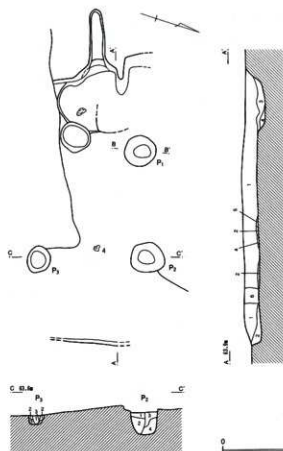
第83号住居跡出土遺物観察表 (第127図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	11.6	4.0		D E G	普通	明赤褐	100	No1	
2	甕	(10.0)			B L	普通	灰	50	D区・M-10GP1	天井部手持ちへう削り
3	高坏				B E	不良	にぶい赤褐	60	C区	
4	甕			(6.7)	B E J	普通	にぶい橙	30	カマド	カマド

第83号住居跡出土土鍾観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(2.00)	1.38	0.45	(2.00)	B	浅黄橙		D区
2	5.18	1.45	0.58	(7.53)	B a V	橙	95	B区
3	5.67	1.61	0.47	(10.75)	B a IV	浅黄橙	95	B区
4	6.26	1.47	0.53	12.02	B a IV	にぶい黄橙	100	C区
5	(6.46)	1.78	0.50	(14.75)	B a	浅黄橙	90	D区
6	6.68	1.50	0.58	14.29	B a III	浅黄橙	100	C区
7	7.17	1.66	0.50	16.31	B a III	橙	100	C区
8	7.87	1.66	0.48	13.79	B a II	浅黄橙	100	C区
9	8.76	1.80	0.49	19.73	B a I	浅黄橙	100	C区

第128図 第84号住居跡・カマド



P 1

- 1 褐色 (10YR4/4) シルト質、明黄褐色シルト多
- 2 褐色 (10YR4/4) 明黄褐色シルト少
- 3 褐色 (10YR4/4) シルト質
- 4 明黄褐色(10YR6/5) シルト質

P 2

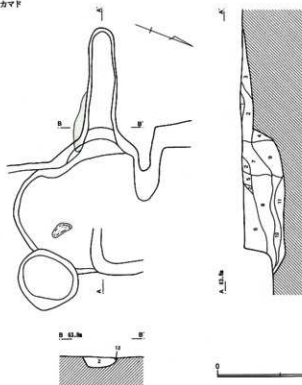
- 1 褐色 (10YR4/4) 灰白色粘土
- 2 褐色 (10YR4/4) シルト質
- 3 におい黄褐色(10YR5/4)
- 4 明黄褐色(10YR6/5) シルト質

P 3

- 1 黄褐色 (10YR5/6)
- 2 におい黄褐色(10Y5/4)
- 3 褐色 (10YR4/4)

- 1 黄褐色 (10YR5/6) シルト質、白色燻粒多、炭化物・焼土少
- 2 におい黄褐色(10Y5/4) シルト質、炭化物・焼土少
- 3 黄褐色 (10YR5/2) 灰層多
- 4 黄褐色 (10YR5/2) 砂質
- 5 灰白色 (10YR5/2) 砂質
- 6 褐色 (10YR4/6) 白色燻粒子
- 7 明黄褐色(10YR6/5)
- 8 黄褐色 (10YR5/6) 明黄褐色シルト多

カマド



- 1 地層断面
- 2 におい黄褐色(10YR5/4) 焼土少
- 3 黄褐色 (10YR5/6) 焼土層少
- 4 焼土
- 5 におい黄褐色(10YR4/3)
- 6 褐色 (10YR4/4) 白色燻粒
- 7 明褐色 (10YR3/4) 炭化物燻粒少
- 8 におい黄褐色(10YR5/4) 明黄褐色土多
- 9 褐色 (10YR4/4) 焼土・黄層少
- 10 灰層
- 11 におい黄褐色(10YR5/4) 明黄褐色シルト・灰層少
- 12 明褐色 (10YR4/2) 焼土粒多

遺物は、土師器坏・高杯脚部・甕、土鍾が出土した。

#### 第84号住居跡 (第128・129図)

M-10・11グリッドに位置する。北を第65号住居跡に、南を第101号住居跡に切られている。平面は、軸長4.60m、深さ25cm程を測る。主軸方位は、N-110°-Wを指す。

カマドは、西壁に設けられている。燃焼部は116cm×100cmの円形を呈し、床面からの深さ8cmを測る。煙道部は燃焼部と段差を有し、80cm確認できた。

柱穴は2本の主柱穴が検出された。南西隅のビット

3は、主柱穴とは認め難い。径45~50cmの円形で、深さ40~45cmを測る。

遺物は、土師器坏・甕、土鍾が出土した。

#### 第85号住居跡 (第130図)

M-11グリッドに位置する。第65号・第69号住居跡に切られている。平面は、軸長3.23m×3.50m、深さ16cm程を測る。主軸方位は、N-5°-Wを指す。

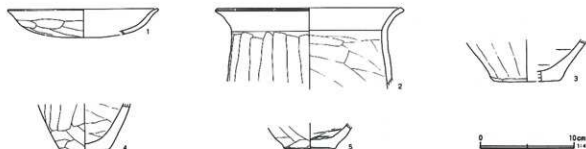
カマドは、北壁に設けられている。燃焼部は152cm×75cmの三角形で、僅かな窪み状を呈する。

遺物は、土師器坏、土鍾が出土した。

#### 第84号住居跡出土土鍾観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(2.05)	1.20	0.52	(2.30)	B a	褐灰		A区
2	(3.73)	1.80	0.55	(9.34)	B	褐灰		A区
3	(4.46)	1.48	0.58	(8.13)	A	褐灰		
4	(4.91)	1.97	0.65	(12.70)	B	褐灰	40	A区
5	(5.24)	1.49	0.65	(9.58)	B a	褐灰	60	A区
6	5.58	1.75	0.70	(16.26)	B a IV	にぶい黄橙	95	

#### 第129図 第84号住居跡出土遺物



#### 第84号住居跡出土遺物観察表 (第129図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	器	(16.0)			ABDEJ	不良	橙	15		
2	甕	(20.0)		(7.0)	BDEJ	普通	にぶい橙	15	A区	外面↓方向ヘラ削り
3	甕				B J L	不良	にぶい橙	35	No1	外面↓方向ヘラ削り
4	甕			5.2	B J L	不良	にぶい橙	50		床+5cm 外面↑方向・底部へ灰
5	甕			5.4	J L	普通	にぶい褐	70		外面↓方向ヘラ削り 底部木炭痕

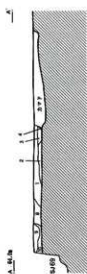
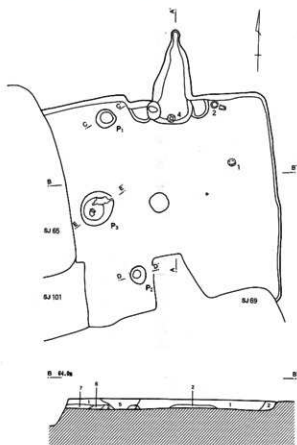
#### 第85号住居跡出土土鍾観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(1.67)	1.13	0.50	(1.26)	B a	浅黄橙		D区
2	5.08	1.57	0.46	10.57	B a V	にぶい黄橙	100	A区
3	(5.87)	1.57	0.52	(12.13)	B a	橙	90	C区

#### 第85号住居跡出土遺物観察表 (第130図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(11.0)	3.3		D F J	不良	橙	100	No4	床
2	坏	10.3	3.1		B D J	不良	にぶい褐	100	No2	床
3	坏	11.3	3.7		J	不良	灰褐	60	B区	床
4	坏	10.5	3.2		D J L	不良	灰黄褐	95	No1	カマド
5	坏	(13.4)			B E	普通	褐	10	A区	

第130図 第85号住居跡



- 1 褐色 (10YR4/4) シルト質、炭化物粒・白色微粒多
- 2 黄褐色 (10YR5/4)
- 3 黄褐色 (10YR5/6) 炭灰少
- 4 黄褐色 (10YR5/6) 焼土少
- 5 二本ノ黄褐色 (10YR5/4) 白色微粒多
- 6 黄褐色 (10YR5/6) 炭化物多
- 7 褐色 (10YR4/6) 炭化物粒少
- 8 二本ノ黄褐色 (10YR5/4)
- 9 褐色 (10YR4/4) 白色微粒・焼土少
- 10 焼土層

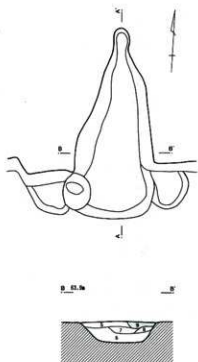
- P 1
- 1 黄褐色 (10YR5/6) シルト質、灰白色シルト
  - 2 黄褐色 (10YR5/6) 炭化物粒少

- P 2
- 1 褐色 (10YR4/4)
  - 2 褐色 (10YR4/4) シルト質
  - 3 褐色 (10YR4/6)

- P 3
- 1 褐色 (10YR4/4) 炭灰多 しまり強し
  - 2 明黄褐色 (10YR6/6) しまり強し

0 2m  
1:100

カマド

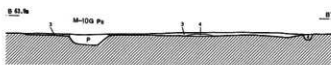
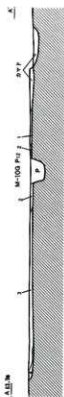
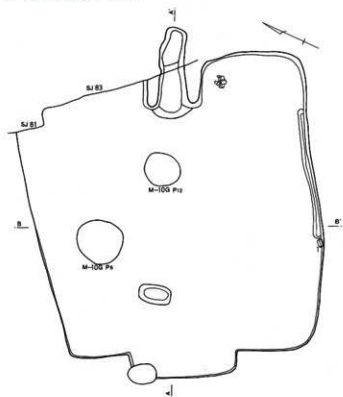


- 1 褐色 (10YR4/4) シルト質、炭化物粒・白色微粒多
- 2 黄褐色 (10YR5/6) シルト質
- 3 黄褐色 (10YR5/6) 焼土多
- 4 黄褐色 (10YR5/6)
- 5 黄褐色 (10YR5/6) 白色微粒多
- 6 褐色 (10YR4/6) 焼土多
- 7 焼土層
- 8 黄褐色 (10YR5/6) 焼土層少
- 9 焼附焼土



0 10cm  
1:4

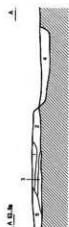
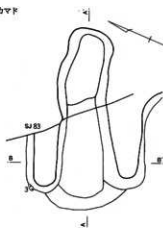
第131図 第86号住居跡・カマド



- 1 黒褐色 (10YR3/1) 地山ブロック・炭化物
- 2 黒褐色 (10YR3/1) 炭化物・焼土塊・地山ブロック・  
薄灰色粘質土ブロック多
- 3 褐色 (10YR5/1) 薄灰色粘質土ブロック・地山ブロック多
- 4 黒褐色 (10YR3/1) 焼土ブロック・炭化物多



カマド



- 1 明赤褐色 (2.5YR5/8) 焼土多・地山ブロック
- 2 黒褐色 (10YR3/1) 焼土ブロック・炭化物・灰
- 3 赤褐色 (2.5YR4/8)
- 4 黒褐色 (10YR3/1) 焼土粒・地山ブロック多
- 5 黒褐色 (10YR3/1) 地山ブロック・炭化物





第86号住居跡 (第131・132図)

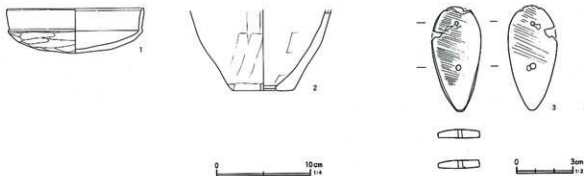
M-9・10グリッドに位置する。第81号・第83号住居跡に北側が切られている。平面は、軸長4.50m×4.50mの台形を呈し、深さ5cm程を測る。西壁には、170cm×35cmの長方形の張り出しがある。主軸方

位は、N-60.5°-Eを指す。

カマドは、東壁に設けられ、先端は第83号住居跡に切られている。燃烧部は85cm×50cmの隅丸長方形を呈し、深さ8cmを測る。

遺物は、土師器杯・甌、石製模造品が出土した。石

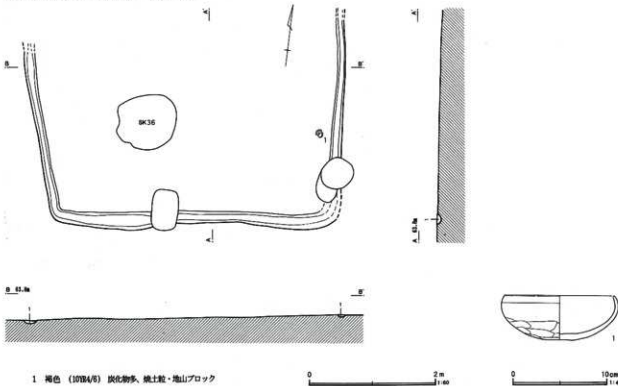
第132図 第86号住居跡出土遺物



第86号住居跡出土遺物観察表 (第132図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	杯	(14.6)	4.7		E F	普通	橙	40	No1	床
2	甌			(6.5)	B H J L	普通	にぶい黄橙	30	B区	孔径2.8cm 内面ヘラナデ

第133図 第87号住居跡・出土遺物



第87号住居跡出土遺物観察表 (第133図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	杯	(11.6)	4.7		B E H J L	不良	にぶい赤褐色	45	No1	床 内面赤彩一部残存

製模造品は、剣形品で長さ5.54cm、幅2.61cm、厚さ0.44cm、重さ10.46gでカマド左袖先端裾際から出土した。

#### 第87号住居跡(第133図)

L-10グリッドに位置する。壁溝からの検出で、北側は僅かに傾斜して下っているため確認できなかった。平面は、軸長3.60m以上×5.08mを測る。壁溝は北壁を除いては全周し、幅13~28cm、深さ4~7cmを測る。主軸方位は、N-5°-Wを指す。

カマド等の施設は、確認できなかった。

遺物は、土師器坏が味面から出土した。

#### 第88号住居跡(第134・135・136図)

M・N-11グリッドを中心に位置する。第85号住居跡を切り、第69号住居跡に切られる。平面は、軸長

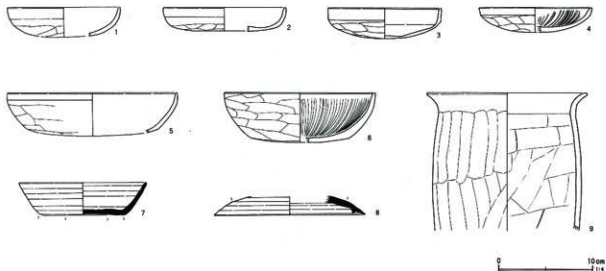
5.63m×6.23mの方形を呈し、深さ17cm程を測る。壁溝は、北壁・西壁・南壁の一部に検出され、幅17~35cm、深さ4~7cmである。主軸方位は、N-22°-Wを指す。

カマドは、北壁に設けられている。燃烧部は165cm×58cmの不整形長方形を呈し、床面からの深さ23cm程を測る。煙道部は燃烧部と段差を有し、58cm確認できた。

土坑が味面より11基確認できた。深さは数cm~20cm程を測る。

遺物は、土師器坏・暗文土器・甕、須恵器坏・蓋、土鍾が出土した。

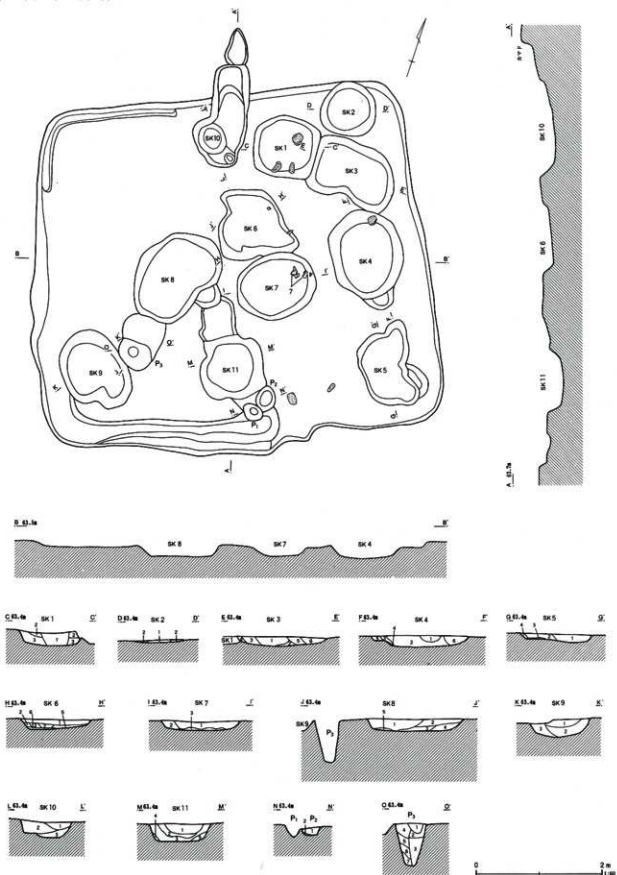
第134図 第88号住居跡出土遺物



第88号住居跡出土遺物観察表(第134図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(12.0)			BDE	普通	橙	30	SK4	
2	坏	(13.0)	2.5		BDJ	不良	橙	10	B区	
3	坏	(12.0)	3.3		ABDJ	不良	にぶい橙	30	SK3・B区	SK3
4	坏	(12.0)	2.6		ABE	不良	橙	10	B区	内面に暗文
5	甕	(18.0)			DGJ	不良	にぶい橙	15	SK6	SK6
6	甕	(16.0)	5.2	(10.4)	BDEJ	普通	橙	20	SK11	SK11 内面に暗文
7	坏	13.6	3.4	8.2	IJ	良	灰	90	SK7No3・4	床底部周辺右回転ヘラ削り
8	蓋	(16.0)			FJL	良	灰	20	D区	天井部右回転ヘラ削り
9	甕	(17.0)			HJL	不良	にぶい橙	20	SK11	SK11 外面↑方向ヘラ削り

第135图 第88号住居跡



第136図 第88号住居跡・カマド

SK1

- 1 褐色 (1094/4) 焼土・炭化物・明黄褐色土
- 2 暗褐色 (1093/4)
- 3 暗褐色 (1093/4) シルト質

SK2

- 1 褐色 (1094/6)
- 2 黄褐色 (1095/6)

SK3

- 1 暗褐色 (1093/3) 焼土多 炭化物少
- 2 暗褐色 (1093/3) 炭化物微
- 3 暗褐色 (1093/3) 明黄褐色土少
- 4 におい黄褐色(1095/4) シルト質
- 5 暗褐色 (1093/3) 炭化物・焼土多
- 6 暗褐色 (1093/3) 炭化物・焼土・明黄褐色土少

SK4

- 1 褐色 (1094/4) 明黄褐色土多、炭化物微
- 2 褐色 (1094/4) 炭化物微少
- 3 褐色 (1094/4) 灰白色シルト、炭化物微
- 4 暗褐色 (1093/4)
- 5 暗褐色 (1093/4) 明黄褐色シルト少
- 6 黄褐色 (1095/6) シルト質、締まり強し

SK5

- 1 褐色 (1094/4) 炭化物微、明黄褐色土多、締まり強し
- 2 黄褐色 (1095/6) 締まり強し
- 3 明黄褐色 (1095/6) 砂質
- 4 暗褐色 (1093/4) 炭化物少、締まり強し

SK6

- 1 暗褐色 (1093/3) 焼土少、締まり強し
- 2 褐色 (1094/4) 焼土・炭化物少、締まり強し
- 3 褐色 (1094/4) 焼土・炭化物少、明黄褐色土多
- 4 におい黄褐色(1095/4) 焼土多
- 5 明黄褐色 (1095/6) シルト質

SK7

- 1 褐色 (1094/6) 焼土少、締まり強し
- 2 暗褐色 (1093/4) 締まり強し
- 3 黄褐色 (1095/6)

SK8

- 1 褐色 (1094/4) 焼土・白色炭粒多
- 2 褐色 (1094/4) 焼土少、白色炭粒多
- 3 におい黄褐色(1095/4) シルト質、炭化物微
- 4 褐色 (1094/4) シルト質、焼土少
- 5 明黄褐色 (1095/6) シルト質

SK9

- 1 におい黄褐色(1095/4) シルト質、明黄褐色土・炭化物微少
- 2 暗褐色 (1093/3) シルト質、焼土・炭化物微少
- 3 暗褐色 (1093/3) 焼土多、炭化物微

SK10

- 1 におい黄褐色(1095/4) シルト質
- 2 暗褐色 (1093/4) 焼土少
- 3 黄褐色 (1095/6) 砂質

SK11

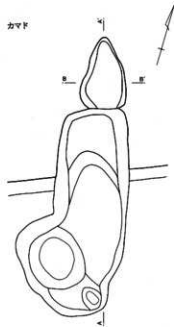
- 1 褐色 (1094/4) 明黄褐色土多、炭化物微
- 2 褐色 (1094/4) 明黄褐色土多
- 3 暗褐色 (1093/3) 焼土少
- 4 黄褐色 (1095/6)
- 5 黄褐色 (1095/6) 暗褐色土・焼土少

P2

- 1 暗褐色 (1093/3) 炭化物微多
- 2 暗褐色 (1093/3) 明黄褐色土少

P3

- 1 明黄褐色 (1095/6) シルト質
- 2 褐色 (1094/4) シルト質、明黄褐色土多
- 3 暗褐色 (1093/4) 明黄褐色土少
- 4 褐色 (1094/4) シルト質炭化物微少
- 5 暗褐色 (1093/4) 炭化物微、明黄褐色シルト、締まりなし
- 6 暗褐色 (1093/4) 締まりなし
- 7 黄褐色 (1095/6)



- 1 におい黄褐色(1095/4) シルト質
- 2 暗褐色 (1093/3) 焼土少
- 3 明黄褐色 (1095/6) シルト質、白色炭粒
- 4 黄褐色 (1095/6)
- 5 暗褐色 (1093/4) 焼土・炭化物微、明黄褐色シルト少



第88号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(2.17)	(1.82)	(0.44)	(2.30)	B	にぶい黄橙		S K 11
2	(2.38)	(1.49)	(0.59)	(2.48)	B	淡黄		A区
3	(3.31)	1.68	0.50	(9.36)	B a	褐灰	40	D区
4	(3.33)	2.10	(0.66)	(9.39)	B a	にぶい黄橙	30	S K 4
5	(3.71)	1.68	0.66	(8.99)	B a	褐灰	50	B区
6	(4.15)	0.98	0.40	(3.63)	B a	浅黄橙	90	C区
7	(4.45)	1.91	0.60	(11.33)	B a	褐灰	40	S K 11
8	4.80	1.89	0.50	9.64	B a	にぶい黄橙	40	S K 11
9	(5.31)	1.65	0.58	(12.40)	B a	にぶい黄橙	95	S K 10
10	5.31	1.77	0.50	13.82	B a V	浅黄橙	100	B区
11	(5.03)	1.85	0.50	(13.26)	B	橙	60	S K 11
12	5.85	1.93	0.48	19.22	B a IV	淡白	100	A区
13	6.95	1.71	0.45	15.80	B a III	にぶい橙	100	A区
14	(7.50)	1.74	0.61	(14.86)	B a	灰黄褐	95	S K 11

第89号住居跡(第137・138図)

K・L-11グリッドに位置する。第75号住居跡・第41号土坑に切られている。平面は、軸長4.00m×4.38mのやや歪んだ方形を呈し、深さ10cm程を測る。主軸方位は、N-108°-Wを指す。

カマドは、西壁の南寄りに設けられている。燃焼部は88cm×39cmの楕円形を呈し、床面からの深さ10cmを測る。支脚の石が遺存し、その上に小型甕が伏せられていた。

遺物は、土師器杯・高杯・小型甕・甕、石製紡錘車、白玉、土錘が出土した。6の石製紡錘車は、側面に4カ所「X」印が線刻されている。長径3.98~4.13

cm、短径1.29cm、高さ2.03cm、孔径0.90cm、重さ38.10gで、床面より出土した。7の白玉は、径6.0mm、厚さ2.7~3.1mm、孔径0.13~0.16mm、重さ0.19gで、床から僅かに浮いた状態で出土した。

第90号住居跡(第139図)

K-12グリッドに位置する。平面は、軸長3.29m×4.71mの長方形を呈し、深さ9cm程を測る。北側へ僅かに下って傾斜している。主軸方位は、N-1°-Wを指す。

カマドは、北壁のやや東寄りに設けられている。燃焼部は77cm×35cmの楕円形で僅かな窪み状を呈する。

遺物は、土師器杯・鉢・甕、土錘が出土した。

第89号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	5.85	1.80	0.50	14.74	B a IV	褐灰	100	
2	6.44	1.44	0.52	(11.20)	B a IV	浅黄橙	95	

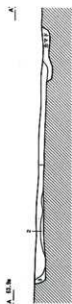
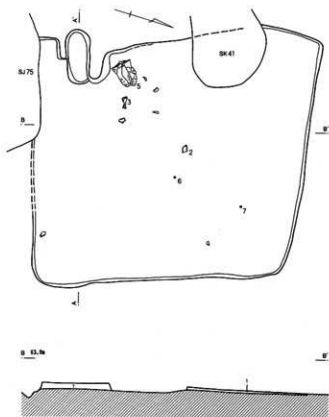
第90号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(2.10)	1.15	0.46	(2.14)	B a	にぶい黄橙		貯蔵穴

第91号住居跡出土土錘観察表

番号	長さ	径	孔径	重さ(g)	分類	色調	残存(%)	備考
1	(1.97)	(1.26)	(0.46)	(1.32)		褐灰		C区
2	(1.55)	1.32	0.49	(2.20)	B	褐灰	10	カマド
3	(2.25)	1.40	0.40	(2.92)	B a	浅黄橙	20	C区
4	(2.63)	1.60	0.48	(4.76)	B a	黄灰	20	D区
5	(2.85)	1.54	0.44	(4.59)	B	褐灰		C区
6	(3.83)	1.46	0.50	(6.37)	B a	灰黄褐	40	C区
7	(4.50)	1.32	0.48	(6.10)	B a	にぶい橙	90	C区
8	(4.62)	1.73	0.42	(11.78)	B a	橙	70	D区
9	4.89	1.94	0.60	14.96	B a V	にぶい黄橙	100	D区
10	5.41	1.61	0.52	11.78	A a V	淡黄	100	B区
11	(6.02)	1.66	0.53	(13.35)	B a	浅黄橙	70	カマド
12	6.15	1.67	0.52	12.13	B a IV	灰黄褐	100	A区
13	6.64	1.67	0.55	15.65	B a III	にぶい黄橙	100	D区

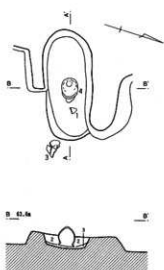
第137図 第89号住居跡・カマド



- 1 灰褐色 (107B5/2) 地山ブロック・炭化物多、褐色粘質土ブロック
- 2 暗灰色 (107B6/1) 炭化物・褐色粘質土ブロック
- 3 褐色 (107B4/4) 地山ブロック多、砂質

0 2m 1:50

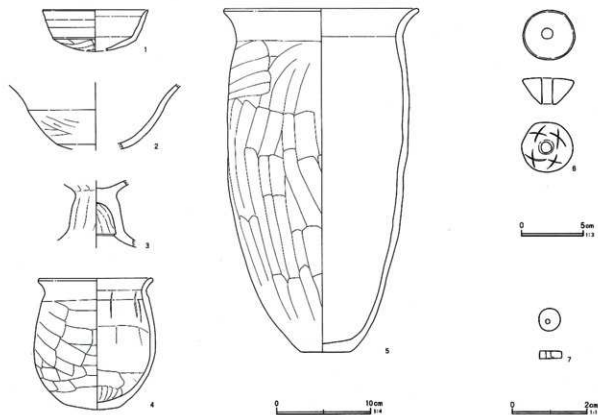
カマド



- 1 灰褐色 (107B5/2) 地山ブロック・炭化物多、褐色粘質土ブロック
- 2 暗褐色 (2.07B5/7) 粘土粒・粘土ブロック、炭化物多
- 3 黒褐色 (107B3/1) 地山ブロック・粘土ブロック・炭化物多
- 4 暗褐色 (107B2/3) 地山ブロック多、中砂質

0 2.5m 1:50

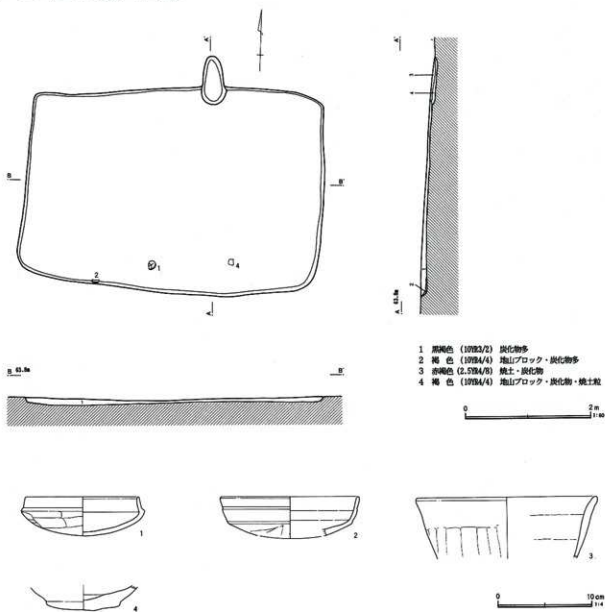
第138図 第89号住居跡出土遺物



第89号住居跡出土遺物観察表 (第138図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	(11.2)	(4.4)		BDEJ	普通	にぶい橙	30	No3	カマド内・前床+5cm
2	高坏				BEJL	普通	橙	30	No12	床 器面寛れ 整形不詳
3	高坏				BE	普通	橙	70	No4・No9	床 外面ヘラナデ 内面指ナデ
4	甕	11.8	13.9	5.8	CHJL	普通	にぶい黄橙	100	No1	カマド
5	甕	20.2	36.4	(5.0)	JL	普通	橙	90	No5	床

第139図 第90号住居跡・出土遺物



- 1 黒褐色 (17B3/2) 炭化物多
- 2 褐色 (17B4/4) 地山ブロック・炭化物多
- 3 赤褐色 (2.5B4/3) 焼土・炭化物
- 4 褐色 (17B4/4) 地山ブロック・炭化物・焼土粒

第90号住居跡出土遺物観察表 (第139図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	12.0	4.1		BE	普通	橙	95	No1	床
2	坏	(14.5)			BDEG	普通	明赤褐	15	No3	床+4cm
3	鉢	(19.0)			D J K L	普通	にぶい橙	30	C区	外面↑方向ヘラ割り
4	甕			7.6	BDJ	良	橙	95	No2	床



第91号住居跡 (第140・141・142図)

K・L-12グリッドに位置する。第96号・第113号住居跡を切っている。東壁で他の住居跡 (第91B号住居跡) のカマドを切っている。平面は、軸長3.86m×4.15mのやや歪んだ方形を呈し、深さ32cm程を測る。主軸方位は、N-3°-Eを指す。

カマドは、東壁に設けられている。燃焼部は110cm×52cm、一部がピット状で深さ23cmを測る。煙道部

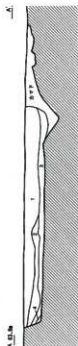
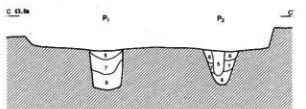
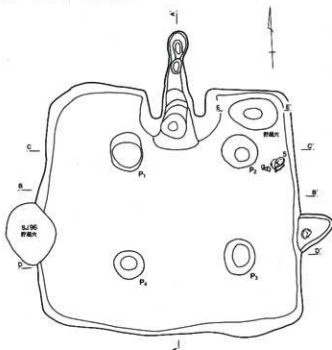
は75cm確認できた。

柱穴は主柱穴4本が検出された。径45cmから63cmの円形で、深さ55~62cmを測り、ビット2・3・4では柱痕が確認できた。

貯蔵穴は、北東隅に備わる。軸長77cm×48cmの楕円形を呈し、深さは25cmを測る。

遺物は、土師器杯・甕・瓶、土錘が出土した。

第140図 第91号住居跡



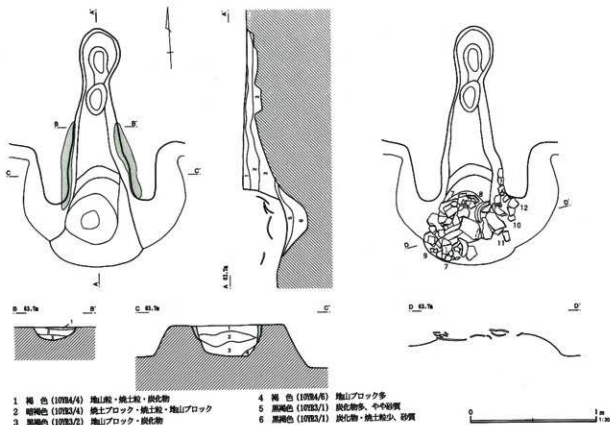
貯蔵穴

- 1 暗褐色 (10YR3/4) 地山ブロック
- 2 暗褐色 (10YR3/4) 炭化物、粘性土やあり
- 3 灰黄褐色 (10YR5/2) 地山ブロック、炭化物、粘性土やあり

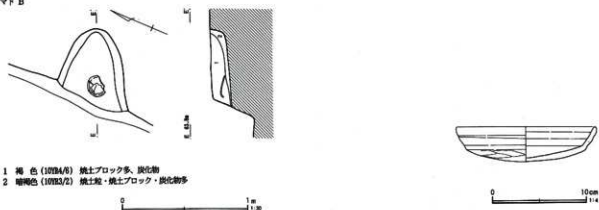
- 1 暗褐色 (10YR3/4) 粘土粒、炭化物、黄灰色シルトブロック多。
- 2 黒褐色 (10YR2/2) 炭化物多、3層上の境界に明確
- 3 褐色 (10YR4/4) 黄灰色シルトブロック多、全々砂質、締まりあり
- 4 褐色 (10YR4/4) 黄褐色シルト粘土・ブロック多、黄褐色地山ブロック多、やや砂質
- 5 黒褐色 (10YR2/2) 粘土粒、粘性土やあり
- 6 暗褐色 (10YR3/3) 地山粒、砂質
- 7 褐色 (10YR4/6) 地山ブロック、砂質
- 8 灰黄褐色 (10YR5/2) 地山粒・ブロック、砂質



第141図 第91号住居跡カマド



カマド B



第91号住居跡カマドB出土遺物観察表 (第141図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	注記番号	備考
1	坏	14.7	3.7		BDE	普通	にょい橙	85	カマドB No1	